

2021年度

総合歯科医学VI 授業計画表

〔シラバス〕



鶴見大学歯学部

総合歯科医学Ⅵ

学 年	科目分類	前期・後期	単 位
第 6 学年	必修	前・後期	10 単位

一般目標

臨床実習での経験と学んできた臨床と基礎の知識を統合し、歯科医師として総合的な医療を行うために、歯学部での 5 年間の学習を振り返り、再整理を行い、社会に求められる歯科医師として必要な問題解決能力を修得する。

評価方法

学科目期間中に客観試験を複数回実施し評価する。客観試験は多肢選択方式とする。

評価基準

必修問題、一般問題、臨床実地問題の得点を基に基準を定め、その基準を満たしたものを合格とする。基準は、本学科目開始時に学生に公表する。

も く じ

	ページ		ページ
口腔解剖学	1	口腔顎顔面外科学	45
解剖・組織細胞学	4	口腔内科学	48
生理学	6	歯科麻酔学	55
分子生化学	10	口腔顎顔面放射線画像診断学	57
口腔微生物学	13	歯科矯正学	59
病理学	16	小児歯科学	62
薬理学	21	高齢者歯科学	66
歯科理工学	24	法医歯学	70
保存修復学	28	口腔衛生・地域歯科保健学	73
歯周病学	31	衛生・探索歯学	78
歯内療法学	34	障害者歯科学	81
全部床義歯補綴学	36	口腔インプラント学	82
部分床義歯補綴学	39	内科学	84
クラウンブリッジ補綴学	42	倫理・一般教養的事項	85

総合歯科医学Ⅵ（口腔解剖学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
口腔解剖 1	塩崎一成	頭頸部の構造	頭頸部の骨格系	頭蓋	①頭蓋の形態と構造を説明できる。	講義の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して臨むこと。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書、参考書やアトラス等を参照し補うこと。 C-3-4)-(2) ①~④、E-2-1) ② 必5 アe、総Ⅱ 4 イa
口腔解剖 2	塩崎一成	頭頸部の構造	頭頸部の骨格系	頭蓋骨・頸椎	①個々の頭蓋骨の形態と構造を説明できる。 ②頸椎の形態と構造を説明できる。	講義の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して臨むこと。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書、参考書やアトラス等を参照し補うこと。 C-3-4)-(2) ①、E-2-1) ② 必5 アe、総Ⅱ 4 イbc
口腔解剖 3	塩崎一成	頭頸部の構造	頭頸部の筋系	頭部の筋群	①表情筋について構造と機能を説明できる。 ②咀嚼筋について構造と機能を説明できる。 ③舌筋について構造と機能を説明できる。	講義の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して臨むこと。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書、参考書やアトラス等を参照し補うこと。 C-3-4)-(3) ①③、E-2-1) ③ 必5 アe、総Ⅱ 4 ウab
口腔解剖 4	塩崎一成	頭頸部の構造	頭頸部の筋系	頸部の筋群	①舌骨上筋および舌骨下筋について構造と機能を説明できる。 ②咽頭および喉頭の筋について構造と機能を説明できる。	講義の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して臨むこと。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書、参考書やアトラス等を参照し補うこと。 C-3-4)-(3) ①③、E-2-1) ③ 必5 アe、総Ⅱ 4 ウc
口腔解剖 5	石川美佐緒	歯・歯周組織の構造	組織と性状	歯の組織 歯周組織	①歯の組織（エナメル質、象牙質、セメント質、歯髄）の構造について説明できる。 ②歯周組織（歯根膜、セメント質、歯槽骨、歯肉の構造）について説明できる。	講義の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して臨むこと。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書、参考書やアトラス等を参照し補うこと。 C-3-4)-(2) ⑤、E-3-1) ④~⑥ 必5 アe、総Ⅱ 5 イab
口腔解剖 6	石川美佐緒	歯・口腔・顔面の発生・成長・発育	口腔および歯・歯周組織の形成と歯の萌出	初期発生 歯の硬組織形成 歯周組織形成 歯の萌出	①口腔の発生について説明できる。 ②歯の形成と萌出について説明できる。 ③歯周組織の発生について説明できる。 ④歯の萌出について説明できる。	講義の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して臨むこと。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書、参考書やアトラス等を参照し補うこと。 C-3-4)-(2) ⑤、E-3-1) ①⑥ 必6 ウa、総Ⅱ 9 イa-d

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
口腔解剖 7	塩崎一成	歯と歯周組織の構造	歯の形態	基本事項 永久歯	①歯に関する基本事項を説明できる。 永久歯の全歯種ついて歯冠、歯根、歯頸線、根管形態の特徴と形態の推移を説明できる。 ②同一歯種内の順位による形態の推移について説明できる。	講義の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して臨むこと。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書、参考書やアトラス等を参照し補うこと。 E-3-1) ①~③ 必5 アe、総Ⅱ 5 イac
口腔解剖 8	塩崎一成	歯と歯周組織の構造	歯の形態	乳歯 特殊な形態	①乳歯の全歯種ついて歯冠、歯根、歯頸線、根管形態の特徴と形態の推移を説明できる。 ②歯の特殊な形態および異常を説明できる。	講義の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して臨むこと。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書、参考書やアトラス等を参照し補うこと。 E-3-1) ①~③ 必5 アe、総Ⅱ 5 イbd
口腔解剖 9	下田信治	人体の正常構造と機能	全身・口腔の構造・機能	器官系（骨格、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系、神経系、感覚器系）	①器官系について、構造と機能を説明できる。	講義の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して臨むこと。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書、参考書やアトラス等を参照し補うこと。 C-3-4)-(1) ①,②、C-3-4)-(2) ①、C-3-4)-(3) ①,③、C-3-4)-(4) ①②⑤⑥、C-3-4)-(5) ①~④、C-3-4)-(6) ①②、C-3-4)-(7) ①~③、C-3-4)-(8) ①②、C-3-4)-(9) ①、C-3-4)-(10) ①、C-3-4)-(11) ① 必5 アe、総Ⅱ 1 イab、総Ⅱ 1 ウab、総Ⅱ 1 エab、総Ⅱ 1 才a、総Ⅱ 1 カac、総Ⅱ 1 キbcd、総Ⅱ 1 クa
口腔解剖 10	下田信治	歯・口腔・顔面の発生・成長・発育	加齢による歯・口腔・顔面の変化	顎関節の変化	①顎関節の発生について説明できる。 ②顎関節の形態と構造における加齢変化を説明できる。	講義の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して臨むこと。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書、参考書やアトラス等を参照し補うこと。 C-3-4)-(2) ①、E-2-1) ⑥、E-2-3) ①②④ 必5 アe、総Ⅱ 6 イb
口腔解剖 11	塩崎一成	問題演習 1			①口腔解剖学分野の知識を説明することができる。	講義内容を復習しておくこと。また問題演習およびその解説を活用し、理解が不十分な項目についてを復習すること。 C-3-4)-(2) ①~④⑥、C-3-4)-(3) ①③、E-2-1) ②③、E-2-3) ①②④ 必5 アe、総Ⅱ 4 イabc、総Ⅱ 4 ウabc、総Ⅱ 6 イb

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
口腔解剖 12	石川美佐緒	問題演習 2			①口腔組織学分野の知識を説明することができる。	講義内容を復習しておくこと。また問題演習およびその解説を活用し、理解が不十分な項目についてを復習すること。 C-3-4)-(2) ⑤、E-3-1) ①④~⑥ 必5 Ae、必6 Ua、総Ⅱ 5-Iab、総Ⅱ 9-Ia~d
口腔解剖 13	塩崎一成	問題演習 3			①人体解剖学分野の知識を説明することができる。	講義内容を復習しておくこと。また問題演習およびその解説を活用し、理解が不十分な項目についてを復習すること。 C-3-4)-(1) ①,②、C-3-4)-(2) ①、C-3-4)-(3) ①,③、C-3-4)-(4) ①②⑤⑥、C-3-4)-(5) ①~④、C-3-4)-(6) ①②、C-3-4)-(7) ①~③、C-3-4)-(8) ①②、C-3-4)-(9) ①、C-3-4)-(10) ①、C-3-4)-(11) ① 必5 Ae、総Ⅱ 1-Iab、総Ⅱ 1-Uab、総Ⅱ 1-Iab、総Ⅱ 1-Oa、総Ⅱ 1-Kac、総Ⅱ 1-Kabcd、総Ⅱ 1-Ka

指導教員：下田 信治、塩崎 一成、見明 康雄

参考書：「カラーアトラス口腔組織発生学」	磯川桂太郎 ほか 編著	わかば出版	¥9,975 (税込)
ISBN：978-4-89824-046-5 C3047			
「口腔組織・発生学 第2版」	脇田 稔 ほか 著	医歯薬出版	¥10,000 + 税
ISBN：978-4-89824-046-5 C3047			
「カラーアトラス口腔組織発生学」	磯川桂太郎 ほか 編著	わかば出版	¥9,975 (税込)
ISBN：4-263-45600-9 C3047			
「人体解剖学」	著者：藤田恒夫	出版社：南江堂	¥9,500 + 税
ISBN：978-4-524-24237-5			
「口腔解剖学 第2版」	監修：脇田稔、井出吉信	医歯薬出版	¥12,000 + 税
ISBN：978-4-263-45810-5			
「ぜんぶ分かる骨の名前と仕組み辞典」	監修：山田敬喜、肥田岳彦	成美堂出版	¥1,400 + 税
ISBN：978-4-415-31001-5			
「口腔顎顔面解剖学ノート」	井出吉信 ほか 編著	学建書院	¥3,000 + 税
ISBN：978-4-7624-0687-4			
「歯の解剖学」	藤田恒太郎 原著	金原出版	¥5,913 (税込)
ISBN：978-4-307-45007-2			
「歯の見分け方」	下田信治、塩崎一成著	学建書院	¥1,200 + 税
ISBN：978-4-7624-0688-1			

総合歯科医学Ⅵ（解剖・組織細胞学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
解剖・組織 1	原矢委子	人体の正常構造・機能	全身・口腔の構造と機能	頭頸部の基本構造と機能	咀嚼筋の構成と機能を説明できる	<p>予習：講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。</p> <p>復習：配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。</p> <p>E-2-1)-③ 5-A-e</p>
解剖・組織 2	原矢委子	人体の正常構造・機能	全身・口腔の構造と機能	頭頸部の基本構造と機能	前頸筋の構成と機能を説明できる	<p>予習：講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。</p> <p>復習：配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。</p> <p>E-2-1)-③ 5-A-e</p>
解剖・組織 3	黒田範行	生命の分子的基盤	細胞の構造と機能	細胞内小器官	細胞内小器官の名称と機能を理解する	<p>予習：講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。</p> <p>復習：配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。</p> <p>C-2-3)-①② C-2-4)-① 5-A-a</p>
解剖・組織 4	黒田範行	生命の分子的基盤	遺伝子と遺伝	核酸、遺伝子、転写、翻訳	核酸、遺伝子及び染色体の構造と機能を説明できる 転写と翻訳の家庭と調節機序を説明できる	<p>予習：講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。</p> <p>復習：配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。</p> <p>C-2-2)-①～⑤ 5-A-b,c</p>
解剖・組織 5	黒田範行	人体の構造と機能	身体を構成する組織と器官	血液・リンパ	血液の構成要素と役割を説明できる 造血器官と造血機構を説明できる	<p>予習：講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。</p> <p>復習：配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。</p> <p>C-3-4)-(4)-③～⑥ 5-A-d</p>
解剖・組織 6	黒田範行	人体の構造と機能	感染と免疫	免疫	免疫系担当臓器・細胞の種類と機能を説明できる	<p>予習：講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。</p> <p>復習：配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。</p> <p>C-3-4)-(4)-④～⑥ C-4-2)-①～④ 5-A-d～f</p>
解剖・組織 7	黒田範行	人体の発生・成長・発達・加齢	人体の発生	生殖形成、排卵、受精、着床	①受精から着床までの成り立ちを説明する。 ②排卵のメカニズム、性ホルモンについて説明する。	<p>予習：講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。</p> <p>復習：配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。</p> <p>C-3-4)-(11)-① 6-A-a</p>

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
解剖・組織 8	黒田範行	人体の発生・成長・発達・加齢	人体の発生	二層性胚盤、三層性胚盤、胚子期、胎児期	初期発生について説明できる。	予習：講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。 復習：配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。 C-3-2)-①、② 6-A-b
解剖・組織 9	原矢委子	人体の正常構造・機能	全身・口腔の構造と機能	組織（上皮、結合（支持）、筋組織、神経組織）	①上皮組織の構造と機能を説明する。 ②支持組織の基本構造と機能を説明する。 ③筋組織の基本構造と機能を説明する。 ④神経組織の基本構造と機能を説明する。	予習：講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。 復習：配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。 C-3-4)-(1)-①～③ 5-A-d
解剖・組織 10	原矢委子	人体の正常構造・機能	全身・口腔の構造と機能	内分泌系	内分泌に関わる器官とその構造について説明できる。	予習：講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。 復習：配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。 C-3-4)-(9)-①、② 5-A-e
解剖・組織 11	原矢委子	人体の正常構造・機能	顎顔面の解剖	頭頸部の筋について説明できる	①表情筋の構造について説明できる。 ②咽頭・喉頭の構造について説明できる。	予習：講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。 復習：配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。 E-2-1)-③ 5-A-e
解剖・組織 12	黒田範行	人体の正常構造・機能	顎顔面の解剖	頭頸部の神経について説明できる	①表情筋の神経支配について説明できる。 ②咽頭・喉頭の神経について説明できる。	予習：講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。 復習：配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。 E-2-1)-⑤ 5-A-e
解剖・組織 13	原矢委子	人体の正常構造・機能	顎顔面の解剖	頭頸部の脈管系について説明できる	①頭頸部における血液循環について説明できる。 ②頭頸部における静脈について説明できる。 ③頭頸部のリンパ系について説明できる。	予習：講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。 復習：配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。 E-2-1)-④ 5-A-e

指導教員：黒田範行、原矢委子

参考書：「ネッター頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖アトラス」
「入門組織学 改訂第2版」

医歯薬出版、
南江堂

ISBN：978-4-263-45826-6 978-4-524-21617-8

総合歯科医学Ⅵ (生理学)

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
生理 1	大貫芳樹	細胞、 血液・体液	A. 細胞	Aa. 細胞膜 Ab. 膜タンパク Ac. 細胞小器官 Ba. 血液	A①細胞膜について説明する。 A②膜タンパクの機能について説明する。 A③細胞小器官の働きについて説明する。 B①血球の生成と処理について説明する。 B②血液の働きについて説明する。 B③細胞外液と内液について説明する。 B④体液の移動と脱水、浮腫について説明する。	スタディー生理学の予習復習範囲: p2-32。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ C-2-3)-①~④ C-2-4)-①~③ C-3-4)-(4)-①~⑦ C-3-4)-(10)-①~③ 出題基準 <必修> 必5-ア-a~e <総論> 総Ⅱ-1-ウ-a,b 総Ⅱ-1-オ-a 総Ⅱ-1-カ-a,b
生理 2	本谷安正	神経系	A. 末梢神経 B. 中枢神経 C. 伝達物質	Aa. 体性神経 Ab. 自律神経 B. 中枢神経 Ca. 伝達物質 Cb. 受容体 Cc. 細胞内情報伝達	A①体性神経について説明する。 A②自律神経及びその機能について説明する。 B脊髄・脳幹・大脳の機能について説明する。 C①伝達物質の種類・性質について説明する。 C②受容体の種類・性質について説明する。 C③細胞内情報伝達機構について説明する。	スタディー生理学の予習復習範囲: p93-110。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ C-2-1)-①~③ C-2-4)-①~② C-3-4)-(5)-①~⑨ 出題基準 <必修> 必5-ア-a~e <総論> 総Ⅱ-1-イ-a,b 総Ⅱ-1-キ-a~e
生理 3	大貫芳樹	内分泌系	A. 内分泌	Aa. ホルモン Ab. 分泌調節 Ac. ストレス	①ホルモンの作用について説明する。 ②ホルモンの分泌調節について説明する。 ③ストレス時の生体反応について説明する。	スタディー生理学の予習復習範囲: p69-84。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ C-2-1)-①~③ C-2-4)-①② C-3-4)-(7)-①~③ C-3-4)-(9)-①~④ C-3-4)-(10)-①~③ 出題基準 <必修> 必5-ア-a~e <総論> 総Ⅱ-1-エ-a,b 総Ⅱ-1-キ-a,d 総Ⅱ-1-ク-a,b
生理 4	本谷安正	感覚	A. 体性感覚 B. 特殊感覚 C. 神経感覚系の疾患	Aa. 体性感覚 Ab. 口腔体性感覚 B. 特殊感覚 C. 神経感覚系の疾患	A①体性感覚について説明する。 A②歯痛等の口腔感覚について説明する。 B①特殊感覚について説明する。 B②味覚、嗅覚について説明する。 C. 神経感覚系の疾患の症状および原因について説明する。	スタディー生理学の予習復習範囲: p111-121。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ C-3-4)-(5)-①~④ C-3-4)-(6)-①~④ E-2-2)-⑨⑩ 出題基準 <必修> 必5-ア-a~e <総論> 総Ⅱ-1-キ-a~e 総Ⅱ-6-ア-a,b,c 総Ⅲ-1-ケ-a,b 総Ⅳ-1-キ,ク

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
生理 5	大貫芳樹	循環・呼吸	A.循環 B.呼吸	Aa.心臓 Ab.血圧 Ba.呼吸運動 Bb.ガス交換	A①心臓の機能について説明する。 A②心電図について説明する。 A③血圧とそれに及ぼす要因について説明する。 B①呼吸運動について説明する。 B②呼吸運動調節の機序について説明する。 B③外・内呼吸におけるガス交換について説明する。	スタディー生理学の予習復習範囲: p33-56。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ C-2-4)-①② C-3-4)-(4)-①~④ C-3-4)-(8)-①② E-1-3)-③ 出題基準 <必修> 必5-ア-a~e 必10-エ-a <総論> 総Ⅱ-1-ウ-a,b 総Ⅵ-4-ア-a,b
生理 6	本谷安正	口腔機能Ⅰ	A.唾液 B.顎反射 C.咀嚼	Aa.唾液腺 Ab.唾液の性状・成分・分泌機序について説明する。 B.顎反射 C.咀嚼	A①唾液腺について説明する A②唾液の性状・成分・分泌機序について説明する。 B①顎反射の機序について説明する。 C①咀嚼の過程・機序、咀嚼能率について説明する。	スタディー生理学の予習復習範囲: p134-168。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ C-3-4)-(1)-③ C-3-4)-(3)-③ C-3-4)-(5)-①~④ E-2-1)-③⑤⑦⑧~⑪ E-2-2)-⑤⑥ 出題基準 <必修> 必5-ア-a~e <総論> 総Ⅱ-1-ア-a,b 総Ⅱ-1-イ-a,b 総Ⅱ-1-キ-a~e 総Ⅱ-6-イ-a,b 総Ⅱ-6-ウ-a~c 総Ⅱ-6-オ-a,b
生理 7	本谷安正	口腔機能Ⅱ	A.嚥下・嘔吐 B.発声 C.口腔機能検査	Aa.嚥下 Ab.嘔吐 Ba.声帯と発声 Bb.構音 C.口腔機能検査	A①嚥下の機序について説明する。 A②嘔吐の機序について説明する。 B①発声機構について説明する。 B②構音について説明する。 C①口腔機能検査について説明する。	スタディー生理学の予習復習範囲: p169-183。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ E-2-1)-⑧~⑪ E-2-2)-⑧ E-5-3)-③ 出題基準 <必修> 必5-ア-a~e 必10-オ-c~g <総論> 総Ⅱ-1-ア-a,b 総Ⅱ-1-イ-a,b 総Ⅱ-1-キ-a~e 総Ⅱ-6-イ-a,b 総Ⅱ-6-ウ-a~c 総Ⅱ-6-エ-a~c 総Ⅵ-1-ア-d 総Ⅵ-1-イ-a~h 総Ⅵ-4-イ-b 総Ⅵ-5-ア-b

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
生理 8	大貫芳樹	消化機能・排泄系・加齢	A. 消化機能 B. 排尿 C. 加齢	Aa. 消化管の構造と機能 Ab. 栄養素の吸収 Ac. 排便 B. 排尿 Ca. 全身領域の加齢 Cb. 口腔領域の加齢	A①消化管の構造と機能について説明する。 A②三大栄養素の吸収と運搬について説明する。 A③排便反射について説明する。 B①尿生成・蓄尿・排尿機能について説明する。 C①内分泌・循環器・呼吸器・泌尿器・神経系・運動系・感覚系の加齢について説明する。 C②咀嚼・嚥下・口腔体性感覚・味覚・唾液の加齢について説明する。	スタディー生理学の予習復習範囲：p57-68, p85-92, p122-131, p184-189。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ C-3-4)-(5)-①～④ C-3-4)-(6)-③ C-3-4)-(7)-①～③ C-3-4)-(10)-①～③ E-2-3)-② E-5-1)-① 出題基準 <必修> 必5-ア-a～e 必6-エ-a～c <総論> 総Ⅱ-1-エ-a,b 総Ⅱ-1-カ-a,b 総Ⅱ-1-キ-a～e 総Ⅱ-8-ウ-a～c 総Ⅱ-8-エ-a,b
生理 9	塩澤光一 本谷安正	総まとめⅠ	国家試験 必修・一般 問題 対策 1	A. 生体の機能	①体液量、体液成分の調節について説明する。 ②血圧調節について説明する。 ③体温調節について説明する。 ④問題演習による学力増強および確認を行う。	小項目について、予習してこること。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ C-2-3)-①～④ C-2-4)-①～③ C-3-4)-(4)-①～⑦ C-3-4)-(8)-①② C-3-4)-(10)-①～③ E-1-3)-③ 出題基準 <必修> 必5-ア-a～e <総論> 総Ⅱ-1-ウ-a,b 総Ⅱ-1-オ-a 総Ⅱ-1-カ-a,b 総Ⅵ-4-ア-a,b
生理 10	塩澤光一 大貫芳樹	総まとめⅡ	国家試験 必修・一般 問題 対策 2	A. 生体の機能	①顎運動について説明する。 ②口腔機能について説明する。 ③問題演習による学力増強および確認を行う。	小項目について、予習してこること。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ C-3-4)-(1)-③ C-3-4)-(3)-③ C-3-4)-(5)-①～④ E-2-1)-③⑤⑦⑧～⑪ E-2-2)-⑤⑥ E-5-3)-③ 出題基準 <必修> 必5-ア-a～e 必10-オ-c～g <総論> 総Ⅱ-1-ア-a,b 総Ⅱ-1-キ-a～e 総Ⅱ-6-ア-a～c 総Ⅱ-6-イ-a,b 総Ⅱ-6-ウ-a～c 総Ⅱ-6-エ 総Ⅱ-6-オ-a,b 総Ⅵ-6-ア-d 総Ⅵ-6-イ-a～h

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
生理 11	塩澤光一 大貫芳樹 本谷安正	総まとめⅢ	国家試験 必修・一般 問題 対策 3	A. 生体の機能	①ホルモンを用いた調節について説明する。 ②自律神経を用いた調節について説明する。 ③問題演習による学力 増強および確認を行う。	小項目について、予習して くること。また、配布物、 ノートを整理し復習する こと。 コアカリ C-2-1)-①～③ C-2-4)-①～② C-3-4)-(5)-①～⑨ C-3-4)-(7)-①～③ C-3-4)-(9)-①～④ C-3-4)-(10)-①～③ <必修> 必5-ア-a～e <総論> 総Ⅱ-1-キ-a～e 総Ⅱ-1-エ-a,b 総Ⅱ-1-ク-a,b
生理 12	塩澤光一 大貫芳樹 本谷安正	総まとめⅣ	国家試験 必修・一般 問題 対策 4	A. 生体の機能	①循環と呼吸について 説明する。 ②消化と吸収について 説明する。 ③問題演習による学力 増強および確認を行う。	小項目について、予習して くること。また、配布物、 ノートを整理し復習する こと。 コアカリ C-2-4)-①② C-3-4)-(4)-①～④ C-3-4)-(8)-①② E-1-3)-③ 出題基準 <必修> 必5-ア-a～e 必10-エ-a <総論> 総Ⅱ-1-ウ-a,b 総Ⅱ-1-エ-a,b 総Ⅱ-1-カ-a,b 総Ⅱ-1-キ-a～e 総Ⅵ-4-ア-a,b
生理 13	塩澤光一 大貫芳樹 本谷安正	総まとめⅤ	国家試験 必修・一般 問題 対策 4	A. 生体の機能	①全身の生理機能につ いて説明する。 ②全身および口腔領域 の加齢変化について 説明する。 ③問題演習による学力 増強および確認を行 う。	小項目について、予習して くること。また、配布物、 ノートを整理し復習する こと。 コアカリおよび出題基準 授業1回から12回までの全 ての範囲

指導教員：塩澤光一、大貫芳樹、本谷安正

総合歯科医学Ⅵ (分子生化学)

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
生化1	山本竜司	1 生体成分	1A タンパク質 1B 糖質 1C 脂質	1Aa アミノ酸 1Ab ペプチドとタンパク質 1Ba 単糖、オリゴ糖、多糖 1Bb 単糖誘導体 1Ca 脂肪酸 1Cb 中性脂肪 1Cc リン脂質 1Cd コレステロール	1Aa① アミノ酸の種類と構造の特徴を説明する。 1Ab① ペプチドとタンパク質の構造と機能を説明する。 1Ba① 単糖、オリゴ糖、多糖の種類と構造の特徴を説明する。 1Bb① 糖アルコール、ヘキソサミン、ウロン酸を説明する。 1Ca① 脂肪酸の種類と構造の特徴を説明する。 1Cb① 中性脂肪の構造と機能を説明する。 1Cc① リン脂質の構造と機能の特徴を説明する。 1Cc② 細胞膜の構造を説明する。 1Cd① コレステロールの構造と誘導物質を説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。 国試出題基準：必5 A a.c コアカリ：C-2-1)-①～⑤
生化2	山本竜司	2 代謝	2A 代謝概要 2B 糖質代謝 2C 脂質代謝 2D アミノ酸代謝	2Aa 異化と同化 2Ab 酵素 2Ba 糖質の消化・吸収 2Bb 糖質のエネルギー産生 2Bc グルコース産生 2Ca 脂質の消化・吸収 2Cb 脂質の運搬 2Cc 脂質のエネルギー産生 2Cd ケトン体生成 2Da タンパク質の消化・吸収 2Db アミノ酸の利用	2Aa① 異化と同化を説明する。 2Aa② ATPの構造とエネルギー通貨を説明する。 2Ab① 酵素の種類と性質を説明する。 2Ba① 糖質の消化・吸収機構を説明する。 2Bb① 解糖系、クエン酸回路、電子伝達系、酸化的リン酸化を説明する。 2Bc① 糖新生を説明する。 2Ca① 脂質の消化・吸収機構を説明する。 2Cb① 脂質の運搬を説明する。 2Cc① β酸化を説明する。 2Cd① ケトン体の種類と生成機構を説明する。 2Da① タンパク質の消化・吸収機構を説明する。 2Db① アミノ基転移反応、酸化的脱アミノ反応を説明する。 2Db② 糖原性およびケトン性アミノ酸を説明する。 2Db③ 尿素回路を説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。 国試出題基準：必5 A a.c.e、総Ⅱ 1 E a.b コアカリ：C-2-1)-①～⑤
生化3	山本竜司	3 ヌクレオチド 4 タンパク質合成	3A 核酸の構造 3B ヌクレオチド代謝 4A セントラルドグマ	3Aa DNAとRNA 3Ab 染色体 3Ba ヌクレオチド関連物質 3Bb ヌクレオチドの異化 4Aa DNAの複製 4Ab PCR検査 4Ac 転写 4Ad 翻訳 4Ae 修飾と分解	3Aa① ヌクレオチドの構成成分を説明する。 3Aa② DNAとRNAの構造を説明する。 3Ab① 染色体の構造を説明する。 3Ab② 細胞分裂を説明する。 3Ba① ATP、ビタミンB2、B3、B5の構造を説明する。 3Bb① ヌクレオチド構成塩基の異化代謝を説明する。 4Aa① DNAの複製機構を説明する。 4Ab① PCR検査の原理を説明する。 4Ac① 転写の機構を説明する。 4Ac② スプライシングの機構を説明する。 4Ad① 翻訳の機構を説明する。 4Ae① タンパク質の修飾について説明する。 4Ae② タンパク質の分解について説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。 国試出題基準：必5 A a～c、総Ⅱ 1 コアカリ：C-2-1)-④、C-2-2)-①～⑤

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
生化4	山越康雄	5 歯と歯周組織の構造	5 A 結合組織の成分	5 Aa コラーゲン 5 Ab グリコサミノグリカン 5 Ac プロテオグリカン 5 Ad 細胞接着タンパク質	5 Aa① コラーゲンの生合成を説明する。 5 Aa② コラーゲンファミリーを説明する。 5 Ab① グリコサミノグリカンの種類と構造を説明する。 5 Ac① プロテオグリカンの種類と分布を説明する。 5 Ad① 細胞接着タンパク質の構造と種類を説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。 国試出題基準：必5 Ad、総Ⅱ5 Ia,b コアカリ：C-2-1)-①、②、C-2-2)-③、④、C-2-3)-①、C-2-4)-①、③、C-3-4)-(2)-②、C-5-1)-①
生化5	山越康雄	6 歯と歯周組織の構造	6 A 硬組織の有機成分 6 B 硬組織の無機成分 6 C 硬組織の石灰化機構	6 Aa 非コラーゲン性タンパク(NCP) 6 Ba ヒドロキシアパタイト 6 Ca 基質小胞性石灰化 6 Cb エナメル芽細胞性石灰化	6 Aa① 骨のNCPの種類と特徴を説明する。 6 Aa② 象牙質のNCPの種類と特徴を説明する。 6 Aa③ エナメルタンパクの種類と特徴を説明する。 6 Ba① ヒドロキシアパタイトの構造と特徴を説明する。 6 Ca① 基質小胞性石灰化機構を説明する。 6 Cb① エナメル芽細胞性石灰化機構を説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。 国試出題基準：必5 Ae、総Ⅱ5 Ia,b、総Ⅱ9 Ib、総Ⅱ9 U b,c コアカリ：C-2-4)-③、C-3-4)-(2)-②、⑤、C-5-1)-①、E-3-1)-①、③、④
生化6	山越康雄	7 骨代謝	7 A 軟骨形成 7 B 骨形成 7 C 骨吸収 7 D 骨のリモデリング	7 Aa 軟骨細胞 7 Ba 骨芽細胞 7 Ca 破骨細胞 7 Da 破骨細胞分化	7 Aa① 軟骨細胞の分化調節を説明する。 7 Ba① 骨芽細胞の分化調節を説明する。 7 Ba② 骨細胞の特徴を説明する。 7 Ca① 破骨細胞の特徴を説明する。 7 Da① M-CSF系分化を説明する。 7 Da② RANK-RANKL系分化を説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。 国試出題基準：必5 Ae、総Ⅱ9 Ua~c コアカリ：C-2-4)-③、C-3-4)-(2)-②~⑤、C-5-1)-①
生化7	山越康雄	8 血清Caの恒常性	8 A Ca調節ホルモン 8 B 標的器官	8 Aa 血清Caの調節 8 Ba 副甲状腺ホルモン 8 Bb 活性型ビタミンD 8 Bc カルシトニン	8 Aa① Caの働きを説明する。 8 Aa② 血清Caの恒常性に関わる臓器、ホルモンを説明する。 8 Ba① 副甲状腺ホルモンの構造と作用を説明する。 8 Bb① 活性型ビタミンDの合成機序と作用を説明する。 8 Bc① カルシトニンの構造と作用を説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。 国試出題基準：必5 Ae、総Ⅱ9 U b,c コアカリ：C-3-4)-(2)-②~⑤、C-5-1)-①
生化8	山越康雄	9 口腔環境	9 A 唾液の有機成分 9 B 唾液の無機成分	9 Aa 唾液のタンパク質 9 Ab 唾液の酵素 9 Ba 唾液の無機成分	9 Aa① 唾液タンパク質の種類と性質を説明する。 9 Ab① 唾液酵素の種類と性質を説明する。 9 Ba① 唾液無機成分の種類と性質を説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。 国試出題基準：必5 Ae、必5 Ic、総Ⅱ6 Oa、総Ⅱ7 I コアカリ：C-4-2)-⑦、E-2-2)-⑤
生化9	山越康雄	10 口腔内付着物	10A ペリクル 10B プラーク 10C プラーク内の酸産生	10Aa ペリクルの組成 10Ba プラーク形成 10Bb 菌体外多糖 10Ca 歯肉縁上プラーク 10Cb 歯肉縁下プラーク	10Aa① ペリクルの成分と役割を説明する。 10Ba① プラークの形成機序を説明する。 10Bb① 菌体外多糖の生成機序を説明する。 10Bb② グルカンの構造を説明する。 10Bb③ フルクタンの構造を説明する。 10Ca① 歯肉縁上プラークの酸産生機序を説明する。 10Ca② ステファンカーブを説明する。 10Cb① 歯肉縁下プラークの酸産生機序を説明する。 10Cb② 口臭原因物質の種類と産生機序を説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。 国試出題基準：必5 Ae、必5 Ic、総Ⅱ6 Oa、総Ⅱ7 I コアカリ：C-2-1)-①、②、④、C-4-2)-⑦、E-2-2)-⑤、E-3-2)-④

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
生化10	山越康雄	11 炎症と免疫	11A 自然免疫と獲得免疫 11B ケミカルメディエーター	11Aa 免疫担当細胞 11Ba アミン 11Bb キニン 11Bc アラキドン酸由来エイコサノイド	11Aa① 免疫担当細胞の種類と役割を説明する。 11Ba① アミンの種類と生成機序を説明する。 11Ba② 血管透過性の機序を説明する。 11Bb① キニンの種類と生成機序を説明する。 11Bb② 白血球遊走作用の機序を説明する。 11Bc① アラキドン酸カスケードを説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。 国試出題基準：必5 Af、必7 Ad、総Ⅱ3ウ、総Ⅲ1オa,d コアカリ：C-2-1)-①～③、C-4-2)-①～③、C-5-5)-①、②
生化11	山越康雄	12 一般生化学	12A 問題演習および解説			国試出題基準：必5 Aa～c,e、総Ⅱ1 E a,b コアカリ：C-2-1)-①～⑤、C-2-2)-①～⑤
生化12	山越康雄	13 口腔生化学	13A 問題演習および解説			国試出題基準：必5 Ac～f、必5 Ic、必7 Ad、総Ⅱ3ウ、総Ⅱ5 Ia,b、総Ⅱ6 オa、総Ⅱ7 イ、総Ⅱ9 Ib、総Ⅱ9ウa～c、総Ⅲ1オa,d コアカリ：C-2-1)-①～⑤、C-2-2)-③、④、C-2-3)-①、C-2-4)-①、③、C-3-4)-(2)-②～⑤、C-4-2)-①～③、⑦、C-5-1)-①、C-5-5)-①、②、E-2-2)-⑤、E-3-1)-①、③、④、E-3-2)-④
生化13	山越康雄	14 生化学全般	14A 問題演習および解説			国試出題基準：必5 Aa～f、必5 Ic、必7 Ad、総Ⅱ1 E a,b、総Ⅱ3ウ、総Ⅱ5 Ia,b、総Ⅱ6 オa、総Ⅱ7 イ、総Ⅱ9 Ib、総Ⅱ9ウa～c、総Ⅲ1オa,d コアカリ：C-2-1)-①～⑤、C-2-2)-①～⑤、C-2-3)-①、C-2-4)-①、③、C-3-4)-(2)-②～⑤、C-4-2)-①～③、⑦、C-5-1)-①、C-5-5)-①、②、E-2-2)-⑤、E-3-1)-①、③、④、E-3-2)-④

指導教員：山越康雄、山本竜司

参考書：ベーシック生化学、口腔生化学（第5版）

ISBN：9784759811766、9784263456453

総合歯科医学Ⅵ（口腔微生物学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
微生物 1	大島朋子	感染	A. 総論 B. 感染の概念 C. 感染成立に関わる因子	微生物の分類と構造 感染と発症 感染経路 宿主の感受性 寄生体の病原性 病原微生物	①微生物の基本的事項を説明する。 ②感染と発症の違いを説明する。 ③(感染成立に関わる)宿主側の因子を説明する。 ④感染経路を説明する。 ⑤寄生体の病原性を説明する。 ⑥病原微生物と常在微生物を説明する。	[予習] manabaで配布された講義資料(ノート)を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサー課題で復習すること。 モデルコアカリキュラム: C-4-1) ①~⑤ 国家試験出題基準: 必修5イb、必修7アe、 総論Ⅱ2ア、総論Ⅲ1カa~c、 総論Ⅲ3ウa~e、 総論Ⅴ6アj、総論Ⅶ1k、 各論Ⅰ2イf、各論Ⅲ1ウe、 各論Ⅳ4イa~g
微生物 2	大島朋子	感染	D. 感染の種類	日和見感染 院内感染 菌交代症 菌血症・敗血症 病巣感染 食中毒(毒素型、感染型) 新興・再興感染症	⑦感染の種類を説明する。 ⑧食中毒の種類を説明する。 ⑨新興・再興感染症を説明する。	[予習] manabaで配布された講義資料(ノート)を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサー課題で復習すること。 モデルコアカリキュラム: C-4-1) ①~⑤ 国家試験出題基準: 必修5イb、必修7アe、 総論Ⅱ2ア、総論Ⅲ1カa~c、 総論Ⅲ3ウa~e、 総論Ⅴ6アj、総論Ⅶ1k、 各論Ⅰ2イf、各論Ⅲ1ウe、 各論Ⅳ4イa~g
微生物 3	大島朋子	口腔生態系	口腔環境と常在微生物	口腔環境の特殊性 口腔常在微生物叢 ペリクル プラーク(歯垢) 歯肉溝滲出液 歯肉縁下プラーク	①微生物の口腔環境適応性を説明する。 ②口腔の生態系について説明する。 ③ヒトと常在微生物の関わりについて説明する。 ④プラーク(歯垢)について説明する。 ⑤歯肉縁下プラークの特性を説明する。	[予習] manabaで配布された講義資料(ノート)を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサー課題で復習すること。 モデルコアカリキュラム: C-4-1)①~⑤、E-3-2)①~④ 国家試験出題基準: 必修5イac、総論Ⅰ7アイ、 総論Ⅱ2ア、総論Ⅲ1カa~c、 各論Ⅱ1アab、各論Ⅱ2ア、 各論Ⅲ3アa~e、 各論Ⅲ1ウef、 各論Ⅳ4イa~g
微生物 4	大島朋子	口腔感染症および口腔に症状がみられる全身感染症	A. う蝕 B. 歯周病 C. その他の口腔感染症および口腔に症状がみられる全身感染症	う蝕原性細菌 歯内-根尖歯周組織の感染症 歯周病原性細菌 口腔カンジダ症 顎放線菌症 結核 梅毒	①う蝕原性細菌の特徴を説明する。 ②う蝕病原性を説明する。 ③歯内-根尖歯周組織の感染症について説明する。 ④歯周病の分類と原因細菌について説明する。 ⑤歯周病と免疫の関わりを説明する。 ⑥歯周病原細菌の病原因子を説明する。 ⑦口腔カンジダ症の原因真菌の病原因子を説明する。 ⑧顎放線菌症の成り立ちを説明する。 ⑨口腔内の結核の特徴を説明する。 ⑩口腔内の梅毒の特徴を説明する。	[予習] manabaで配布された講義資料(ノート)を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサー課題で復習すること。 モデルコアカリキュラム: C-4-1)①~⑤、E-3-2)①~④ 国家試験出題基準: 必修5イac、総論Ⅰ7アイ、 総論Ⅱ2ア、総論Ⅲ1カa~c、 各論Ⅱ1アab、各論Ⅱ2ア、 各論Ⅲ3アa~e、 各論Ⅲ1ウef、 各論Ⅳ4イa~g

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
微生物 5	大島朋子	ウイルス感染症	A. 総論	ウイルスとは ウイルス感染症の 特徴 予防法と治療法	①歯科医にとって重要なウイルス感染症を説明する。 ②予防法と治療法を説明する。	[予習] manabaで配布された講義資料(ノート)を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサー課題で復習すること。 モデルコアカリキュラム: C-4-1) ①~⑤、E-6 ①~③ 国家試験出題基準: 必修5イb、必修7アe、 総論Ⅱ2ア、総論Ⅲ1カa~c、 総論Ⅲ3ウa~e、 総論Ⅴ6ア]、総論ⅦIjk、 各論Ⅰ2イf、各論Ⅲ1ウe、 各論Ⅳ4イa~g
微生物 6	大島朋子	ウイルス感染症	B. 各論	RNAウイルス各論 DNAウイルス各論	③口腔領域に症状が見られるウイルス感染症を説明する。 ④歯科診療上注意が必要なウイルス感染症を説明する。	[予習] manabaで配布された講義資料(ノート)を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサー課題で復習すること。 モデルコアカリキュラム: C-4-1) ①~⑤、E-6 ①~③ 国家試験出題基準: 必修5イb、必修7アe、 総論Ⅱ2ア、総論Ⅲ1カa~c、 総論Ⅲ3ウa~e、 総論Ⅴ6ア]、総論ⅦIjk、 各論Ⅰ2イf、各論Ⅲ1ウe、 各論Ⅳ4イa~g
微生物 7	高尾亜由子	院内感染対策	A. 感染症化学療法	抗菌薬 抗真菌薬 抗菌薬の作用機序 抗菌薬の適正使用 <AMS>と薬剤耐性<AMR> 副作用(有害事象)	①各種抗菌薬と抗真菌薬の種類と作用機序を説明する。 ②各種抗菌薬と抗真菌薬の耐性、おもな薬剤体制菌を説明する。 ③各種抗菌薬と抗真菌薬の副作用を説明する。	[予習] manabaで配布された講義資料(ノート)を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサー課題で復習すること。 モデルコアカリキュラム: C-4-1) ①~⑤、E-6 ②~③ 国家試験出題基準: 必修2カab、必修12Iad、 総論Ⅰ7アbc、総論Ⅵ3アe、 総論Ⅶ4アb
微生物 8	高尾亜由子	院内感染対策	B. 滅菌 C. 消毒	滅菌法の原理と適用 消毒薬の作用機序と適用	③各種抗菌薬と抗真菌薬の種類と作用機序を説明する。 ④各種抗菌薬と抗真菌薬の耐性、おもな薬剤耐性菌を説明する。 ⑤各種抗菌薬と抗真菌薬の副作用を説明する。	[予習] manabaで配布された講義資料(ノート)を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサー課題で復習すること。 モデルコアカリキュラム: C-4-1) ①~⑤、E-6 ②~③ 国家試験出題基準: 必修2abd、必修12Iad、 総論Ⅰ7アbc、総論Ⅵ3アe、 総論Ⅶ4アb
微生物 9	大島朋子	免疫	A. 免疫系の分類 B. 免疫系の構成 C. 免疫寛容	自然免疫と獲得免疫 粘膜免疫 免疫関連臓器 免疫関連細胞 自己寛容	①免疫応答の成り立ちの特性について説明する。 ②自然免疫について説明する。 ③獲得免疫について説明する。 ④粘膜免疫の特殊性について説明する。 ⑤中枢および末梢免疫関連臓器について説明する。 ⑥免疫関連細胞を分類し説明する。 ⑦免疫における自己寛容の成立について説明する。	[予習] manabaで配布された講義資料(ノート)を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサー課題で復習すること。 モデルコアカリキュラム: C-4-2) ①~⑧、E-6 ①~③ 国家試験出題基準: 必修5アf、必修7アf、 必修10Ied、総論Ⅱ3ア~オ、 総論Ⅲ1カa~d、 総論Ⅵ3アd、総論Ⅶ1Ij、 各論Ⅳ4イa~d、オa~e、 カcd

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
微生物 10	大島朋子	免疫	D. 免疫系の機能 E. アレルギー F. 免疫異常	体液性免疫 細胞性免疫 サイトカイン	①体液性免疫の仕組みを説明する。 ②細胞性免疫の特性を説明する。 ③サイトカインを列挙し分類する。 ④アレルギー反応を分類し説明する。 ⑤アレルギー性疾患を列挙する。 ⑥免疫不全症を分類し説明する。 ⑦自己免疫性疾患を分類し説明する。	[予習] manabaで配布された講義資料(ノート)を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサー課題で復習すること。 モデルコアカリキュラム: C-4-2) ①~⑧、E-6 ①~③ 国家試験出題基準: 必修5 Af、必修7 Af、必修10 Ed、総論Ⅱ3 ア~オ、総論Ⅲ1 ka~d、総論Ⅵ3 Ad、総論ⅦIj、各論Ⅲ4 Ia~d、オa~e、カcd
微生物 11	大島朋子	学力増強 -1	感染と感染対策		感染と感染対策に関する問題を幅広く解く実力をつける。	[予習] あらかじめ1, 2, 5~8回の講義プリントを読み直しておくこと。 [復習] 講義後にアンサー問題で復習すること。 モデルコアカリキュラム: C-4-1) ①~⑤ 国家試験出題基準: 必修2 abd、必修5 Ib、必修7 Abce、必修12 Ead、総論Ⅱ2 ア、総論Ⅲ1 ka~c、総論Ⅲ3 ua~e、総論Ⅴ6 Aj、総論Ⅶ1 Ik、総論Ⅶ4 Ab、各論Ⅰ2 If、各論Ⅲ1 ue、各論Ⅲ4 Ia~g、総論Ⅰ7 ア、総論Ⅵ3 Ae
微生物 12	大島朋子	学力増強 -2	口腔内環境と感染症		口腔内環境と関連する感染症について、問題を幅広く解く実力をつける。	[予習] あらかじめ3~6回の講義プリントを読み直しておくこと。 [復習] 講義後にアンサー問題で復習すること。 モデルコアカリキュラム: C-4-1) ①~⑤、E-3-2) ①~④ 国家試験出題基準: 必修5 Iac、総論Ⅰ7 Ai、総論Ⅱ2 ア、総論Ⅲ1 ka~c、各論Ⅱ1 Aab、各論Ⅱ2 ア、各論Ⅱ3 Aa~e、各論Ⅲ1 Uef、各論Ⅲ4 Ia~g
微生物 13	大島朋子	学力増強 -3	免疫		免疫に関する問題を幅広く解く実力をつける。	[予習] あらかじめ9,10回の講義プリントを読み直しておくこと。 [復習] 講義後にアンサー問題で復習すること。 モデルコアカリキュラム: C-4-2) ①~⑧、E-6 ①~③ 国家試験出題基準: 必修5 Af、必修7 Af、必修10 Ed、総論Ⅱ3 ア~オ、総論Ⅲ1 ka~d、総論Ⅵ3 Ad、総論ⅦIj、各論Ⅲ4 Ia~d、オa~e、カcd

指導教員：大島朋子、高尾亞由子

参考書：口腔微生物学—微生物の性状と感染— 第7版 石原和幸 他編著、学建書院、¥8,500+税
ISBN：978-4-7624-6654-0
口腔微生物学サイドリーダー 第4版 前田伸子、大島朋子著、学建書院、3,520円+税
ISBN：978-4-7624-3143-2

総合歯科医学Ⅵ (病理学)

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
病理 1	松本直行	1 病因論	1 A 内因	1 Aa 一般的素因 1 Ab 個人的素因	1 A① 内因を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-5-1) ①② C-5-2) ①～④ C-5-3) ①～⑤ C-5-4) ①～⑥ C-5-7) ① E-2-4)-(2) ① E-2-4)-(10) ⑧⑨ E-6 ① F-1-1) ⑦ 必7-ア-a～c,h～j 必7-イ-g,h 必8-ア-a 必8-ウ-b,c 総Ⅲ-1-イ-a～c 総Ⅲ-1-ウ-a～e 総Ⅲ-1-エ-a,b 総Ⅲ-2-ア-a 総Ⅳ-1-ア 総Ⅳ-1-ウ 各Ⅰ-1-エ-a,b 各Ⅲ-4-オ-e 各Ⅲ-4-カ-j 各Ⅲ-4-キ-a,b
			1 B 外因	1 Ba 栄養性外因 1 Bb 物理的外因 1 Bc 化学的外因 1 Bd 病原性微生物	1 B① 外因を説明できる。	
		2 代謝障害	2 A ビタミン欠乏症	2 Aa 脂溶性ビタミン欠乏 2 Ab 水溶性ビタミン欠乏	2 A① ビタミン欠乏の種類と症状を列挙できる。	
		3 細胞傷害、組織傷害及び萎縮	3 A 退行性病変	3 Aa 変性 3 Ab 萎縮 3 Ac 壊死 3 Ad アポトーシス	3 A① 細胞傷害と組織傷害を説明できる。 3 A② 変性と関連疾患の病態を説明できる。 3 A③ 疾患における壊死とアポトーシスを説明できる。 3 A④ 萎縮と仮性肥大を説明できる。	
		4 修復と再生	4 A 進行性病変 4 B 肉芽組織、器質化、創傷治癒、再生	4 Aa 肥大 4 Ab 過形成 4 Ac 化生 4 B 治癒の分類と過程	4 A① 肥大と過形成を説明できる。 4 A② 化生を説明できる。 4 B① 修復と再生の機序と幹細胞の役割を説明できる。 4 B② 創傷治癒の過程と関与する細胞を説明できる。 4 B③ 器質化を説明できる。	
5 循環障害	5 A 循環障害	5 Aa 充血 5 Ab うっ血 5 Ac 虚血 5 Ad 浮腫 (水腫) 5 Ae 出血 5 Af 血栓 5 Ag 塞栓 5 Ah 梗塞 5 Ai ショック	5 A① 虚血、充血、うっ血の徴候、原因、転帰及び関連疾患を説明できる。 5 A② 出血の原因、種類及び転帰を説明できる。 5 A③ 血栓と塞栓の形成機序、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。 5 A④ 梗塞の種類、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。 5 A⑤ 浮腫の原因と転帰を説明できる。 5 A⑥ ショックの成因と種類を説明できる。			
病理 2	尾曲大輔	1 血液疾患	1 A 貧血	1 Aa 鉄欠乏性貧血 1 Ab 溶血性貧血 1 Ac 再生不良性貧血 1 Ad 巨赤芽球性貧血	1 ① 血液疾患 (貧血、出血性素因) を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-5-4) ② E-2-4)-(10) ①③ ⑧⑨ E-6 ① F-1-1) ⑦ 必7-ア-h 必8-イ-a 必8-ウ-a～c 総Ⅲ-1-エ-a 総Ⅲ-1-キ-a～d 総Ⅲ-2-ア-g
	1 B 出血性素因	1 Ba 壊血病 1 Bb IgA血管炎<アレルギー性紫斑病> 1 Bc Osler病 1 Bd 血小板無力症 1 Be 特発性血小板減少性紫斑病 1 Bf 白血病 1 Bg von Willebrand病 1 Bh 血友病 1 Bi 播種性血管内凝固症候群<DIC>				

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
病理 2						総Ⅳ-1-ア 総Ⅳ-1-オ 各Ⅲ-1-ク-r 各Ⅲ-4-エ-b 各Ⅲ-4-オ-d,e 各Ⅲ-4-カ-k 各Ⅲ-4-キ-b 各Ⅲ-4-ク-a 各Ⅲ-4-ケ-a 各Ⅲ-4-コ-a~f
病理 3	尾曲大輔	1 炎症 (総論) 2 免疫異常	1 A 炎症の基本的概念 1 B 炎症の分類 2 A アレルギー 2 B 自己免疫疾患 2 C 後天性免疫不全症候群 <AIDS>	1 Aa 炎症の定義 1 Ab 炎症の原因 1 Ac 炎症の経過 1 Ba 滲出性炎 1 Bb 変質性炎 1 Bc 増殖性炎 1 Bd 肉芽腫性炎 2 A アレルギー 2 B 自己免疫疾患 2 C 後天性免疫不全症候群 <AIDS>	1 A①炎症の定義と機序を説明できる。 1 A②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。 1 B①滲出性炎の種類、形態的特徴及び経時的变化を説明できる。 1 B①肉芽腫性炎の種類、形態的特徴及び経時的变化を説明できる。 2 AB① アレルギーの分類を説明できる。 2 AB② アレルギー、自己免疫疾患の種類と発症機序を説明できる。 2 C①ヒト免疫不全ウイルス (human immunodeficiency virus <HIV>) 感染症と後天性免疫不全症候群 (acquired immune deficiency syndrome <AIDS>) の口腔症状を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-4-2) ⑤⑥ C-5-5) ①~④ E-2-4)-(3) ② E-2-4)-(4) ① E-2-4)-(10) ③⑩ E-6 ① F-1-1) ⑦ 必7-ア-d~f 必8-ア-a 必8-イ-a 必8-ウ-d,f,g 総Ⅲ-1-オa~d 総Ⅲ-1-カa~c 総Ⅲ-1-キa~c 総Ⅳ-1-ア 各Ⅰ-2-イ-f 各Ⅲ-1-ウ-b,f 各Ⅲ-4-イ-a 各Ⅲ-4-ウ-a,c 各Ⅲ-4-エ-a
病理 4	尾曲大輔	1 病理検査 2 腫瘍 (総論)	1 A 検体検査 2 A 腫瘍の定義と分類 2 B 腫瘍の発生 2 C 腫瘍の組織学的な特徴 2 D 腫瘍の進展	1 Aa 細胞診 1 Ab 組織診 1 Ac 染色法 2 Aa 生物学的性状による分類 2 Ab 発生母組織による分類 2 Ba 発がん因子 2 Bb がん遺伝子/ がん抑制遺伝子 2 Ca 腫瘍の病理組織学的特徴 2 Cb 異型性と組織学的分化度 2 Cc 良性腫瘍と悪性腫瘍の異同 2 Da 腫瘍の増殖、浸潤、転移、再発 2 Db TNM分類	1 Aa① 細胞診の目的と適応、実施方法を説明できる。 1 Ab① 組織診の目的と適応、実施方法を説明できる。 1 Ac① 標本の染色法を説明できる。 2 A①腫瘍の定義と分類を説明できる。 2 B①腫瘍の病因を説明できる。 2 C①良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 2 C②腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 2 D①腫瘍の増殖、浸潤、再発及び転移を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-5-6) ①②④~⑥ E-1-3) ①②④ E-2-4-(6)①~③ 必7-ア-g 必7-イ-j 必8-イ-a 必10-キ-a,b 総Ⅲ-1-カa~c 総Ⅲ-1-クa~g 総Ⅵ-3-ア-f

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
病理 5	松本直行	1 歯・歯周組織疾患	1 A 象牙質・歯髄複合体の進行性・退行性病変	1 Aa 第2象牙質、第3象牙質 1 Ab 硬化象牙質 1 Ac 象牙粒 1 Ad 歯髄の石灰変性 1 Ae 象牙芽細胞の空胞変性 1 Af 歯髄の網様萎縮 1 Ba 歯髄充血 1 Bb 単純性歯髄炎 1 Bc 急性化膿性歯髄炎 1 Bd 慢性潰瘍性歯髄炎 1 Be 壊疽性歯髄炎 1 Bf 慢性増殖性歯髄炎	1 A①象牙質・歯髄複合体の退行性病変・進行性病変の病因と病態を説明できる。 1 B①歯髄炎の病因と病態を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-5-2) ①②④ C-5-5) ①～③ E-2-4)-(3) ② E-2-4)-(5) ①② E-3-2) ② 必7-ア-d,e,i 必7-イ-b,c,i 必8-イ-a 総Ⅲ-1-イ-a,b 総Ⅲ-1-エ-b 総Ⅲ-1-オ-a～d 総Ⅲ-1-カ-a～c 総Ⅲ-2-ア-b,d,e 総Ⅳ-2-ア 総Ⅳ-2-イ 総Ⅳ-2-キ 各Ⅰ-3-イ-c,d,g 各Ⅱ-2-ア-a,b 各Ⅲ-1-エ-a,b 各Ⅲ-2-オ-a,b 各Ⅲ-3-ア-f 各Ⅲ-4-ア-o
		2 嚢胞	1 C 根尖性歯周炎 2 A 歯原性炎症性嚢胞 2 B 歯原性発育性嚢胞 2 C 非歯原性嚢胞 2 D 偽嚢胞	1 Ca 根尖膿瘍 1 Cb 歯根肉芽腫 2 Aa 歯根嚢胞 2 Ab 残留嚢胞 2 Ac 炎症性傍側性嚢胞 2 Ba 歯周嚢胞 2 Bb 含歯性嚢胞 2 Bc 萌出嚢胞 2 Bd 幼児の歯肉嚢胞 2 Be 歯原性角化嚢胞 2 Bf 石灰化歯原性嚢胞 2 Bg 側方性歯周嚢胞 2 Ca 切歯管嚢胞<鼻口蓋管嚢胞> 2 Cb 鼻齒槽嚢胞<鼻唇嚢胞> 2 Cc 術後性上顎嚢胞 2 Cd 粘液〔貯留〕嚢胞<粘液瘤> 2 Ce リンパ上皮性嚢胞(嚢嚢胞、側頸嚢胞) 2 Cf 甲状舌管嚢胞 2 Cg 類皮嚢胞、類表皮嚢胞 2 Da 単純性骨嚢胞 2 Db 動脈瘤様骨嚢胞 2 Dc 静止性骨空洞	1 C①根尖性歯周炎の病因と病態を説明できる。 2 AB①歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 2 C①顎骨に発生する非歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 2 C②軟組織に発生する非歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 2 D①偽嚢胞の種類と特徴を列挙できる。	
病理 6	松本直行	1 口腔粘膜疾患 1	1 A 損傷 1 B ウイルス感染症 1 C 細菌感染症 1 D 真菌感染症 1 E 免疫異常	1 Aa びらん、潰瘍、アフタ 1 Ba 単純疱疹<単純ヘルペス> 1 Bb 水痘・带状疱疹 1 Bc ヘルパンギーナ 1 Bd 手足口病 1 Be 麻疹 1 Bf 風疹 1 Bg 毛様白板症 1 Ca 顎放線菌症 1 Db カンジダ症 1 Ea 移植片対宿主病<GVHD> 1 Eb 尋常性天疱瘡 1 Ec 水疱性類天疱瘡 1 Ed 円板状エリテマトーデス	1 ① 口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 1 ② 水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説できる。 1 ③ 口腔粘膜に症状を現すアレルギー性疾患、膠原病、免疫異常の症状を列挙できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-4-1) ③ C-4-2) ⑤⑥ C-5-5) ①②④ E-2-4)-(4) ①② E-2-4)-(10) ② E-6 ① F-1-1) ⑦ 必7-ア-c～f,i 必7-イ-h,l,n,o 必8-イ-a,f 必8-ウ-d,e,g,i,l 必8-エ-a

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
病理 6				1 Ee 全身性エリテマトーデス 1 Ef Behçet病 1 Eg 扁平苔癬 1 Eh 金属/薬剤アレルギー 1 Ei 多形[滲出性]紅斑、Stevens-Johnson症候群、中毒性表皮壊死症 1 Fa 単純黒子 1 Fb メタルタトゥー		総Ⅲ-1-ウ-d 総Ⅲ-1-オ-a～d 総Ⅲ-1-カ-a～c 総Ⅲ-1-キ-a～d 総Ⅲ-1-サ-a,b 総Ⅲ-2-ア-c,d,g 総Ⅳ-1-イ 総Ⅳ-2-エ 各Ⅰ-3-ウ-a～e 各Ⅲ-1-イ-a 各Ⅲ-1-ク-a～g,i,j,m,n 各Ⅲ-4-イ-a～g 各Ⅲ-4-エ-a,d 各Ⅲ-4-オ-a,c 各Ⅲ-4-カ-h 各Ⅲ-1-ク-m,n,p
病理 7	尾曲大輔	1 口腔粘膜疾患 2	1 A 腫瘍 1 B 腫瘍類似疾患	1 Aa 乳頭腫 1 Ab 口腔潜在的悪性疾患 1 Ac 口腔上皮性異形成 1 Ad 上皮内癌 1 Ae 扁平上皮癌 1 Af 色素性母斑 1 Ag 悪性黒色腫 1 Ba 歯肉線維腫症 1 Bb 薬物性歯肉増殖症 1 Bc 義歯性線維腫 1 Bd エプーリス	1 ① 口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 1 A① 口腔粘膜上皮由来の腫瘍を分類できる。 1 A② 口腔上皮性異形成から扁平上皮癌への進展と組織像を説明できる。 1 Afg①メラニン産生腫瘍について説明できる。 1 Bd①エプーリスの特徴、症状および治療法を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-5-6) ①～⑥ E-2-4-(6)①～⑥ E-2-4)-(10) ④ 必7-ア-d,e,g,j 必7-イ-c,j,l 必8-イ-a,d,f 必8-エ-a 総Ⅲ-1-ウ-a 総Ⅲ-1-サ-b 総Ⅲ-1-ク-a～g 総Ⅲ-2-ア-b～d 総Ⅳ-1-イ 総Ⅳ-2-イ 総Ⅳ-2-エ 各Ⅱ-3-ア-a 各Ⅲ-1-オ-b～i,m～o 各Ⅲ-1-ク-i～l,o
病理 8	尾曲大輔	1 唾液腺疾患	1 A 唾液腺炎 1 B 唾液腺良性腫瘍 1 C 唾液腺悪性腫瘍	1 Aa 流行性耳下腺炎 1 Ab 巨細胞封入体症 1 Ac Sjögren症候群 1 Ad IgG 4 関連涙腺・唾液腺炎 <Mikulicz病> 1 Ba 多形腺腫 1 Bb Warthin腫瘍 1 Ca 腺様嚢胞癌 1 Cb 粘表皮癌	1 ① 正常な唾液腺の構造を説明できる。 1 A① 唾液腺に発生する非腫瘍性疾患を列挙できる。 1 Ac① Sjögren症候群を説明できる。 1 Ad① IgG 4 関連疾患を説明できる。 1 BC① 唾液腺腫瘍を分類できる。 1 BC② 唾液腺の腫瘍の成り立ちを説明できる。 1 BC③ 主な唾液腺腫瘍の病理組織像を説明できる。 1 BC④ 主な唾液腺腫瘍の疫学を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-4-2) ⑥ C-5-5) ①～④ C-5-6) ①②④～⑥ E-2-4)-(8)①～④ 必7-ア-d～g 必7-イ-j,m,n 必8-イ-k 総Ⅲ-1-オ-a～d 総Ⅲ-1-カ-a～c 総Ⅲ-1-キ-a～c 総Ⅲ-1-ク-a～e,g 総Ⅲ-2-ア-f 総Ⅳ-2-キ 総Ⅳ-2-ケ 各Ⅲ-3-ア-d,e,g～j,l

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
病理 9	松本直行	1 歯原性腫瘍	1 A 良性上皮性歯原性腫瘍	1 Aa エナメル上皮腫 1 Ab 石灰化上皮性歯原性腫瘍 1 Ac 腺腫様歯原性腫瘍	1 ① 歯原性腫瘍の発生を説明できる。 1 ② 歯原性腫瘍を分類できる。 1 ③ 歯原性腫瘍の特徴的な組織像を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-5-6)①②④~⑥ E-2-4)-(6) ①② 必7-ア-g 必7-イ-j 総Ⅲ-1-ク-a~e.g 総Ⅲ-2-ア-e 総Ⅳ-2-オ 各1-3-ア-a 各Ⅲ-1-オ-a 各Ⅲ-2-カ-a,b
1 B 良性上皮間葉混合性歯原性腫瘍	1 Ba 歯牙腫 1 Bb エナメル上皮線維腫	1 ① 顎骨骨髄炎の成立機序を説明できる。	1 B ① 顎骨および軟組織に発生する腫瘍の特徴を説明できる。	1 B ② 顎骨および軟組織に発生する腫瘍の病理組織像を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-5-5)①~④ C-5-6)①②④~⑥ E-2-4)-(6)①~④ E-2-4)-(7)①② E-6 ① F-1-1) ⑦ 必7-ア-d,g,j 必7-イ-j,k,o 必8-イ-g,h 必8-エ-a 総Ⅲ-1-オ-a~d 総Ⅲ-1-カ-a~c 総Ⅲ-1-ク-a~e.g 総Ⅲ-1-コ-b 総Ⅲ-1-サ-a,b 総Ⅲ-2-ア-d,e,g 総Ⅳ-2-オ 総Ⅳ-2-カ 総Ⅳ-2-キ 総Ⅳ-2-ク 各1-3-エ-c 各Ⅲ-1-オ-b 各Ⅲ-1-ク-p 各Ⅲ-2-ア-c 各Ⅲ-2-エ-a~c,f 各Ⅲ-2-カ-c~f 各Ⅲ-4-ア-g 各Ⅲ-4-ア-l 各Ⅲ-4-ア-n	
1 C 良性間葉性歯原性腫瘍	1 Ca 歯原性線維腫 1 Cb 歯原性粘液腫 1 Cc セメント芽細胞腫 1 Cd セメント質骨形成線維腫	1 B ② 顎骨および軟組織に発生する腫瘍の特徴を説明できる。	1 B ② 顎骨および軟組織に発生する腫瘍の病理組織像を説明できる。	1 B ② 顎骨および軟組織に発生する腫瘍の病理組織像を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-5-5)①~④ C-5-6)①②④~⑥ E-2-4)-(6)①~④ E-2-4)-(7)①② E-6 ① F-1-1) ⑦ 必7-ア-d,g,j 必7-イ-j,k,o 必8-イ-g,h 必8-エ-a 総Ⅲ-1-オ-a~d 総Ⅲ-1-カ-a~c 総Ⅲ-1-ク-a~e.g 総Ⅲ-1-コ-b 総Ⅲ-1-サ-a,b 総Ⅲ-2-ア-d,e,g 総Ⅳ-2-オ 総Ⅳ-2-カ 総Ⅳ-2-キ 総Ⅳ-2-ク 各1-3-エ-c 各Ⅲ-1-オ-b 各Ⅲ-1-ク-p 各Ⅲ-2-ア-c 各Ⅲ-2-エ-a~c,f 各Ⅲ-2-カ-c~f 各Ⅲ-4-ア-g 各Ⅲ-4-ア-l 各Ⅲ-4-ア-n	
病理 10	松本直行	1 顎骨／顎関節疾患	1 A 顎骨の炎症	1 Aa 急性化膿性骨髄炎 1 Ab 慢性化膿性骨髄炎 1 Ac 慢性硬化性骨髄炎 1 Ad 骨吸収抑制薬関連顎骨壊死	1 A ① 顎骨骨髄炎の成立機序を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-5-5)①~④ C-5-6)①②④~⑥ E-2-4)-(6)①~④ E-2-4)-(7)①② E-6 ① F-1-1) ⑦ 必7-ア-d,g,j 必7-イ-j,k,o 必8-イ-g,h 必8-エ-a 総Ⅲ-1-オ-a~d 総Ⅲ-1-カ-a~c 総Ⅲ-1-ク-a~e.g 総Ⅲ-1-コ-b 総Ⅲ-1-サ-a,b 総Ⅲ-2-ア-d,e,g 総Ⅳ-2-オ 総Ⅳ-2-カ 総Ⅳ-2-キ 総Ⅳ-2-ク 各1-3-エ-c 各Ⅲ-1-オ-b 各Ⅲ-1-ク-p 各Ⅲ-2-ア-c 各Ⅲ-2-エ-a~c,f 各Ⅲ-2-カ-c~f 各Ⅲ-4-ア-g 各Ⅲ-4-ア-l 各Ⅲ-4-ア-n
1 B 顎骨の腫瘍および腫瘍類似疾患	1 Ba 外骨症（口蓋隆起、下顎隆起） 1 Bb 骨腫（Gardner症候群を含む） 1 Bc 線維性異形成症（McCune-Albright症候群を含む） 1 Bd 軟骨腫（滑膜軟骨腫症を含む） 1 Be 骨形成線維腫 1 Bf 骨肉腫 1 Bg 骨髄腫	1 B ① 外骨症（口蓋隆起、下顎隆起）を説明できる。	1 B ① 外骨症（口蓋隆起、下顎隆起）を説明できる。	1 B ② 顎骨および軟組織に発生する腫瘍の特徴を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-5-5)①~④ C-5-6)①②④~⑥ E-2-4)-(6)①~④ E-2-4)-(7)①② E-6 ① F-1-1) ⑦ 必7-ア-d,g,j 必7-イ-j,k,o 必8-イ-g,h 必8-エ-a 総Ⅲ-1-オ-a~d 総Ⅲ-1-カ-a~c 総Ⅲ-1-ク-a~e.g 総Ⅲ-1-コ-b 総Ⅲ-1-サ-a,b 総Ⅲ-2-ア-d,e,g 総Ⅳ-2-オ 総Ⅳ-2-カ 総Ⅳ-2-キ 総Ⅳ-2-ク 各1-3-エ-c 各Ⅲ-1-オ-b 各Ⅲ-1-ク-p 各Ⅲ-2-ア-c 各Ⅲ-2-エ-a~c,f 各Ⅲ-2-カ-c~f 各Ⅲ-4-ア-g 各Ⅲ-4-ア-l 各Ⅲ-4-ア-n	
2 軟組織疾患	2 A 軟組織の腫瘍および腫瘍類似疾患	2 Aa 脂肪腫 2 Ab 血管腫（Sturge-Weber症候群を含む） 2 Ac リンパ管腫 2 Ad 神経線維腫（I型神経線維腫症・von Recklinghausen病を含む） 2 Ae 神経鞘腫	2 A ① 軟組織の腫瘍の特徴を説明できる。	2 A ① 軟組織の腫瘍の特徴を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-5-5)①~④ C-5-6)①②④~⑥ E-2-4)-(6)①~④ E-2-4)-(7)①② E-6 ① F-1-1) ⑦ 必7-ア-d,g,j 必7-イ-j,k,o 必8-イ-g,h 必8-エ-a 総Ⅲ-1-オ-a~d 総Ⅲ-1-カ-a~c 総Ⅲ-1-ク-a~e.g 総Ⅲ-1-コ-b 総Ⅲ-1-サ-a,b 総Ⅲ-2-ア-d,e,g 総Ⅳ-2-オ 総Ⅳ-2-カ 総Ⅳ-2-キ 総Ⅳ-2-ク 各1-3-エ-c 各Ⅲ-1-オ-b 各Ⅲ-1-ク-p 各Ⅲ-2-ア-c 各Ⅲ-2-エ-a~c,f 各Ⅲ-2-カ-c~f 各Ⅲ-4-ア-g 各Ⅲ-4-ア-l 各Ⅲ-4-ア-n	

指導教員：松本直行、尾曲大輔

参考書：「新口腔病理学」 下野正基・高田隆・田沼順一・豊澤悟 編著 医歯薬出版；第2版 2018年
ISBN：978-4-263-45815-0

総合歯科医学Ⅵ (薬理学)

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
薬理 1	二藤 彰	1. 薬理学総論	1 A. 薬物療法の目的 1 B. 薬物適用と特徴	1 Aa 病因療法 1 Ab 対症療法 1 Ac 補充療法 1 Ad 予防療法 1 Ba 経口適用 1 Bb 注射 1 Bc 動・静脈内適用 1 Bd 吸入 1 Be 舌下部適用 1 Bf 直腸内適用 1 Bg 局所適用	1 A①病因療法、対症療法、補充療法、予防療法とそれらの具体例を述べる。 1 B①薬物の適用方法の種類を説明する。 1 B②適用方法それぞれの長所ならびに短所を説明する。 C-6-1)-① 医薬品の分類を説明できる。 C-6-2)-① 薬理作用の基本形式と分類を説明できる。 C-6-3)-① 薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。	manabaにアップロードしたまとめプリントをダウンロードする。まとめプリントの予習と講義内容の確認を行う。 基本-12-コ-b 総論-VII-8-A-a 総論-VII-8-I-a
薬理 2	二藤 彰	1. 薬理学総論	1 C. 薬物動態と	1 Ca 吸収 1 Cb 分布 1 Cc 代謝 1 Cd 排泄	1 C①薬物の吸収に影響する因子を説明する。 1 C②薬物の分布に影響する因子を説明する。 1 C③薬物の代謝と排泄について説明する。 1 C④生物学的半減期、生体利用率の意味を説明する。 C-6-3)-② 薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)について、加齢、病態による違いや薬物の相互作用による変化を含め、説明できる。	manabaにアップロードしたまとめプリントをダウンロードする。まとめプリントの予習と講義内容の確認を行う。 基本-12-コ-b 総論-VII-8-A-c
薬理 3	二藤 彰	1. 薬理学総論	1 D. 薬効に影響を及ぼす身体的 1 E. 用量 1 F. 薬物の耐性、依存	1 Da. 小児、妊婦、高齢者への投薬、服薬指導 1 Ea. 有効量、治療量 1 Eb. 中毒量 1 Ec. 致死量 1 Ed. 50%有効量 1 Ee. 50%致死量 1 Fa. 耐性と依存 1 Fb. 依存性薬物	1 D①薬物の適用方法の種類を説明する。 1 E①薬物の用量と反応について説明する。 C-6-2)-③ 薬理作用を規定する要因(用量と反応、感受性)を説明できる。 C-6-2)-④ 薬物の連用の影響(耐性、蓄積及び薬物依存)を説明できる。 C-6-3)-② 薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)について、加齢、病態による違いや薬物の相互作用による変化を含め、説明できる。	manabaにアップロードしたまとめプリントをダウンロードする。まとめプリントの予習と講義内容の確認を行う。 基本-12-コ-c 総論-VII-8-A-a 総論-VII-8-A-b 総論-VII-8-A-c 総論-VII-8-I-b 総論-VII-8-I-c 総論-VII-8-I-e
薬理 4	二藤 彰	1. 薬理学総論	1 G. 薬事法規 1 H. 処方、処方箋、治験 1 I. 薬物の種類と管理	1 Ga. 医薬品医療機器等法 1 Gb. 日本薬局方 1 Ha. 処方箋 1 Ia. 劇薬、毒薬、麻薬、覚醒剤の標示と保管 1 Ib. 治験 1 Ic. 薬効の評価	1 F①医薬品医療機器等法と日本薬局方について説明する。 1 G①処方、処方箋について説明する。 1 H①薬物の種類と保管について説明する。 1 H②治験について説明する。 B-2-1)-④ 薬事衛生法規を概説できる。 C-6-1)-① 医薬品の分類を説明できる。 C-6-1)-② 毒薬、劇薬及び麻薬等の表示と保管を説明できる。 C-6-1)-③ 日本薬局方を説明できる。	manabaにアップロードしたまとめプリントをダウンロードする。まとめプリントの予習と講義内容の確認を行う。 基本-02-I-d 基本-02-U-b 基本-02-O-g 基本-02-K-a 基本-02-K-a 基本-02-C-a 総論-I-1-U-e

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
薬理 5	出野 尚	1. 薬理学総論	1 J. 薬理作用の機序	1 Ja. 受容体を介する作用	1 J①薬物の作用機序について説明する。 C-6-2)-② 薬物作用とその作用機序を説明できる。 C-6-2)-③ 薬理作用を規定する要因（用量と反応、感受性）を説明できる。 C-6-2)-⑤ 薬物の併用（協合作用、拮抗作用、相互作用）を説明できる。	manabaにアップロードしたまとめプリントをダウンロードする。まとめプリントの予習と講義内容の確認を行う。 基本-12-コ-a 基本-12-コ-b 基本-12-コ-c 総論-VI-8-イ-e
薬理 6	出野 尚	1. 薬理学総論	1 J. 薬理作用の機序	1 Jb. 受容体を介さない作用	1 J①薬物の作用機序について説明する。 C-6-2)-② 薬物作用とその作用機序を説明できる。 C-6-2)-⑤ 薬物の併用（協合作用、拮抗作用、相互作用）を説明できる。	manabaにアップロードしたまとめプリントをダウンロードする。まとめプリントの予習と講義内容の確認を行う。 基本-12-コ-a 基本-12-コ-b 基本-12-コ-c 総論-VI-8-イ-e
薬理 7	中島和久	2. 抗感染症薬	2 A. 抗菌薬 2 B. 抗真菌薬 2 C. 抗ウイルス薬 2 D. 消毒薬		2 A①主な抗菌薬と抗真菌薬を列挙し、作用機序、薬理作用を説明する。 2 C①主な抗ウイルス薬を列挙し、作用機序、薬理作用を説明する。 2 D①主な消毒薬を列挙し、作用機序、薬理作用を説明する。 C-4-1)-③ 感染症の種類、予防、診断及び治療を説明できる。 C-4-1)-④ 滅菌と消毒の意義、種類及び原理を説明できる。 C-4-1)-⑤ 化学療法の目的と原理及び化学療法薬の作用機序並びに薬剤耐性機序を説明できる。 C-6-2)-② 薬物作用とその作用機序を説明できる。 C-6-2)-③ 薬理作用を規定する要因（用量と反応、感受性）を説明できる。 C-6-2)-⑤ 薬物の併用（協合作用、拮抗作用、相互作用）を説明できる。 C-6-4)-① 薬物の一般的副作用と有害事象を説明できる。 C-6-4)-② 薬剤耐性 (antimicrobial resistance <AMR>) に配慮した適切な抗菌薬使用を説明できる。	manabaにアップロードしたまとめプリントをダウンロードする。まとめプリントの予習と講義内容の確認を行う。 基本-12-コ-a 総論-VI-8-ウ-c
薬理 8	中島和久	3. 抗炎症薬	3 A. 抗炎症薬	3 Aa. 非ステロイド性抗炎症薬 3 Ab. ステロイド性抗炎症薬 3 Ac. 解熱鎮痛薬	3 A①主なNSAIDを列挙し、作用機序、薬理作用を説明する。 3 A②ステロイド性抗炎症薬の作用機序、薬理作用を説明する。 3 A③解熱鎮痛薬の作用機序、薬理作用を説明する。 3 A④副作用を説明する。 C-6-2)-② 薬物作用とその作用機序を説明できる。 C-6-2)-⑤ 薬物の併用（協合作用、拮抗作用、相互作用）を説明できる。 C-6-4)-① 薬物の一般的副作用と有害事象を説明できる。	manabaにアップロードしたまとめプリントをダウンロードする。まとめプリントの予習と講義内容の確認を行う。 基本-12-コ-a 総論-VI-8-ウ-a 総論-VI-8-ウ-b

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
薬理 9	中島和久	4. 抗腫瘍薬 5. 代謝改善薬 6. 止血薬と抗血栓薬	4 A. 抗腫瘍薬 5 A. 抗腫瘍薬 6 A. 止血薬 6 B. 抗血栓薬	4 Aa アルキル化薬 4 Ab 代謝拮抗薬 4 Ac 抗がん抗生物質 4 Ad 植物アルカロイド 5 Aa. 骨吸収阻害薬 6 Aa 血液凝固機構 6 Ab 全身性止血薬 6 Ac 局所性止血薬 6 Ba 抗凝血薬 6 Bb 抗血小板薬 6 Bc 血栓溶解薬	4 A①抗腫瘍薬の作用機序を説明する。 4 A②耐性獲得の機序を説明する。 4 A③副作用を説明する。 5 A①骨吸収阻害薬の作用を説明する。 6 A①止血薬の作用機序を説明する。 6 B①抗血栓薬の作用機序を説明する。 C-6-2)-② 薬物作用とその作用機序を説明できる。 C-6-2)-⑤ 薬物の併用（協合作用、拮抗作用、相互作用）を説明できる。 C-6-3)-① 薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。 C-6-4)-① 薬物の一般的副作用と有害事象を説明できる。	manabaにアップロードしたまとめプリントをダウンロードする。まとめプリントの予習と講義内容の確認を行う。 基本-12-コ-a 総論-VII-8-ウ-d 総論-VII-8-ウ-f
薬理 10	中島和久	7. 治療薬の副作用と有害作用		7 A. 副作用、毒性の種類 7 B. 副作用への対策	7 A①副作用を説明する。 7 B①副作用への対策を説明する。 C-6-2)-② 薬物作用とその作用機序を説明できる。 C-6-2)-④ 薬物の連用の影響（耐性、蓄積及び薬物依存）を説明できる。 C-6-2)-⑤ 薬物の併用（協合作用、拮抗作用、相互作用）を説明できる。 C-6-4)-① 薬物の一般的副作用と有害事象を説明できる。	manabaにアップロードしたまとめプリントをダウンロードする。まとめプリントの予習と講義内容の確認を行う。 基本-08-エ-a 基本-12-コ-c 総論-VII-8-イ-d
薬理 11	二藤 彰 中島和久 出野 尚	模擬試験・マンスリー試験の解説と弱点補強			模擬試験・マンスリー試験の解答を分析して解説と弱点補強を行う。	
薬理 12	二藤 彰 中島和久 出野 尚	模擬試験・マンスリー試験の解説と弱点補強			模擬試験・マンスリー試験の解答を分析して解説と弱点補強を行う。	
薬理 13	二藤 彰 中島和久 出野 尚	模擬試験・マンスリー試験の解説と弱点補強			模擬試験・マンスリー試験の解答を分析して解説と弱点補強を行う。	

指導教員：二藤 彰、中島和久、出野 尚

参考書：解る! 歯科薬理学 (第3版)、学建書院株式会社
ISBN：978-4762426643
現代歯科薬理学 第6版、医歯薬出版株式会社
ISBN：978-4-263-45811-2

総合歯科医学Ⅵ（歯科理工学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
理工1	野本理恵	生体材料の科学	材料の素材 材料の物性 A. 物理的性質 B. 機械的性質 C. 化学的性質 D. 生物学的性質と生体安全性	有機材料、高分子材料、無機材料、セラミック材料、金属材料、複合材料 密度、熱膨張係数、熱伝導率、比熱 応力、ひずみ、弾性係数、強さ、耐力、降伏点、レジリエンス、靱性、展延性、硬さ、耐摩耗性、疲労、衝撃強さ、クリーブ 吸水、溶解、腐食 生体親和性、毒性、アレルギー	①有機材料、無機材料、高分子材料、セラミック材料、金属材料、複合材料の特徴を説明する。 ②応力-ひずみ線図を説明する。	予習：配付済み理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 D-1-② 必12セa 総Ⅷ1
理工2	野本理恵	印象材	非弾性印象材 弾性印象材 A. ハイドロコロイド印象材 B. 合成ゴム系印象材 印象材の性質	石膏、インプレッションコンパウンド、ワックス、酸化亜鉛ユージノール印象材 寒天印象材、アルジネート印象材 付加型シリコーンゴム印象材、縮合型シリコーンゴム印象材、ポリサルファイドゴム印象材、ポリエーテルゴム印象材 細部再現性、弾性ひずみと永久ひずみ、応力緩和	①各種印象材の組成、硬化機構および特徴を説明する。 ②弾性ひずみと永久ひずみについて説明する。 ③寸法安定性について説明する。	予習：配付済み理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 E-3-4)-(1)-⑤、 E-3-4)-(2)-⑥ 必12セc 総Ⅷ3（オ除く）
理工3	野本理恵	合着・接着・仮着材 シーラント 根管充填材	セメント 接着性レジンセメント セメントの性質 グラスアイオノマー系シーラント レジン系シーラント 固形根管充填材 根管セメント	リン酸亜鉛セメント、ポリカルボキシレートセメント、グラスアイオノマーセメント、酸化亜鉛ユージノールセメント、EBAセメント 粉液比、稠度、硬化時間、機械的性質、被膜厚さ ガッタパーチャポイント 酸化亜鉛ユージノールセメント	①各種セメントの組成と硬化反応を説明する。 ②各種セメントの特徴を説明する。 ③セメントの粉液比と硬化時間・機械的性質・被膜厚さとの関係を説明する。 ④各種シーラントの組成、硬化反応および特徴を説明できる。 ⑤根管充填材の種類、組成および特徴を説明できる。	予習：配付済み理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 D-2-①、D-2-③ 必12セe.h 総Ⅷ5イウ、総Ⅷ9

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
理工4	野本理恵	セラミック	陶材 ニューセラミックス セラミックスの成形技術・機器	長石質陶材、アルミナ陶材、金属焼付用陶材 リユースイト、アルミナ、ジルコニア 築盛、コンデンス、焼成 CAD/CAM、鋳造、射出成形	①広義と狭義のセラミックスを説明する。 ②陶材の組成と特徴を説明する。 ③ニューセラミックスの特徴を説明する。 ④セラミックスの成形方法を説明する。	予習：配付済み理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 D-2-② 必12セf 総Ⅷ6イ、総Ⅷ7イエ
理工5	野本理恵	義歯用材料	義歯床用レジン 義歯裏装材 レジンの成形技術・機器	加熱重合型アクリルレジン、常温重合型アクリルレジン、射出成形レジン アクリル系、シリコーンゴム系、ポリオレフィン系 粉液比、餅状化時間、機械的性質	①義歯床用レジンと関連材料を理解する。 ②各種義歯床用レジンの組成を説明する。 ③各種義歯床用レジンの重合方法と硬化反応を説明する。 ④餅状化に影響する因子を説明する。 ⑤義歯裏装材の組成と特徴を説明する。	予習：配付済み理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 D-2-②、 E-3-4)-(2)-⑩ 必12セf,g 総Ⅷ6アオカ、総Ⅷ7ア(c除く)
理工6	野本理恵	成形修復材料 歯冠修復材料	コンポジットレジン A.硬化反応による分類 B.フィラーによる分類	化学重合型、光重合型、デュアルキュア型 MFR型 ハイブリッド型	①各種コンポジットレジンの組成、硬化反応の違いとそれらの特徴を説明する。 ②フィラーの役割を説明する。	予習：配付済み理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 D-2-①、D-2-②、 E-3-3)-(1)-③ 必12セe,f 総Ⅷ5アイ、総Ⅷ6エキ、総Ⅷ7アc
理工7	野本理恵	歯科接着技術・機器1	A.歯質被着面処理	エッチング、プライミング、ボンディング	①歯質接着システムの構成要素と役割が説明する。 ②化学的接着と機械的嵌合効力の違いを説明する。 ③被着体と接着前処理について説明する。	予習：配付済み理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 D-2-③、 E-3-3)-(1)-③ 必12セh 総Ⅷ8アイ

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
理工 8	野本理恵	歯科接着技術・機器 2	B. セラミックス被着面処理 C. 金属接着面処理	シランカップリング剤 メタルプライマー	①化学的接着と機械的嵌合効力の違いを説明する。 ②被着体と接着前処理について説明する。	予習：配付済み理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 D-2-③、 E-3-3)-(1)-⑪ 必12セh 総Ⅷ8アウ
理工 9	野本理恵	金属材料 熱処理	金合金 銀合金 非貴金属	ISO規格金合金 カラット別金合金 白金加金 陶材焼付用金合金 金銀パラジウム合金 低融銀合金 CoCr合金 NiCr合金 Ti・Ti合金 軟化熱処理、硬化熱処理 焼きなまし	①ISO規格の金合金について説明する。 ②陶材焼付用金合金について説明する。 ③金合金の添加元素について説明する。 ④金銀パラジウム合金について説明する。 ⑤銀合金の添加元素について説明する。 ⑥各種非貴金属について説明する。	予習：配付済み理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 D-2-②、D-2-④、 E-3-4)-(1)-⑥ 必12セf 総Ⅷ6ウ、総Ⅷ7ウg、 総Ⅷ10ア
理工 10	野本理恵	模型材 埋没材	模型用石膏 レジン系模型材 石膏系埋没材 高温用埋没材 埋没材の使用法と性質	普通石膏、硬質石膏、 超硬質石膏 エポキシレジン クリストバライト埋没材、石英埋没材 リン酸塩系埋没材、 シリカゾル系埋没材、 チタン専用埋没材 混水比、硬化時間、 硬化膨張、加熱膨張、 機械的性質	①各種模型材の組成と性質の違いを説明する。 ②石膏の硬化および硬化膨張の機構を説明する。 ③石膏の硬化時間、硬化膨張に影響する因子を説明する。 ④各種埋没材の組成と特徴を説明する。 ⑤各種埋没材を使用する金属を説明する。 ⑥埋没材の吸水膨張、加熱膨張を説明する。	予習：配付済み理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 E-3-4)-(1)-⑧ 必12セd 総Ⅷ4ア、総Ⅷ7ウb
理工 11	野本理恵	金属の接合 ワックス	ろう付け 鋳接 溶接 ワックス	ろう、母材、フラックス、アンチフラックス パラフィンワックス インレーワックス、 シートワックス レディーキャステイングワックス スティッキーワックス ユーティリティーワックス	①ろう付け、鋳接、溶接の違いを説明する。 ②ろう、母材、フラックス、アンチフラックスについて説明する。 ③ワックスの種類、組成および特徴を説明する。 ④ワックスパターンの変形について説明する。	予習：配付済み理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 E-3-4)-(1)-⑧ 必12セd 総Ⅷ4イ、総Ⅷ7ウde

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
理工 12	野本理恵	鋳造	鋳造工程 鋳造精度と適合性 鋳造欠陥		①精密鋳造の工程を説明する。 ②鋳造精度と適合性を説明する。 ③鋳造欠陥の原因と対処方法を説明する。	予習：配付済み理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 E-3-4)-(1)-⑥ 必12セg 総Ⅷ7ウ
理工 13	野本理恵	切削、研削、研磨	切削器械 切削工具 研磨材 レーザー	エアータービン、エアーマーター、マイクロモーター、ポイント、ディスク、バー	①切削、研削、研磨について、違いを説明する。 ②レーザーの特質について説明する。 ③レーザーの種類、用途について説明する。	予習：配付済み理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 D-1-①、D-1-③、 E-3-4)-(1)-⑥ 必12セb 総Ⅷ2（Aa除く）

指導教員：野本理恵

参考書：スタンダード歯科理工学（第7版） 学建書院
ISBN：978-4-7624-5614-5

総合歯科医学Ⅵ（保存修復学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
修復 1	齋藤 渉	1. 歯の硬組織疾患の治療	1 A. 保存修復学概論	1 Aa. 歯の構造 1 Ab. 検査・診断	1 Aa①エナメル質の構造を説明できる。 1 Aa②象牙質・歯髄複合体の構造を説明できる。 1 Ab①歯の硬組織疾患の検査法と診断を説明できる。	「第五版 保存修復学21」第1章を読み、講義に備えること。 授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-3-1)④、E-3-3)-(1)①② 必7Ⅰa、必9Ⅰa、必10オa、総Ⅵ1Ⅰa
修復 2	齋藤 渉	1. 歯の硬組織疾患の治療	1 B. 齲蝕・齲蝕以外の硬組織疾患	1 Ba. 歯の硬組織疾患の特徴と病因	1 Ba①齲蝕の病因と病態を説明できる。 1 Ba②齲蝕以外の硬組織疾患の病因と病態を説明できる。	「第五版 保存修復学21」第2～3章を読み、講義に備えること。授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-3-2)①、E-3-3)-(1)① 必8Ⅰb、総Ⅲ2Ⅱb、総Ⅳ2Ⅱa、各Ⅱ1Ⅰa～f
修復 3	齋藤 渉	1. 歯の硬組織疾患の治療	1 C. 診療設備・器材	1 Ca. 回転切削器械 1 Cb. 回転切削器具 1 Cc. 手用切削器具 1 Cd. レーザー	1 Ca①回転切削器械について説明できる。 1 Cb①回転切削器具について説明できる。 1 Cc①手用切削器具について説明できる。 1 Cd①レーザーについて説明できる。	「第五版 保存修復学21」第5章を読み、講義に備えること。授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 D-1①③、必12セb、総Ⅶ2Ⅱa、総Ⅷ2Ⅱa～d、総Ⅷ2Ⅱイ
修復 4	齋藤 渉	1. 歯の硬組織疾患の治療	1 D. 修復方法 1 E. 歯髄損傷・歯髄保護	1 Da. 修復法の種類 1 Db. 修復の前準備 1 Ea. 歯髄刺激 1 Eb. 歯髄保護 1 Ec. 覆髄と裏層 1 Ed. 仮封	1 Da①歯冠修復の意義、種類を説明できる。 1 Da②直接修復と間接修復について説明できる。 1 Da③接着性修復と非接着性修復について述べる。 1 Db①修復に必要な前処置の意義について説明できる。 1 Ea①歯髄障害について説明できる。 1 Eb①歯髄保護について説明できる。 1 Ec①覆髄と裏層について説明できる。 1 Ed①仮封について説明できる。	「第五版 保存修復学21」第7章、第4章を読み、講義に備えること。授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 D-1①～③、D-2①② E-3-3)-(1)②③④⑤⑦ 必12ケb、必12セe、必12セf、必12セh、総Ⅶ2Ⅱa、総Ⅶ9Ⅱa～d、総Ⅷ9Ⅱイ、各Ⅱ1Ⅰウe

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
修復 5	齋藤 涉	1. 歯の硬組織疾患の治療	1F. 歯の硬組織疾患の直接修復法	1 Fa. コンポジットレジン ^① の材料学 1 Fb. コンポジットレジン修復の特徴と適応症	1 Fa① コンポジットレジン ^① の組成を説明できる。 1 Fb① ミニマルインターベンションを説明できる。 1 Fb② コンポジットレジン修復の特徴と適応症を説明できる。	「第五版 保存修復学21」第8章を読み、講義に備えること。授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 D-1①②、D-2① E-3-3)-(1)①~④⑥⑧ 必12ケb、必12セe、必12セh、総VII2アa、総VII5アa、総VIII8イab、各II1ウb、各II1ウd
修復 6	齋藤 涉	1. 歯の硬組織疾患の治療	1F. 歯の硬組織疾患の直接修復法	1 Fc. コンポジットレジン ^① の接着理論 1 Fd. コンポジットレジン修復の手順 1 Fe. 補修修復	1 Fc① コンポジットレジン ^① の接着メカニズムを説明できる。 1 Fd① コンポジットレジン修復の手順を説明できる。 1 Fe① 補修修復について説明できる。	「第五版 保存修復学21」第8章、第17章を読み、講義に備えること。授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 D-1①②、D-2① E-3-3)-(1)①~④⑥⑧ 必12ケb、必12セe、必12セh、総VII2アa、総VII5アa、総VIII8イab、総VIII8ウab、各II1ウb、各II1ウd、各II1ウf
修復 7	齋藤 涉	1. 歯の硬組織疾患の治療	1 G. 窩洞 1 H. 間接修復法	1 Ga. 窩洞の名称と分類 1 Gb. 窩洞の条件 1 Ha. メタルインレー修復	1 Ga① 窩洞の構成、名称、分類を説明できる。 1 Gb① 窩洞形成法を説明できる。 1 Ha① メタルインレー修復の手順を説明できる。	「第五版 保存修復学21」第6章、第13章を読み、講義に備えること。授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 D-1①②、D-2②③ E-3-3)-(1)①③⑥⑦ 必12ケb、必12セf、総VII2アa、総VIII6ウab、各II1ウc、各II1ウd
修復 8	齋藤 涉	1. 歯の硬組織疾患の治療	1 H. 間接修復法	1 Hb. コンポジットレジンインレー修復 1 Hc. セラミックインレー修復 1 Hd. 合着・接着	1 Hb① コンポジットレジンインレー修復の手順を説明できる。 1 Hc① セラミックインレー修復の手順を説明できる。 1 Hd① 合着用、接着用セメントについて説明できる。 1 Hd② 各種セメントの素性・用法・注意点について説明できる。	「第五版 保存修復学21」第11～12章、第14章を読み、講義に備えること。授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 D-1①②、D-2②③ E-3-3)-(1)①③⑥~⑧ 必12ケb、必12セf、総VII2アa、総VIII6イb、総VIII6エa、総VIII9アa～d、各II1ウc、各II1ウd、各II1ウe
修復 9	齋藤 涉	1. 歯の硬組織疾患の治療	1F. 歯の硬組織疾患の直接修復法	1 Ff. グラスアイオノマーセメントの基礎と特徴 1 Fg. グラスアイオノマーセメント修復の臨床手順	1 Ff① グラスアイオノマーセメントの組成について述べる。 1 Ff② グラスアイオノマーセメント修復の材料学的特徴を述べる。 1 Fg① グラスアイオノマーセメント修復の手順について述べる。	「第五版 保存修復学21」第9章を読み、講義に備えること。授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 D-1①②、D-2① E-3-3)-(1)①③⑥ 必12ケb、必12セe、必12セh、総VII2アa、総VII5アb、各II1ウb、各II1ウd

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
修復 10	齋藤 涉	1. 歯の硬組織疾患の治療	1I. 歯の漂白 1J. ベニア修復	1Ia. 変色歯の漂白の特徴・臨床手順 1Ja. ベニア修復の特徴・臨床手順	1Ia① 変色歯・着色歯の症状、診断および処置について述べる。 1Ia② 無髄歯の漂白の特徴・手順について述べる。 1Ia③ 有髄歯の漂白の特徴・手順について述べる。 1Ja① ベニア修復の特徴・手順について述べる。	「第五版 保存修復学21」第15～16章を読み、講義に備えること。授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 D-1①②、D-2①～③ E-3-2)①、E-3-3)-(1)①③⑥⑧ 必12ケb、必12セf、必12セh、総Ⅲ2アb、総Ⅳ2ア、総Ⅶ2アa、各Ⅱ1アe、各Ⅱ1ウc、各Ⅱ1ウd、各Ⅱ1ウg
修復 11	齋藤 涉	1. 歯の硬組織疾患の治療	1A. 保存修復学概論 1B. 齶蝕、齶蝕以外の硬組織疾患 1C. 診療設備・器材 1D. 修復方法 1E. 歯髄損傷・歯髄保護	1Aa. 歯の構造 1Ab. 検査・診断 1Ba. 歯の硬組織疾患の特徴と病因 1Ca. 回転切削器械 1Cb. 回転切削器具 1Cc. 手用切削器具 1Cd. レーザー 1Da. 修復法の種類 1Db. 修復の前準備 1Ea. 歯髄刺激 1Eb. 歯髄保護 1Ec. 覆髄と裏層 1Ed. 仮封	第1～4回講義の復習。	第1～4回講義についてあらかじめ自己で復習してから本講義に臨むこと。講義後は、理解が不十分であった範囲を再度、復習すること。
修復 12	齋藤 涉	1. 歯の硬組織疾患の治療	1F. 歯の硬組織疾患の直接修復法	1Fa. コンポジットレジン材料学 1Fb. コンポジットレジン修復の特徴と適応症 1Fc. コンポジットレジンの接着理論 1Fd. コンポジットレジン修復の手順 1Fe. 補修修復 1Ff. グラスアイオノマーセメントの基礎と特徴 1Fg. グラスアイオノマーセメント修復の臨床手順	第5、6、9回講義の復習。	第5、6、9回講義についてあらかじめ自己で復習してから本講義に臨むこと。講義後は、理解が不十分であった範囲を再度、復習すること。
修復 13	齋藤 涉	1. 歯の硬組織疾患の治療	1G. 窩洞 1H. 間接修復法 1I. 歯の漂白 1J. ベニア修復	1Ga. 窩洞の名称と分類 1Gb. 窩洞の条件 1Ha. メタルインレー修復 1Hb. コンポジットレジンインレー修復 1Hc. セラミックインレー修復 1Hd. 合着・接着 1Ia. 変色歯の漂白の特徴・臨床手順 1Ja. ベニア修復の特徴・臨床手順	第7、8、10回講義の復習。	第7、8、10回講義についてあらかじめ自己で復習してから本講義に臨むこと。講義後は、理解が不十分であった範囲を再度、復習すること。

指導教員：齋藤 涉

参考書：「第五版 保存修復学21」 田上順次、奈良陽一郎、山本一世、齋藤隆史 監修 永末書店 2017年
ISBN：978-4-8160-1321-8

総合歯科医学Ⅵ (歯周病学)

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
歯周1	白川 哲	歯周病の病因	1. 病因関連因子 2. 宿主因子 3. 環境関連因子	1. 歯周病原菌 2 a. 局所性修飾因子 2 b. 全身性修飾因子 3 a. 喫煙 3 b. 常用薬物	1 ①. 歯周病原菌を列挙しその特徴を説明できる。 2 a①. 局所性修飾因子を列挙し説明できる。 2 a②. 外傷性修飾因子を列挙し説明できる。 2 b①. 全身疾患と歯周病との関係を説明できる。 3 a①. 喫煙が歯周病に与える影響について説明できる。 3 b①. 薬物性歯肉増殖症について説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること。授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。 E-3-2) ③ E-3-3)-(3) ① 必7イc 必8イd 必8ウc,d,h 必9キc 総Ⅲ2アb 総Ⅳ2イ 総Ⅶ2アc 各Ⅰイc,j 各Ⅰイa 各Ⅱ3アb,d,f 各Ⅱ3ウe,b,j 各Ⅲ4アd 各Ⅲ4ケ
歯周2	白川 哲	歯周組織検査	1. 検査	1 a. 歯周ポケット検査 1 b. アタッチメントレベル 1 c. 歯の動揺度検査 1 d. 歯周病の画像検査 1 e. 付着歯肉幅の検査 1 f. 模型による検査	1 a①. 歯周ポケット検査を説明できる。 1 b①. アタッチメントレベル測定法を説明できる。 1 c①. 動揺度の検査を説明できる。 1 d①. 歯周病の画像検査を説明できる。 1 e①. 模型による検査を説明できる。 1 f①. 付着歯肉幅の必要性と検査法を説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること。授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。 E-3-2) ③ E-3-3)-(3) ①②③④ 必10オb 総Ⅵ1アc 各Ⅱ3アa 各Ⅱ3アc 各Ⅱ3イb,d 各Ⅱ3ウd,h
歯周3	白川 哲	歯周疾患の診断	1. 歯肉病変の診断 2. 歯周炎の分類 3. 壊死性歯周疾患 4. 歯周組織の膿瘍 5. 歯肉退縮 6. 咬合性外傷	1 a. ブラーク性歯肉炎 1 b. 非ブラーク性歯肉病変 1 c. 歯肉増殖症 2 a. 慢性歯周炎 2 b. 侵襲性歯周炎 2 c. 遺伝が関与する歯周炎 3 a. 壊死性潰瘍性歯肉炎・歯周炎 4 a. 歯周膿瘍 5 a. 歯肉退縮 6 a. 一次性咬合性外傷 6 b. 二次性咬合性外傷	1 a①. ブラーク性歯肉炎を説明できる。 1 a②. 全身因子関連歯肉炎を説明できる。 1 a③. 栄養障害関連歯肉炎を説明できる。 1 b①. 非ブラーク性歯肉病変を説明できる。 1 b②. ウイルス性疾患を説明できる。 1 b③. アレルギー歯肉病変を説明できる。 1 c①. 薬物性歯肉増殖症を説明できる。 1 c②. 歯肉線維腫症を説明できる。 2 a①. 慢性歯周炎を説明できる。 2 b①. 侵襲性歯周炎を説明できる。 2 c①. 遺伝が関与する歯周炎を列挙する。 3 a①. 壊死性潰瘍性歯肉炎・歯周炎を説明できる。 4 a①. 歯周膿瘍を説明できる。 4 a②. 歯内一歯周疾患を説明できる。 5 a①. 歯肉退縮を説明できる。 6 a①. 一次性咬合性外傷を説明できる。 6 b①. 二次性咬合性外傷を説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること。授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。 E-3-2) ③ E-3-3)-(3) ①②③ 必7イc 必8イd 必9キc 総Ⅲ2アb 総Ⅳ2イ 各Ⅱ3アa,b,c,d,e,g,h 各Ⅱ3ウa,d,j

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
歯周 4	白川 哲	歯周基本治療	1. ブラークコントロール 2. スケーリング・ルートプレーニング 3. 咬合調整 4. 暫間固定 5. 歯周薬物療法	1 a. 歯ブラシ法 2 a. スケーリング 2 b. ルートプレーニング 2 c. グレーシーキュレットの特徴 3 a. 咬合調整の各種法則 4. A-splint 4 b. レジン隣接面間固定 5 a. 局所薬物配送システム (LDDS)	1 a①. 各種歯ブラシ法を説明できる。 2 a①. スケーリングを説明できる。 2 b①. ルートプレーニングを説明できる。 2 c①. スケーラーの種類と特徴を説明できる。 3 a①. 咬合調整の各種法則を説明できる。 4 ①. 暫間固定の種類と目的を説明できる。 4 a①. A-splintについて説明できる。 4 b①. レジン隣接面間固定について説明できる。 5 a①. 局所薬物配送療法 (LDDS) を説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること。授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。 E-3-2) ④ E-3-3)-(3) ①-③ 必8イe 必10オb 必12ケd 総VII1アc 総VII2アc 各II3ウb,c,h
歯周 5・6	松島友二	歯周外科治療	1. 歯周外科処置の目的 2. 歯周ポケットを除去・減少させる手術	1 a. 歯周組織の治癒形態 1 b. 歯周外科処置の分類 2 a. 組織付着療法 2 b. 切除療法	1 a①. 上皮性付着の治癒形態を説明できる。 1 a②. 新付着の治癒形態を説明できる。 1 a③. 再生の治癒形態を説明できる。 1 b①. 歯周ポケットを除去・減少させる手術の目的を説明できる。 1 b②. 口腔環境を改善する手術を列挙できる。 1 b③. 歯周組織再生療法を列挙できる。 2 a①. 組織付着療法を列挙し、術式を説明できる。 2 b①. 切除療法を列挙し、術式を説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること。授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。 E-3-3)-(3) ④⑤ 必12ケd 総VII2アc 各II3ウd,e,f
歯周 7	松島友二	歯周外科治療	再生療法	1. 骨移植術 2. 組織再生誘導法 (GTR) 3. エナメルマトリックスタンパク質 4. b-FGF	1 ①. 骨移植術の適応と術式、材料について説明できる。 2 ①. GTR法の再生メカニズムを説明できる。 2 ②. GTR法の適応と術式を説明できる。 3 ①. エナメルマトリックスタンパク質の適応と術式を説明できる。 4 ①. b-FGFの適応と術式を説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること。授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。 E-3-3)-(3) ④⑤ 必12ケd 総VII2アc 各総VIII1e 各II3ウd, f
歯周 8	松島友二	歯周外科治療	1. 根分岐部病変の治療	1 a. ファルカプラー 1 b. ルートセパレーション 1 c. ヘミセクション 1 d. ルートリセクション 1 e. トンネリング	1 ①. 根分岐部病変の診査と分類について説明できる。 1 ②. 根分岐部病変に対する処置の目的を説明できる。 1 ③. 根分岐部病変の分類と処置法を説明できる。 1 a①. ファルカプラーを説明できる。 1 b①. ルートセパレーションを説明できる。 1 c①. ヘミセクションについて説明できる。 1 d①. ルートリセクションについて説明できる。 1 e①. トンネリングについて説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること。授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。 E-3-2) ③ E-3-3)-(3) ③④ 必12ケd 総VII2アc 各II3ウf

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
歯周 9	松島友二	歯周外科治療	歯周形成外科手術	1 a. 付着歯肉幅の獲得手術 1 b. 露出根面被覆術 2. 粘膜弁の種類	1 ①. 歯周形成外科手術の目的を説明できる。 1 ②. 歯周形成外科手術の分類を説明できる。 1 a①. 付着歯肉幅の獲得手術の種類と方法を説明できる。 1 b①. 露出根面被覆術の種類と方法を説明できる。 2 ①. 部分層弁と全部層弁を説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること。授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。E-3-3)-(3) ④⑤ 必12ケd 総VII 2アc 各II 3ウe
歯周 10	松島友二	1. 口腔機能回復治療 2. 患者管理 3. 高齢者 4. その他歯科用器具	1A. 歯周補綴前処置 2A. メンテナンス 2B. SPT 3A. 高齢者の歯周疾患 4A. レーザー	1Aa. バイオロジカルウィズ（生物学的幅径） 2Aa. 治癒の定義 2Ba. 病状安定の定義 3Aa. 高齢者の歯周組織の特徴 4Aa. レーザー機器の特徴・用途	1Aa①. バイオロジカルウィズの意義を説明できる。 1Aa②. バイオロジカルウィズを獲得する処置法を列挙し説明できる。 2Aa①. 歯周病の治癒の定義について説明できる。 2Aa②. メンテナンス項目について説明できる。 2Ba①. 病状安定を決める検査について説明できる。 2Bb②. SPTの項目について説明できる。 3Aa①. 高齢者の歯周組織の特徴と管理について説明できる。 4Aa①. 各種レーザー機器の特徴・用途について説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること。授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。E-3-1) ⑥ E-3-2) ③ E-3-3)-(3) ①③⑤ 必8イd 必12ケd 総II 5イb 総III 2アb 総IV 2イ 総V 2アc 総VII 2アc 総VII 9エ 各II 3アc 各II 3ウd.g.i 各II 3オ 各V 5ア
歯周 11	白川 哲 松島友二	問題演習	1. 歯周疾患の病因 2. 歯周疾患の分類 3. 歯周病の検査 4. 歯周基本治療 5. 歯周外科 6. 根分岐部病変の処置 7. 歯周補綴前処置 8. メンテナンス・SPT 9. 高齢者の歯周疾患 10. レーザー		1. 歯周疾患の病因に関する問題を解答できる 2. 歯周疾患の分類に関する問題を解答できる 3. 歯周病の検査に関する問題を解答できる 4. 歯周基本治療に関する問題を解答できる 5. 歯周外科に関する問題を解答できる 6. 根分岐部病変の処置に関する問題を解答できる 7. 歯周補綴前処置に関する問題を解答できる 8. メンテナンス・SPTに関する問題を解答できる 9. 高齢者の歯周疾患に関する問題を解答できる 10. レーザーに関する問題を解答できる	配布している講義資料を参照し予習すること。授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。
歯周 12	白川 哲 松島友二	補強講義	歯科医師国家試験出題委員から見る問題予想			配布している講義資料を参照し予習すること。授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。
歯周 13	白川 哲 松島友二	予想問題演習	歯科医師国家試験出題委員から見る予想問題演習		歯科医師国家試験出題委員から見る予想問題を解答できる	配布している講義資料を参照し予習すること。授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。

指導教員：白川 哲、松島友二

参考書：臨床歯周病学第3版、医歯薬出版社
ISBN：978-4-263-45844-0

総合歯科医学Ⅵ（歯内療法学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
歯内1	長谷川雅子	疾病の概念 歯と歯周組織の構造と機能	歯内治療の目的 歯の正常構造 形態の異常 形態的变化	歯の硬組織、 歯髄(象牙質・ 歯髄複合体)、 歯周組織の構 造と機能 歯根、歯髄腔 の形態(異常 と変化)老化 による歯髄の 退行変性を含 む	①歯内療法の目的と 意義を説明できる。 ②歯の硬組織疾患、 歯髄疾患、根尖性 歯周疾患の成り立 ちを説明できる。 ③正常な歯と歯周組 織の構造と機能を 説明できる。 ④歯、歯根、歯髄腔 の異常形態と好発 部位を説明できる。 ⑤老化による形態変 化、歯髄の退行変 性について説明で きる	予習：歯内疾患の概念と歯内治 療の目的を説明できる 復習：正常な歯・歯周組織の構 造と機能、歯の異常形態 と好発部位を列挙できる。 歯髄の退行変性を列挙で きる。 E-3-1) ①②③④⑤ E-3-2) ①②④ E-3-3)-(2) ① C-3-3) ② 必7アb、必7イa、b、必8イb、 必9キa、総Ⅱ5アa、総Ⅱ5 イa、総Ⅲ2アa、b、各Ⅰ2イ a,b,c,d,e,g,h
歯内2	長谷川雅子	診察の基本 歯の硬組織 疾患	歯・歯周組 織の診察、 検査 歯の硬組織 疾患の病因 と病態	硬組織・歯髄 ・根管、歯周 組織の検査 象牙質知覚過 敏症	①歯の検査法につい て説明できる。 ②象牙質知覚過敏症 の病因、病態、診 断、治療法を説明 できる。	予習：歯の検査法、象牙質知覚 過敏症を説明できる 復習：歯の検査法、象牙質知覚 過敏症の治療法と薬剤を 列挙できる。 歯の痛みについてを説明 できる。 E-1-1) ①②③④⑥ E-3-1) ①②③④⑤⑥ E-3-2) ①⑤ E-3-3)-(2) ① 必9イa、必10オa、必7イa、 必8イb、総Ⅱ6アc、総Ⅶ1 アa,b、各Ⅱ1アd、各Ⅱ1ウe
歯内3	長谷川雅子	歯の硬組織 疾患	歯の硬組織 疾患の病因 と病態 歯髄保存療 法 覆髄材	歯髄鎮痛消炎 療法 間接覆髄法 暫間的間接覆 髄法 直接覆髄法 生活・失活断 髄法 覆髄材	①歯髄保存療法の適 応症、処置、治療 機転を説明できる。 ②覆髄材の特徴を説 明できる。	予習：硬組織疾患の病因と病態 を説明できる。 復習：歯髄保存療法の適応症、 処置について説明できる。 E-3-2) ① E-3-3)-(1) ①⑤ 必7イa、必12ケb、総Ⅲ2アb、 総Ⅶ2アa、各Ⅱ1ウe、各Ⅱ 2イa
歯内4	長谷川雅子	歯髄疾患	歯髄疾患の 病因、病態、 症候、治療	歯髄炎の症候 歯髄除去療法 の適応 内部吸収歯の 治療	①歯髄疾患の病因、 分類、特徴を説明 できる。 ②歯髄疾患の診断、 治療法を選択出来 る。	予習：それぞれの歯髄疾患を説 明できる。 復習：症状から診断名を決定で きる。 E-3-2) ② E-3-3)-(2) ① 必7イb、必8イb、必9キb、 総Ⅲ2アb、総Ⅳ2ア、各Ⅱ2 アa、各Ⅱ2イb

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
歯内5	長谷川雅子	根尖性歯周疾患	根尖性歯周疾患の病因、病態、症候、治療 根尖歯周組織の治癒 再根管治療	根尖性歯周疾患の病因と病態、治療	①根尖歯周組織疾患の診断、治療法(救急処置を含む)を選択出来る。 ②根尖性歯周疾患が全身に及ぼす影響	予習：それぞれの根尖性歯周炎を説明できる。 復習：急性化膿性根尖性歯周炎の各期の症状、処置を列挙できる。 根尖の治癒経過を説明できる。 E-3-2) ② E-3-3)-(2) ①④ 必7イb、必8イb、必9キb、必12アb、総Ⅲ2アb、総Ⅳ2ア、総Ⅶ1イb、各Ⅱ2アb、各Ⅱ2アf、各Ⅱ2イc
歯内6	長谷川雅子	治療の基本手技	歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 歯科材料・機器	根管処置 根管充填 歯内療法用材料	①根管処置を説明できる。 ②根管充填の目的、時期、術式、材料を説明できる。 ③器材、根管清掃剤、根管消毒剤、仮封、隔壁について説明できる。	予習：歯内治療で用いる器材を説明できる。 復習：隔壁に手順を説明できる。 E-3-3)-(2) ② E-3-3)-(1) ⑦ D-1 ①②③ D-2 ⑥ 必12ケc、総Ⅶ2アb、総Ⅶ5ウa、各Ⅱ2イd、各Ⅱ2イe
歯内7	長谷川雅子	歯髄疾患、根尖性歯周疾患	偶発症と安全対策 顕微鏡	皮下気腫、リーマー破折 顕微鏡による検査	①歯内治療における偶発事故の原因、予防、経過、処置法を説明できる。 ②顕微鏡の特徴を説明できる。	予習：偶発症を列挙できる。 復習：偶発症の処置方法を説明できる。 E-3-3)-(2) ③ E-3-3)-(2) ⑤ D-1 ③ 各Ⅱ2イj
歯内8	長谷川雅子	歯髄疾患、根尖性歯周疾患	外科的歯内療法	外科的歯内療法の種類、適応症、術式	①外科的歯内療法の適応症、処置法を説明できる。	予習：外科的歯内療法を列挙できる。 復習：外科的歯内療法の手順を説明できる。 E-3-3)-(2) ⑤ 必12アb、総Ⅶ1イc、各Ⅱ2イg
歯内9	長谷川雅子	歯髄疾患、根尖性歯周疾患	歯の外傷 歯の病的吸収	外傷歯の分類と治療、歯の亀裂・破折 内部吸収、歯根外部吸収治療	①外傷歯の特徴、診断治療法を説明できる。 ②エックス線画像より病的吸収、歯根破折が読影できる。	予習：外傷の分類が列挙できる。 復習：エックス線画像、CT画像より診断ができる。 E-2-4)-(2) ③ E-1-2) ⑦、⑨ E-3-3)-(2) ⑦ 総Ⅵ2イb,c、総Ⅵ2オa、各Ⅰ4アb、各Ⅰ4イ、各Ⅱ1アf、各Ⅱ2アd、各Ⅱ2イi、各Ⅱ2イh
歯内10	長谷川雅子	硬組織、歯髄疾患、根尖性歯周疾患	歯内-歯周疾患 歯の変色 根末完成歯の治療	歯内-歯周疾患の分類 歯の漂白 アペキシゲネーシス、アペキシフィケーション、歯髄血管再生療法	①歯内-歯周疾患の原因、分類、処置を説明できる。 ②漂白の治療法を説明できる。 ③根尖末完成歯の治療を説明できる。	予習：歯内-歯周疾患の原因、分類、処置を説明できる。 歯の変色の原因と処置を列挙できる。 復習：根末完成歯の治療を説明できる。 E-3-3)-(2) ⑥ E-4-2) ④⑤ 各Ⅱ2アc、各Ⅱ3アi、各Ⅱ1ウg、各Ⅱ2イf、

指導教員：長谷川雅子

参考書：1) 歯内治療学第5版 (医歯薬出版) 10,800円(税込み) ISBN：978-4-263-45823-5
2) エンドドンティクス第5版 (永末書店) 9,720円(税込み) ISBN：978-4-8160-1340-9

総合歯科医学Ⅵ（全部床義歯補綴学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
全部床 1	西山雄一郎	(総論) 口腔・顎顔 面領域の疾 患の病因・ 病態	歯の喪失に 伴う変化・ 障害	口腔の変化 顎骨の変化 顔貌の変化 顎関節の変化 全身への影響	①無歯顎の解剖学的構 造を説明できる。 ②歯の喪失に伴う口 腔・顎顔面領域の変 化・障害を説明でき る。	「予習」全部床義歯補綴学 講義ノート1,29章 / 歯科国試パーフェクトマス ター全部床義歯補綴学 Chapter1,3,16 「復習」ANSWER2021. Vol.10 p 3 -6,p19-26 E- 2 -2)-① E- 2 -3)-④ E- 3 -4)-(2)-① 必12-ス-a 総Ⅲ- 2 -イ-abcde 各Ⅳ- 8 -エ-bcd
全部床 2	西山雄一郎	(総論) 口腔検査、 顎口腔機能 検査 (各論) 診察、検査、 診断	顎口腔機能 検査	咀嚼機能検査 (直接法・間接法) 発声・構音・発 語検査 鼻咽腔閉鎖機能 検査 機能的・力学的 評価	①無歯顎の解剖学的構 造を説明できる。 ②無歯顎の口腔内検査 を説明できる。 ③咀嚼機能検査を説明 できる。 ④発声・構音・発語検 査を説明できる。 ⑤鼻咽腔閉鎖機能検査 を説明できる。	「予習」全部床義歯補綴学 講義ノート1,23,28章 / 歯科国試パーフェクトマス ター全部床義歯補綴学 Chapter 6 「復習」ANSWER2021. Vol.10 p 7 -35,p152-164 E- 1 -1)-①② E- 2 -2)-⑧ E- 2 -4)-(11)-①②③ 必12-ス-a 総Ⅵ- 1 -アイウ 総Ⅵ- 1 -イ-abc 各Ⅳ- 2 -イ-abcdefgi
全部床 3	佐藤洋平	(各論Ⅳ) 歯質・歯・ 顎顔面欠損 と機能障害 全部床義歯 による治療	臨床操作 技工操作	前処置、印象採 得、個人トレー の製作、作業用 模型の製作	①無歯顎患者の印象採 得について説明でき る。	無歯顎補綴治療第3版 p86-125 E- 3 -4)-(2)-⑥ 必12-ケ-e、必12-ス、 各Ⅳ- 2 -ウエ、 各Ⅳ- 5 -イ-ab、 各Ⅳ- 5 -ウ-ab
全部床 4	佐藤洋平	(各論Ⅳ) 歯質・歯・ 顎顔面欠損 と機能障害 全部床義歯 による治療	臨床操作 技工操作	印象採得、顎間 関係の記録、個 人トレーの製作、 作業用模型の製 作、咬合器装 着・調節	①無歯顎患者の印象採 得について説明でき る。 ②無歯顎患者の咬合採 得について説明でき る。	無歯顎補綴治療第3版 p86-126 E- 3 -4)-(3)-⑥⑩ 必12-セ-cd、 各Ⅳ- 5 -イ-bc、 各Ⅳ- 6 -ウ-abc
全部床 5	佐藤洋平	(各論Ⅳ) 歯質・歯・ 顎顔面欠損 と機能障害 全部床義歯 による治療	臨床操作 技工操作	顎間関係の記録、 咬合器装着・調 節	①無歯顎患者の咬合採 得(垂直的顎間関係) について説明できる。 ②無歯顎患者の咬合採 得(水平的顎間関係) について説明できる。	無歯顎補綴治療第3版 p126-156,165-180 E- 3 -4)-(4)-⑥⑦⑧ 各Ⅳ- 5 -イ-c、 各Ⅳ- 7 -ウ-c
全部床 6	佐藤洋平	(各論Ⅳ) 歯質・歯・ 顎顔面欠損 と機能障害 全部床義歯 による治療	臨床操作 技工操作	顎間関係の記録、 咬合器装着・調 節、人工歯の選 択・排列・削合	①無歯顎患者の咬合採 得(垂直的顎間関係) について説明できる。 ②無歯顎患者の咬合採 得(水平的顎間関係) について説明できる。 ③咬合器装着について 説明できる。 ④顎路調節を説明でき る。	無歯顎補綴治療第3版 p126-156,165-181 E- 3 -4)-(5)-⑥⑦⑧ 各Ⅳ- 5 -イ-c、 各Ⅳ- 8 -ウ-cd

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
全部床 7	佐藤洋平	(各論Ⅳ) 歯質・歯・ 顎顔面欠損 と機能障害 全部床義歯 による治療	臨床操作 技工操作	ろう義歯の試適、 人工歯の選択・ 排列・削合、歯 肉形成	①ろう義歯試適につい て説明できる。 ②人工歯の選択・排 列・削合について説 明できる。 ③歯肉形成について説 明できる。	無歯顎補綴治療第3版 p157-164,181-216 E-3-4)-(6)-⑨⑩ 各Ⅳ-5-イ-d、 各Ⅳ-9-ウ-de
全部床 8	佐藤洋平	(各論Ⅳ) 歯質・歯・ 顎顔面欠損 と機能障害 全部床義歯 による治療	臨床操作 技工操作	ろう義歯の試適、 人工歯の選択・ 排列・削合、歯 肉形成	①ろう義歯試適につい て説明できる。 ②人工歯の選択・排 列・削合について説 明できる。 ③歯肉形成について説 明できる。 ④金属床義歯の設計に ついて説明できる。	無歯顎補綴治療第3版 p157-164,181-216,269-276 E-3-4)-(7)-⑨⑩ 各Ⅳ-5-イ-d、 各Ⅳ-10-ウ-de
全部床 9	西山雄一郎	(総論) 口腔・顎顔 面の機能	運動 食物摂取	下顎位 下顎運動要素 咬合接触、咬合 様式 基準平面	①下顎位を説明できる。 ②下顎運動要素を説明 できる。 ③全部床義歯に関連し た基準平面を説明で きる。 ④咬合接触、咬合様式 を説明できる。	「予習」全部床義歯補綴学 講義ノート13,18-20章 / 歯科国試パーフェクトマス ター全部床義歯補綴学 Chapter 2,11 「復習」ANSWER 2021. Vol.10 p7-18,p100-104 E-3-4)-(2)-⑦⑩ 必12-ス-a 総Ⅵ-1-イ-abc 各Ⅳ-2-イ-bcf 各Ⅳ-5-イ-c 各Ⅳ-5-ウ-d
全部床 10	西山雄一郎	(総論) 口腔・顎顔 面の機能 (各) 全部床義歯 による治療	運動 臨床操作 技工操作	下顎位 下顎運動要素 顎間関係の記録 咬合器装着・調 節	①下顎位を説明できる。 ②下顎運動要素を説明 できる。 ③全部床義歯の咬合平 衡を説明できる。 ④咬合器装着を説明で きる。 ⑤顎路調節を説明でき る。	「予習」全部床義歯補綴学 講義ノート13,18-20章 / 歯科国試パーフェクトマス ター全部床義歯補綴学 Chapter 9,10 「復習」ANSWER2021. Vol.10 p7-18,p67-113, p169-171 E-3-4)-(2)-⑦⑧ 必12-ケ-e 総Ⅵ-1-イ-abc 各Ⅳ-2-イ-bcf 各Ⅳ-5-イ-c 各Ⅳ-5-ウ-cd
全部床 11	西山雄一郎	(各論) 全部床義歯 による治療	臨床操作 技工操作	人工歯の選択・ 排列・削合(咬 合様式を含む) 咬合調整(削合) と仕上げ 装着 メンテナンス	①人工歯の選択・排 列・削合を説明でき る。 ②咬合調整(削合)と 仕上げを説明できる。 ③装着を説明できる。 ④残存組織の変化と対 応を説明できる。 ⑤補綴装置の破損と対 応を説明できる。	「予習」全部床義歯補綴学 講義ノート15-17,25-27,29 章 / 歯科国試パーフェク トマスター全部床義歯補綴 学Chapter11-16 「復習」ANSWER2021. Vol.10 p114-250 E-3-4)-(2)-⑨⑩⑪⑫⑬⑭ 必12-ケ-e 総Ⅶ-2-ア-d 総Ⅷ-6-アオカ 各Ⅳ-5-イ-e 各Ⅳ-5-ウ-cdefg

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
全部床 12	西山雄一郎	(各論) 特殊な装置 による治療	顎顔面補綴 装置 摂食嚥下補助 床 構音補助床	顎義歯 舌接触補助床 軟口蓋拳上装置 スピーチエイド	①顎義歯を説明できる。 ②舌接触補助床を説明 できる。 ③軟口蓋拳上装置を説 明できる。 ④スピーチエイドを説 明できる。 ⑤構音障害を説明でき る。	「予習」無歯顎補綴治療顎 第3版p287-292 / 歯科国試パーフェクトマス ター全部床義歯補綴学 Chapter19 「復習」ANSWER2021. Vol.10 p529-547 / ANSWER2021.Vol13. p336-344 E-2-4)-(11)-②③ E-3-4)-(2)-①②⑤ (特殊な装置) 総VI-1-イ-fg 各IV-1-アイウエオ 各IV-7-アウエ
全部床 13	佐藤洋平	(各論Ⅳ) 歯質・歯・ 顎顔面欠損 と機能障害 全部床義歯 による治療 指導と管理	臨床操作 技工操作 補綴装置に 対する指導 リコールと メンテナンス 治療効果の 評価	装着、埋没、重 合、咬合調整 (削合)と仕上 げ	①全部床義歯の装着に ついて説明できる。 ②全部床義歯の埋没、 重合について説明で きる。 ③咬合調整・削合につ いて説明できる。	無歯顎補綴治療顎第3版 p217-262 E-3-4)-(8)-⑩⑫⑬⑭ 各IV-5-イ-cd、 各IV-11-ウ-cde、 各IV-8-イ、各IV-8-ウ、 各IV-8-エ-abcde、 各IV-8-カ
全部床 14	佐藤洋平	(各論Ⅳ) 歯質・歯・ 顎顔面欠損 と機能障害 全部床義歯 による治療 指導と管理	臨床操作 技工操作 補綴装置に 対する指導 リコールと メンテナンス 治療効果の 評価	装着、埋没、重 合、咬合調整 (削合)と仕上 げ、ホームケア、 プロフェッショ ナルケア、残存 組織の変化とそ の対応、咬合の 変化とその対応、 機能低下とその 対応、補綴装置 の破損とその対 応	①全部床義歯の装着に ついて説明できる。 ②全部床義歯の埋没、 重合について説明で きる。 ③咬合調整・削合につ いて説明できる。 ④全部床義歯の術後調 整・管理について説 明できる。	無歯顎補綴治療顎第3版 p217-263 E-3-4)-(9)-⑩⑫⑬⑭ 各IV-5-イ-cd、各IV-11- ウ-cde、各IV-8-イ、各IV- 8-ウ、各IV-8-エ-abcde、 各IV-9-カ

指導教員：佐藤洋平、西山雄一郎

参考書：市川哲雄、大川周治、平井敏博、細井紀雄 編：無歯顎補綴治療学 第3版。医歯薬出版。東京。2016。
ISBN：978-4-263-45792-4
西山雄一郎 著：歯科国試パーフェクトマスター 全部床義歯補綴学。医歯薬出版。東京。2019。
ISBN：978-4-263-45842-6

総合歯科医学Ⅵ（部分床義歯補綴学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
部分床 1	白井麻衣	I 可撤性部分床義歯の概念 1. 定義 2. 目的 3. 臨床的意義 4. 分類	A. 欠損による障害 B. 臨床的意義 C. 特徴 D. 分類		①可撤性部分床義歯の定義と特徴を説明する。 ②治療効果と臨床的意義を説明する。 ③固定性義歯およびインプラント義歯との相違を説明する。 ④各部構成要素を説明する。 ⑤各種の分類を説明する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート 1,2,3,4,5章 「復習」ANSWER2020-10 巻P.261-271 E-3-4)-(2)①～③ 各論Ⅳ 1 ア～オ, 各論Ⅳ 4 アb
部分床 2	白井麻衣	5. 構成要素 6. 可撤性支台装置	E. クラスプ F. アタッチメント		⑥可撤性支台装置の構造、機能を説明する。 ⑦所要条件と設計の基本を説明する。 ⑧分類と基本的機能の関係を説明する。 ⑨クラスプ用材料を説明する。 ⑩アタッチメントの構造と機能を説明する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート 6,7章 「復習」ANSWER2020-10 巻P.272-303,495-522 E-3-4)-(2) ④ 各論Ⅳ 4 アb,c
部分床 3	白井麻衣	7. 連結装置	A. 意義と役割 B. 設計の所要条件 C. 種類 D. 大連結子の種類	a. 大連結子 b. 小連結子 a. 上顎の大連結子 b. 下顎の大連結子	①連結装置の概念を説明する。 ②意義と役割を説明する。 ③設計の所要条件を列挙する。 ④種類と適応症を説明する。 ⑤大連結子を説明する。 ⑥小連結子を説明する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート 8章 「復習」ANSWER2020-10 巻P.307-326 E-3-4)-(2) ④ 各論Ⅳ 4 アa,b
部分床 4	白井麻衣	8. 義歯床と人工歯	E. 義歯床 F. 人工歯		⑦義歯床の役割を説明する。 ⑧義歯床の要件を列挙する。 ⑨義歯床各部の名称を説明する。 ⑩義歯床の辺縁形態を説明する。 ⑪各種人工歯の特徴と適応を説明する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート 9,10,11章 「復習」ANSWER2020-10 巻P.304-306 E-3-4)-(2) ④, ⑨ 各論Ⅳ 4 アa,b
部分床 5	白井麻衣	Ⅱ 部分無歯顎の補綴治療 1. 診察・検査と診断 2. 診察・検査と診断	A. 診察と検査 B. 治療計画を左右する因子	a. 欠損補綴の主要な診察・検査項目	①部分無歯顎の診察・検査項目を記述する。 ②機能検査を説明する。 ③治療計画を左右する因子を列挙する。 ④前処置の目的を述べる。 ⑤広義の前処置を列挙する。 ⑥粘膜調整の目的と方法を説明する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート 12,13,14章 「復習」ANSWER2020-10 巻P.327-349 E-3-4)-(2) ⑪ 各論Ⅳ 2 ア～エ
部分床 6	白井麻衣	3. 義歯の設計	A. 支台歯の保護 B. 支台歯間線の法則		①基本設計の考え方を説明する。 ②支台歯の保護について説明する。 ③支台歯間線の保護について説明する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート 15,16,17章 「復習」ANSWER2020-10 巻P.350-357 E-3-4)-(2) ⑤ 各論Ⅳ 4 アa

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習	
部分床 7	鈴木恭典	Ⅱ 部分無歯顎の補綴治療	B. 治療計画を左右する因子				「予習」部分床義歯補綴学講義ノート19,20章「復習」ANSWER2020-10巻P.358-376 E-3-4)-(2) ⑤⑥ 各論Ⅳ 4 イabウab
		1. 支台歯の前処置	A. 支台歯の前処置	a. 欠損補綴の主要な診察	①支台歯の前処置を説明する。		
部分床 8	鈴木恭典	3. 顎間関係の記録〔咬合採得〕	A. 定義	a. 基礎床	①咬合床の役割を列挙する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート18,21章「復習」ANSWER2020-10巻P.378-388 E-3-4)-(2) ④⑤⑥⑦⑧ 各論Ⅳ 4 アaイcウc	
			B. 咬合床	b. 咬合堤	②歯列、対向関係による咬合採得の種類を説明する。		
部分床 9	鈴木恭典	5. サベイング	C. 歯列、対向関係による咬合採得の種類		③咬合採得の注意点を説明する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート22,23,24,25,26章「復習」ANSWER2020-10巻P.389-415 E-3-4)-(2) ⑨⑩⑪⑫⑬ 各論Ⅳ 4 イdeウdefgh	
			D. 咬合器装着		④咬合採得で生じやすいエラーを説明する。		
部分床 9	鈴木恭典	4. 設計	A. 設計	a. リジッドサポート	①リジッドサポートを説明する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート22,23,24,25,26章「復習」ANSWER2020-10巻P.389-415 E-3-4)-(2) ⑨⑩⑪⑫⑬ 各論Ⅳ 4 イdeウdefgh	
				b. 連結強度	②連結強度を説明する。		
部分床 9	鈴木恭典	6. 製作	A. サベイヤールの構造と用具	a. サベイヤール	①サベイングに関連する用語を説明する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート22,23,24,25,26章「復習」ANSWER2020-10巻P.389-415 E-3-4)-(2) ⑨⑩⑪⑫⑬ 各論Ⅳ 4 イdeウdefgh	
			B. サベイングに関連する用語	a. サベイング	②サベイングの必要な事項を列挙する。		
部分床 9	鈴木恭典	6. 製作	C. サベイングの必要な事項		③サベイングの必要な事項を列挙する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート22,23,24,25,26章「復習」ANSWER2020-10巻P.389-415 E-3-4)-(2) ⑨⑩⑪⑫⑬ 各論Ⅳ 4 イdeウdefgh	
			D. 埋没と重合		④埋没と重合の注意点を説明する。		
部分床 9	鈴木恭典	6. 製作	A. レジン床義歯の製作	a. 金属床義歯の構造	①金属床義歯の構造を具体的に述べる。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート22,23,24,25,26章「復習」ANSWER2020-10巻P.389-415 E-3-4)-(2) ⑨⑩⑪⑫⑬ 各論Ⅳ 4 イdeウdefgh	
			B. 金属床義歯の製作	b. フレームワークの製作	②金属床義歯各部の名称と目的を説明する。		
部分床 9	鈴木恭典	6. 製作	C. 試適	c. 金属材料	③フレームワークの製作法を説明する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート22,23,24,25,26章「復習」ANSWER2020-10巻P.389-415 E-3-4)-(2) ⑨⑩⑪⑫⑬ 各論Ⅳ 4 イdeウdefgh	
			D. 埋没と重合	a. 人工歯排列試適	④金属床義歯に用いる金属の種類と特徴を説明する。		
部分床 9	鈴木恭典	6. 製作		b. フレームワークの試適	⑤金属床義歯に用いる金属の種類と特徴を説明する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート22,23,24,25,26章「復習」ANSWER2020-10巻P.389-415 E-3-4)-(2) ⑨⑩⑪⑫⑬ 各論Ⅳ 4 イdeウdefgh	
					⑥フレームワーク試適時の確認事項を説明する。		

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
部分床 10	鈴木恭典	7. 装着	E. 義歯の装着 F. 装着時の指導とホームケア	a. 装着の手順 b. 部分床義歯に与える咬合 c. 不適合の原因 a. デンチャーブラーク a. 義歯装着後の不快事項 b. 適合性検査 a. 長期経過後の変化 b. 粘膜の病的変化 c. 定期検診	①義歯装着の手順を説明する。 ②部分床義歯に与える咬合を説明する。 ③装着時の指導内容を説明する。 ④デンチャーブラークについて説明する。 ⑤義歯装着後に起こりやすい不快事項とその対応を説明する。 ⑥適合性検査について説明する。 ⑦長期経過後に起こる変化を説明する。 ⑧粘膜の病的変化を説明する。 ⑨定期検診の重要性を説明する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート 27,28章 「復習」ANSWER2020-10 巻P.418-464 E-3-4)-(2) ⑤ 各論Ⅳ 4 イfウi
部分床 11	鈴木恭典	8. 装着後の管理		a. 義歯修理の種類と方法 b. リベース c. リライン	①義歯破折の原因を列挙する。 ②義歯修理の方法を具体的に述べる。 ③リベースとリラインを説明する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート 29,30,31章 「復習」ANSWER2020-10 巻P.466-478 E-3-4)-(2) ⑬⑭ 各論Ⅳ 8 イオ abcde
部分床 12	鈴木恭典	9. 特殊な義歯	A. 即時義歯 B. 治療用義歯 C. オーバーデンチャー D. インプラントデンチャー		①即時義歯について説明する。 ②治療用義歯について説明する。 ③オーバーデンチャーについて説明する。 ④インプラントオーバーデンチャーの特徴、適応症を説明する。 ⑤埋入計画、義歯の設計を説明する。 ⑥インプラントオーバーデンチャーの併発症を説明する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート 4,32,33章 「復習」ANSWER2020-10 巻P.480-521 E-3-4)-(2) ②③ E-3-4)-(3) ①⑥⑦ 各論Ⅳ 4 アc 6 ウc 8 オf

指導教員：鈴木恭典、白井麻衣

参考書：部分床義歯補綴学講義ノート
歯学生のパーシャルデンチャー第6版
スタンダードパーシャルデンチャー補綴学

総合歯科医学Ⅵ (クラウンブリッジ補綴学)

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
Cr-Br 1	中村善治	各論Ⅳ 2 診察、検査、診断	イ 検査と評価	f 補綴装置の評価	E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ①クラウンブリッジの意義と具備すべき条件を説明できる	「予習」 Answer2020 P106-115 「復習」 Answer2020 P106-115 各論Ⅳ 2-イf E-3-4)-(1)-①
Cr-Br 2	中村善治	各論Ⅳ 3 クラウンブリッジによる治療	ア クラウンブリッジの設計		①支台歯数と欠損歯数の関係を説明できる。 ②ブリッジの連結法を説明できる。	「予習」 Answer2020 P299-320, P280-290 P322-336, P364-379, P70,71 「復習」 Answer2020 P299-320, P280-290 P322-336, P364-379, P70,71 各論Ⅳ 3 ア
Cr-Br 3	重本修伺	総論Ⅵ 1 口腔検査、顎口腔機能検査 各論Ⅳ 2 診察、検査、診断	ア 口腔検査 イ 顎口腔機能検査 ア 診察 イ 検査と評価 ウ 診断 エ 治療計画の立案	e 歯列・咬合の検査 a 下顎運動検査 b 顎関節・筋機能検査 a 形態的評価・審美的評価 b 機能的評価 c 力学的評価 d 身体社会的・心理的評価 e 栄養評価 g 研究用模型による検査 h 口腔衛生状態の評価	E-1-3) ①臨床検査の目的と適応を説明できる。 ②診断に必要な臨床検査項目を列挙できる。 E-1-3) ①臨床検査の目的と適応を説明できる。 ②診断に必要な臨床検査項目を列挙できる。 E-1-(1) ⑦問題志向型診療録 (problem-oriented medical record <POMR>)を説明できる。	「予習」 Answer2020 P 3-55, P106-115, P116-126 「復習」 Answer2020 P 3-55, P106-115, P116-126 総論Ⅵ 1 アe, イab 各論Ⅳ 2 ア、イ abcddegh, ウ、エ E-1-3)-①②⑦
Cr-Br 4	重本修伺	必修12 治療の基礎・基本手技 各論Ⅳ 3 クラウンブリッジによる治療	セ 歯科材料・機械 イ 臨床操作	c 印象用材料 d 印象採得 e プロビジョナルレストレーション	D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特製、操作法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特製、操作法を説明できる。 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦プロビジョナルレストレーションの意義とその製作方法を説明できる。	「予習」 Answer2020 P182-200, P227-242 「復習」 Answer2020 P182-200, P227-242 必修12セc 各論Ⅳ 3 イ0 d.e D-2-② E-3-4)-(1) ⑤⑦

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
Cr-Br 5	中村善治	各論Ⅳ 3 クラウンブリッジによる治療	イ 臨床操作	a 前処置 b 支台歯形成	E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ④支台歯形成の意義、種類と方法を説明できる。	「予習」 Answer2020 P116-126, P162-181 「復習」 Answer2020 P116-126, P162-181 各論Ⅳ 3-イ a,b E-3-4)-(1) ③④
Cr-Br 6	中村善治	各論Ⅳ 3 クラウンブリッジによる治療	イ 臨床操作	c支台築造	E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ③支台築造の意義、種類及び特徴を説明できる。	「予習」 Answer2020 P128-161 「復習」 Answer2020 P128-161 各論Ⅳ 3-イ c E-3-4)-(1)-③
Cr-Br 7	中村善治	必修12 治療の基礎・基本手技 各論Ⅳ 3 クラウンブリッジによる治療	セ 歯科材料・機械 イ 臨床操作	h 接着用材料、接着処理 h 口腔内試適 i 装着	D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特製、操作法 ③接着・合着・仮着材の種類、用途、成分・組成、特製、操作法を説明できる。 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ①クラウンブリッジの装着方法を説明できる。 ②クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。 ③クラウンブリッジ装着後のメンテナンスの重要性を説明できる。	「予習」 Answer2020 P251-273, P274-278, P381-410 「復習」 Answer2020 P251-273, P274-278, P381-410 必修12セh 各論Ⅳ 3-イ h,i D-2-③ E-3-4)-(1)-①②③
Cr-Br 8	中村善治	必修12 治療の基礎・基本手技 各論Ⅳ 3 クラウンブリッジによる治療	セ 歯科材料・機械 ウ 技工操作	a 基本的性質 b 診療用機器、切削・研削工具、研磨剤 d 模型用材料、ワックス f 歯冠修復・義歯用材料 a ロストワックス法による製作 陶材焼付冠	D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特製、操作法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特製、操作法を説明できる。 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴、及び製作法(CAD/CAMを含む)を説明できる。 ⑥色調選択(シェードテイキング)を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。	「予習」 Answer2020 P291-298, 「復習」 Answer2020 P291-298 必修12セa,b,d,f 各論Ⅳ 3ウ a D-2-② E-3-4)-(1)-②⑥⑧

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
Cr-Br 9	重田優子	各論Ⅳ 1 病態	ク 睡眠時無呼吸		E-2-4)-(11) 口腔・学顔面領域の機能障害 ⑥睡眠時無呼吸の原因、診察、検査、診断及び治療方針を概説できる。	「予習」 Answer2020 P57-68, P337-362 「復習」 Answer2020 P57-68, P337-362 各論Ⅳ 1ク E-2-4)-(11)-⑥
Cr-Br 10	重田優子	各論Ⅳ 7 特殊な装置による治療	イ オーラルアプライアンス		E-2-4)-(12) 口腔・学顔面領域の機能障害 ⑥睡眠時無呼吸の原因、診察、検査、診断及び治療方針を概説できる。	「予習」 Answer2020 P57-68 「復習」 Answer2020 P57-68 各論Ⅳ 7イ E-2-4)-(11)-⑥
Cr-Br 11	重本修伺	各論Ⅳ 3 クラウンブリッジによる治療	イ 臨床操作	f 顎間関係の記録 g 患者情報の記録と伝達	E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。	「予習」 Answer2020 P202-226 「復習」 Answer2020 P202-226 各論Ⅳ 3イf.g E-3-4)-(1)-⑤⑩
Cr-Br 12	重本修伺	各論Ⅳ 3 クラウンブリッジによる治療	ウ 技工操作	a ロストワックス法による製作 b CAD/CAMによる製作	E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴、及び製法(CAD/CAMを含む)を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 ⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。	「予習」 Answer2020 P243-250 「復習」 Answer2020 P243-250 各論Ⅳ 3ウa,b E-3-4)-(1)-②⑧⑨
Cr-Br 13	中村善治	各論Ⅳ 3 クラウンブリッジによる治療	ウ 技工操作	b CAD/CAMによる製作 オールセラミック修復	E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、特徴、及び製法(CAD/CAMを含む)を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。	「予習」 Answer2020 P72-104 「復習」 Answer2020 P72-104 各論Ⅳ 3ウb E-3-4)-(1)-②⑧

指導教員：中村善治、重本修伺、重田優子

総合歯科医学Ⅵ（口腔顎顔面外科学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
口外 1	佐藤光一郎	手術の基本	手術の基本	b 消毒と滅菌 c 切開法 d 止血法、縫合法 e 穿刺、切開排膿、ドレナージ g 移植・再建手術 h 創傷の治療	口腔外科の手術手技を行う際に必要な術野の消毒・滅菌の概念および器具や歯科材料の概念およびその治療における使用方法について理解できる。周術期の管理についても理解を深める。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-1-5) ①～⑩ 必修12ウb 必修12工a-d 必修12キa-c 必修12クa 必修12セj 総Ⅶ4アa-h 総Ⅶ9ア-コ 総Ⅷ11ア-工
口外 2	佐藤光一郎	先天異常	口腔・顎顔面の先天異常 口腔・顎顔面に異常をきたす骨系統疾患・症候群	a 顔面裂 b 口唇裂・口蓋裂 a Apert症候群 <尖頭合指症> b Beckwith-Wiedemann症候群 <EMG症候群> c Crouzon症候群 <頭蓋顔面異骨症> d Down症候群 e Gardner症候群 f Marfan症候群 g McCune-Albright症候群<多骨性線維性(骨)異形成症> h Melkersson-Rosenthal症候群 i Peutz-Jeghers症候群 j Ramsay Hunt症候群 <Hunt症候群> k Robin シークエンス <PierreRobin症候群> l Sturge-Weber症候群 m Treacher Collins症候群 <下顎顔面異骨症> n von Recklinghausen病<神経線維腫症Ⅰ型> o 基底細胞母斑症候群 p 口腔・顔面・指趾症候群 <OFD症候群> q 骨形成不全症 r 鎖骨頭蓋骨異形成症 <鎖骨頭蓋骨異形成症> s 第一第二鰓弓症候群 Goldenhar症候群を含む t 大理石骨病	顎口腔領域における発育異常の概念と種類、その診断と治療法について理解をする。また、顎口腔領域に症状を伴う症候群について理解できる。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-2-4) (1) ①、②、④ E-2-4) (10) ⑤ 各論Ⅰ01ア-工 各論Ⅰ02ア-ウ 各論Ⅲ1アa 各論Ⅲ4アa-t
口外 3	江口貴紀	良性腫瘍	軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断・治療	a 歯原性良性腫瘍 b 非歯原性良性腫瘍 c 上皮異形成 o 腫瘍類似疾患 エプーリス、 義歯性線維腫、薬物性歯肉増殖症など	各種良性腫瘍の病態を理解し、各種データに基づいた診断と鑑別診断および治療について理解できる。 良性腫瘍の概略・治療効果・留意すべき解剖学的構造について理解できる。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 C-5-6) ①～⑥ E-2-1) ①～⑦ E-2-4)-(6) ③～⑥ E-2-4)-(10) ④ 各論Ⅲ1才a、b

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
口外 4	江口貴紀	良性腫瘍	顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患	a 歯源性良性腫瘍 b 歯源性悪性腫瘍 c 非歯源性良性腫瘍 d 非歯源性悪性腫瘍 e 骨関連病変 f 線維骨性病変 g 巨細胞性病変	良性・悪性腫瘍の治療方法とその概略・治療効果・留意すべき解剖学的構造について理解できる。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 C-5-6) ①～⑥ E-2-1) ①～⑦ E-2-4)-(6) ③～⑥ E-2-4)-(10) ④ 各論Ⅲ 2カ a-g
口外 5	江口貴紀	悪性腫瘍	軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する治療	c 口唇癌 d 舌癌 e 頬粘膜癌 f 口蓋癌 g 歯肉癌 h 口底癌 i 上顎洞癌 j 軟組織の肉腫 k 白血病 l 悪性リンパ腫 m 悪性黒色腫 n 上皮異形成 o 腫瘍類似疾患	各種悪性腫瘍の病態を理解し、各種データに基づいた診断と鑑別診断について理解できる。 悪性腫瘍の治療方法とその概略・治療効果・留意すべき解剖学的構造・治療の副作用について理解できる。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 C-5-6) ①～⑥ E-2-1) ①～⑦ E-2-4)-(6) ③～⑥ E-2-4)-(10) ④ 必修12ア b 各論Ⅲ 1オ a-o 各論Ⅲ 1カ a-c
口外 6	江口貴紀	悪性腫瘍、がん患者の管理	がん治療患者の管理	a がんの告知 b 治療時の患者管理 口腔衛生管理、口腔ケア c 社会復帰 d 末期癌患者の管理 e 緩和医療	がん患者の管理や口腔ケア、緩和ケア、疼痛コントロールについて理解できる。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 A-5-1) ①～⑦ 総Ⅶ 5ア a、b 総Ⅶ 5イ、ウ 各論Ⅲ 1キ a-e
口外 7	新井 剛	嚢胞	顎骨に発生する嚢胞性病態・診断・治療	a 歯源性嚢胞 b 非歯源性嚢胞	顎口腔領域の嚢胞の病態を理解し、診断および適切な治療法について理解できる。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-2-4)-(5) ①、② 各論Ⅲ 2オ a、b
口外 8	新井 剛	嚢胞	顎骨に発生する嚢胞性病態・診断・治療	a 歯源性嚢胞 b 非歯源性嚢胞	顎口腔領域の嚢胞の病態を理解し、診断および適切な治療法について理解できる。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-2-4)-(5) ①、② 各論Ⅲ 2オ a、b
口外 9	齋藤知之	顎変形症	顎顔面の変形をきたす疾患・病態・診断	a 顎変形症 b 下顎頭欠損 c 顎顔面に異常をきたす骨系統疾患・症候群	顎口腔領域における発育異常の概念と種類、その診断と治療法について理解をする。また、顎口腔領域に症状を伴う症候群について理解できる。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-2-4)-(1) ①、③ 各論Ⅲ 2ア a-c
口外 10	齋藤知之	顎変形症	顎顔面骨の変形に対する治療	a 顎矯正手術 b 骨延長術 c 顎顔面に異常をきたす骨系統疾患・症候群		授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-2-4)-(1) ①、③ 各論Ⅲ 2ア a-c

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
口外 11	長谷部充彦	顎関節疾患	顎関節・咀嚼筋疾患の病態・診断・治療	a 下顎頭欠損、関節突起発育不全 b 下顎頭肥大 c 関節突起骨折 d 顎関節脱臼 e 非感染性顎関節炎 f 感染性顎関節炎 g 顎関節リウマチ<リウマチ性顎関節炎> h 痛風性顎関節炎 i 腫瘍および腫瘍類似疾患 j 顎関節強直症 k 顎関節症 l 咀嚼筋腱・腱膜過形成	顎関節疾患の概念と種類、その診断と治療法について理解をする。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-2-1) ①～⑦ E-2-4)-(7) ①、② 各論Ⅲ 3ウa-l
口外 12	長谷部充彦	顎関節疾患	顎関節・咀嚼筋疾患の病態・診断・治療	a 下顎頭欠損、関節突起発育不全 b 下顎頭肥大 c 関節突起骨折 d 顎関節脱臼 e 非感染性顎関節炎 f 感染性顎関節炎 g 顎関節リウマチ<リウマチ性顎関節炎> h 痛風性顎関節炎 i 腫瘍および腫瘍類似疾患 j 顎関節強直症 k 顎関節症 l 咀嚼筋腱・腱膜過形成	顎関節疾患の概念と種類、その診断と治療法について理解をする。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-2-1) ①～⑦ E-2-4)-(7) ①、② 各論Ⅲ 3ウa-l
口外 13	齋藤知之	外傷	口腔軟組織の損傷 顔面軟組織の損傷		顎口腔領域の損傷の病態を理解し、診断および適切な治療法について理解できる。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 C-5-3) ④、⑤ E-2-1) ②～⑥ E-2-4) (2) ①、② 各論Ⅲ 1イa、b
口外 14	齋藤知之	外傷	歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の病態・診断・治療	a 歯の亀裂・破折・脱臼 b 歯槽骨骨折 c 下顎骨骨折 d 上顎骨骨折 e 頬骨・頬骨弓骨折 f 鼻骨骨折	顎口腔領域の損傷の病態を理解し、診断および適切な治療法について理解できる。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 C-5-3) ④、⑤ E-2-1) ②～⑥ E-2-4) (2) ①、② 各論Ⅲ 2ウa-f
口外 15	長谷部充彦	国家試験対策問題演習 1			国家試験に向けての演習、国家試験の予想問題、各種試験などを通して見えた当該学年の弱点などを補強する。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。
口外 16	佐藤光一郎	国家試験対策問題演習 2			国家試験に向けての演習、国家試験の予想問題、各種試験などを通して見えた当該学年の弱点などを補強する。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。

指導教員：齋藤知之、新井 剛、長谷部充彦、佐藤光一郎、江口貴紀

参考書：「最新 口腔外科学 第5版」 榎本昭二、道 健一 医歯薬出版 ISBN978-4-263-45806-8

総合歯科医学Ⅵ（口腔内科学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
口内 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4	浅田 洸一	必修10検査・臨床判断の基本 総論Ⅵ検査	ア. 意義、目標	a. 診断 b. 治療効果の判定、治療経過の評価 c. スクリーニング、医療情報の収集	検査の診断上の意義を説明できる。 検査の治療効果の判定、治療経過の評価についての意義を説明できる。 スクリーニング検査、医療情報の収集としての検査の意義を説明できる。	シラバスを参照し、講義内容に関わる範囲を参考書とManaba掲載資料をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習し、ポストテストでの誤答箇所は必ず確認する。 コアカリ E-1-3)-①~⑤ 国家試験出題基準 必-10-ア-a~c 必-10-イ-a~c 必-10-ウ-a~d 必-10-エ-a~e 必-10-オ-d~g 総Ⅵ-1-イ-f-h 総Ⅵ-3-ア-a~g 総Ⅵ-3-イ 総Ⅵ-4-ア-c~f 総Ⅵ-4-イ-a b 総Ⅵ-5-ア-a b 総Ⅵ-5-イ-a
			イ. 検査の安全	a. 実施（必要性）の説明 b. 患者・検体の確認 c. 検査の合併症・リスク	検査の必要性、合併症など安全について説明できる。 検査における患者・検体の確認について説明できる。 検査の合併症・リスクについて説明できる。	
			ウ. 基準値と結果の解釈	a. 基準範囲の概念 b. 生理的変動、異常値と原因 c. 性差、年齢差 d. 症候、病歴（既往歴、投与薬物）との関連	基準範囲の概念について説明できる。 検査の生理的変動について説明できる。 検査の異常値とその原因について説明できる。 検査における性差、年齢差について説明できる。 検査と症候との関連について説明できる。 検査と病歴（既往歴、投与薬物）との関連について説明できる。	
			エ. 検体検査	a. 一般臨床検査（尿、糞便、穿刺液、関節液） b. 血液学検査（血球検査、凝固・線溶系検査、血液型・輸血関連検査、赤沈） c. 生化学検査（蛋白、生体色素、酵素、含窒素成分、糖代謝関連物質、脂質代謝関連物質、電解質など） d. 免疫血清学検査（炎症マーカー、自己抗体、血清学的診断） e. 微生物学検査（染色法、培養検査、薬剤感受性など）	検体検査の種類、内容、異常値の意味について説明できる。	
			オ. 生体機能検査	f. 病理学検査（細胞診・組織診） g. 染色体・遺伝子検査 h. 検体の採取・保存・確認	細胞診と組織診について説明できる。 染色体・遺伝子検査について説明できる。 検体の採取・保存・確認について説明できる。	
			カ. 消化管機能検査	c. 消化管機能検査 d. 肝・胆道機能検査（色素排泄試験） e. 内分泌・代謝機能検査 f. 腎機能検査（クレアチニンクリアランス、糸球体濾過率）	消化管機能検査について説明できる。 肝・胆道機能検査について説明できる。 内分泌・代謝機能検査について説明できる。 腎機能検査について説明できる。	

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
口内 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4			カ. 電気生理学検査	a. 脳波検査 b. 筋電図・神経電動検査（徒手筋力テスト）	脳波検査について説明できる。 筋電図・神経電動検査について説明できる。	
			キ. 皮膚検査	a. 皮膚アレルギー検査（フリックテスト、皮内テスト、針反応テスト、パッチテスト） b. 皮膚知覚検査（二点識別検査、SWテスト）	各種皮膚アレルギー検査の種類、その特徴について説明できる。 b. 皮膚知覚検査について説明できる。	
			ク. 睡眠検査	ポリソムノグラフィ	ポリソムノグラフィについて説明できる。	
			ケ. 顎口腔機能検査	f. 発声・構音・発語検査 g. 鼻咽腔閉鎖機能検査 h. 味覚の検査	発声・構音・発語検査について説明できる。 鼻咽腔閉鎖機能検査について説明できる。 味覚の検査について説明できる。	
			コ. 口腔内検査	口臭検査	口臭検査について説明できる。	
口内 5 ・ 6	佐藤 徹	粘膜疾患	ウイルス性口内炎		①単純疱疹を説明する。 ②手足口病を説明する。 ③ヘルパンギーナを説明する。	シラバスを確認し、講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習する。 コアカリ： C-4-2)-⑤、⑥ E-2-4)-(4)-①、② E-2-4)-(10)-②、③、⑦、⑩ 国試出題基準： 必-8-ウ-d～g、l 必-8-エ-a 総Ⅲ-2-ア-c,d 総Ⅳ-1-ア-d 各Ⅰ-3-ウ-a～e 各Ⅲ-1-ク-a～x 各Ⅲ-4-イ-a～g 各Ⅲ-4-エ-a～d 各Ⅲ-4-オ-a～c
			天疱瘡、類天疱瘡		①天疱瘡を説明する。 ②類天疱瘡を説明する。	
			多形滲出性紅斑		多形滲出性紅斑を説明する。	
			薬物性口内炎		①皮膚粘膜眼症候群を説明する。 ②中毒性表皮剥離壊死症を説明する。	
			SLE		SLEを説明する。	
			慢性再発性アフタ		慢性再発性アフタを説明する。	
			Behçet病		Behçet病を説明する。	
			壊死性潰瘍性歯肉口内炎、壊疽性口内炎		壊死性潰瘍性歯肉口内炎と壊疽性口内炎を説明する。	
			口腔扁平苔癬		口腔扁平苔癬を説明する。	
			口腔カンジダ症		口腔カンジダ症を説明する。	
			白板症		白板症を説明する。	
			内因性色素沈着症		内因性色素沈着症を説明する。	
			外因性色素沈着症		外因性色素沈着症を説明する。	
			色素性母斑		色素性母斑を説明する。	
			von Recklinghausen病		von Recklinghausen病を説明する。	
地図状舌		地図状舌を説明する。				
毛舌		毛舌を説明する。				
正中菱形舌炎		正中菱形舌炎を説明する。				

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
口内 5・6			肉芽腫性口唇炎		肉芽腫性口唇炎を説明する。	
			口角炎、口角びらん		口角炎、口角びらんを説明する。	
口内 5・6		全身に関連する疾患の病態・診断・治療	全身管理に注意すべき粘膜疾患	免疫・アレルギー	①免疫不全患者での注意事項を説明する。 ②膠原病患者での注意事項を説明する。 ③アレルギー疾患患者での注意事項を説明する。 ④AIDS患者での注意事項を説明する。	シラバスを確認し、講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習する。 コアカリ： C-3-4)-(9)-① E-2-4)-(10)-⑧ 国試出題基準： 各Ⅲ-4-カ-a～i
			口腔症状を呈する内分泌障害、代謝障害、栄養障害		①下垂体性巨人症と小人症の口腔症状を説明する。 ②甲状腺機能亢進症と低下症の口腔症状を説明する。 ③副甲状腺機能低下症の口腔症状を説明する。 ④Cushing病、Cushing症候群の口腔症状を説明する。 ⑤アルドステロン症の口腔症状を説明する。 ⑤Addison病の口腔症状を説明する。 ⑥糖尿病の口腔症状を説明する。 ⑦アミロイドーシスの口腔症状を説明する。 ⑧くる病の口腔症状を説明する。	
口内 7・8・9	佐藤 徹	唾液腺疾患	発育異常		唾液腺の発育異常を説明する。	シラバスを確認し、講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習する。 コアカリ： E-2-2)-(6) E-2-4)-(6)-①～④ E-2-4)-(8)-①～⑧ E-2-4)-(11)-⑤ F-2-2)-(9) 国試出題基準： 必-8-イ-k 必-10-オ-e 総Ⅲ-2-ア-f 総Ⅵ-1-イ-d 各Ⅲ-3-ア-a～m 各Ⅲ-5-ア-g
			異所性唾液腺		異所性唾液腺を説明する。	
			唾液腺損傷		①唾液瘻を説明する。 ②Frey症候群を説明する。 ③唾液腺疾患での外来異物を説明する。	
			唾液腺炎、唾液管炎		①ウイルス性を含む唾液腺炎を説明する。 ②唾液管炎を説明する。	
			口腔乾燥症		放射線や薬物による口腔乾燥症を説明する。	
			流涎症		流涎症を説明する。	
			IgG4関連疾患		IgG4関連疾患を説明する。	
			Sjögren症候群		Sjögren症候群を説明する。	
			唾石症		唾石症を説明する。	
			ア. 良性腫瘍 イ. 悪性腫瘍 ウ. 唾液腺腫瘍類似疾患 エ. 唾液腺疾患の治療		①唾液腺腫瘍の分類を説明する。 ②唾液腺腫瘍の特徴を説明する。 ③良性および悪性の唾液腺腫瘍の診断と治療法を説明する。 ④唾液腺の腫瘍類似疾患の診断と治療法を説明する。	

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習	
口内 7・ 8・ 9	佐藤 徹	血液疾患	赤血球系疾患	a 貧血 b 赤血球増多症	①鉄欠乏性貧血や再生不良性貧血などの貧血とその口腔症状について説明する。 ②赤血球増多症について説明する。	シラバスを確認し、講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習する。 コアカリ： C-3-4)-(4)-④～⑦ C-5-4)-②、③ E-2-4)-10-① 国試出題基準： 必-8-ウ-a～c 総IV-1-オ 総IV-6-ア-d 各Ⅲ-4-エ-b 各Ⅲ-4-オd,e 各Ⅲ-4-カ-j,k 各Ⅲ-4-キ-b 各Ⅲ-4-ク-a,b 各Ⅲ-4-ケ-a～d 各Ⅲ-4-コ-a～f 各Ⅲ-4-サ	
			白血球系疾患	a 白血病 b 無顆粒球症 c 悪性リンパ腫 d 多発性骨髄腫	①白血病について説明する。 ②無顆粒球症について説明する。 ③悪性リンパ腫について説明する。 ④多発性骨髄腫について説明する。		
			出血性素因	a Osler病 b アレルギー性紫斑病 c ITP d 血小板無力症 e 血友病A・B f DIC	①Osler病を説明する。 ②アレルギー性紫斑病を説明する。 ③ITPを説明する。 ④血小板無力症を説明する。 ⑤血友病A・Bを説明する。 ⑥DICを説明する。		
			血液疾患や出血性素因での観血的治療、歯科治療		①抗凝血薬、抗血小板薬を説明する。 ②出血素因患者や抗血栓薬服用者の歯科治療（特に観血的処置）を説明する。		
口内 10・ 11	山近重生	必修8主要な症候	ウ 全身的疾患に関連する口腔・顎顔面領域の症候	f 結核・梅毒に伴う症候（粘膜炎、潰瘍など）	結核、梅毒の症候を説明できる。	シラバスを確認し、講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習する。 コアカリ： C-4-1)-②、③、⑤ C-5-5)-①～④ C-6-4) ①、② E-1-3)-①、②、⑤ E-2-4)-(3)-①～⑦ E-2-4)-(10)-② 国試出題基準： 必-7-ア-d,e 総Ⅲ-1-オ-a～d 総Ⅲ-1-カ-a～c 総Ⅶ-8-ウ-b,c 各Ⅲ-1-ウ a～f 各Ⅲ-2-エ-a～h	
			総論V診察6全身疾患を有する者への対応	ア 留意すべき疾患	i 感染症		結核、ウイルス性肝炎などの感染症について説明できる。
			総論VII治療1治療の基礎	エ 全身管理に留意すべき疾患・対象	k 感染症		ウイルス感染症、細菌感染症、真菌感染症について説明できる。
			各論Ⅲ顎・口腔領域の疾患1主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療	ウ 軟組織の炎症の病態・診断・治療	a 歯冠周囲炎〈智歯周囲炎〉 b 口腔軟組織の炎症 c 所属リンパ節の炎症 d 歯性上顎洞炎 e 歯性全身感染症 f 肉芽腫性炎		歯冠周囲炎〈智歯周囲炎〉について説明できる。 歯肉膿瘍、歯槽膿瘍、骨膜下膿瘍、蜂窩織炎〈蜂巣炎〉、組織隙の炎症、歯性扁桃周囲炎について説明できる。 所属リンパ節の炎症について説明できる。 歯性上顎洞炎について説明できる。 菌血症、敗血症、歯性病巣感染、全身性炎症反応症候群〈SIRS〉、感染性心内膜炎について説明できる。 放線菌症、口腔結核、口腔梅毒について説明できる。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
口内 10 ・ 11		各論Ⅲ顎・ 口腔領域の 疾患 ² として 主として 硬組織に 関連する 疾患の病 態・診断 ・治療	工 歯槽骨・ 顎骨の炎 症の病態 ・診断・ 治療	a 歯槽骨炎、顎骨炎	歯槽骨炎、顎骨炎につ いて説明できる。	
				b 顎骨骨膜炎	顎骨骨膜炎について説明 できる。	
				c 顎骨骨髓炎	顎骨骨髓炎について説明 できる。	
				d 歯性上顎洞炎	歯性上顎洞炎について説 明できる。	
				e 放射線性骨壊死	放射線性骨壊死について 説明できる。	
				f 薬剤関連顎骨疾患	薬剤関連顎骨壊死・壊疽・ 骨髓炎について説明できる。	
				g 外歯瘻、内歯瘻	外歯瘻、内歯瘻について 説明できる。	
				h 顎骨周囲軟組織の 炎症	歯肉膿瘍、骨膜下膿瘍、 顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎 について説明できる。	
		各論Ⅲ顎・ 口腔領域の 疾患 ⁴ として 全身に関 連する疾 患の病態 ・診断・ 治療	ウ 口腔症状 を呈する 細菌感染 症	a 梅毒	梅毒について説明できる。	
		b 破傷風		破傷風について説明でき る。		
c 結核	結核について説明できる。					
口内 12 ・ 13	山近重生	各論Ⅲ顎・ 口腔領域の 疾患 ³ として 機能に関 連する疾 患の病 態・診 断・治療	イ 神経疾患 の病態・治 療	a 三叉神経痛	三叉神経痛について説明 できる。	シラバスを確認し、 講義内容に関わる 範囲を参考書をも とに予習する。授 業の理解を深める ため講義資料と参 考書で復習する。 コアカリ： C-3-4)-(5)-①～ ③ C-3-4)-(6)-④ E-1-3)-(①、②、⑤ E-2-2)-⑩ E-2-4)-(9)-①～ ④ E-2-4)-(10)-⑤、 ⑩ 国試出題基準： 必7-ア-k 総Ⅱ-4-カ-a,b 総Ⅲ-1-ケ-b,d 各Ⅲ-3-イ-a～j
				b 三叉神経麻痺	三叉神経麻痺について説 明できる。	
				c 顔面神経麻痺	顔面神経麻痺について説 明できる。	
				d 舌咽神経痛	舌咽神経痛について説明 できる。	
				e 舌下神経麻痺	舌下神経麻痺について説 明できる。	
				f 非歯原性歯痛	非歯原性歯痛について説 明できる。	
				g 外傷性神経障害	外傷性神経障害について 説明できる。	
				h 顔面けいれん	顔面けいれんについて説 明できる。	
				i 帯状疱疹後神経痛	帯状疱疹後神経痛につ いて説明できる。	
				j 舌痛症	舌痛症について説明できる。	
口内 14 ・ 15 ・ 16	館原誠晃	必修8主要 な症候 ア. 全身の 症候 総論Ⅳ主要 症候	ア. 全身の一 般的症候	a 発熱、全身倦怠感、 体重減少・増加、 ショック、意識障 害、脱水、浮腫、 けいれん、めまい、 黄疸、呼吸困難、 チアノーゼ、頭痛、 動悸、息切れ、胸 痛、睡眠障害、嘔 吐、下痢	全身の一般的症候を説明 できる。	シラバスを参照し、 講義内容に関わる 範囲を参考書と Manaba掲 載 資 料をもとに予習す る。授業の理解を 深めるため講義資 料と参考書で復習 し、ポストテスト での誤答箇所は必 ず確認する。 コアカリ E-6-① 国家試験出題基準 必8-ア-a 総Ⅳ-1-ア

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
口内 14 ・ 15 ・ 16			イ. 皮膚・粘膜系		皮膚、粘膜の症候を説明できる。	コア・カリ E-6-② 国家試験出題基準 総IV-1-イ~ケ
			ウ. 呼吸器・循環器系		呼吸器、心臓、血管の症候を説明できる。	
			エ. 消化器系		消化器の症候を説明できる。	
			オ. 運動・骨格系、造血系、免疫系		運動・骨格系、造血系、免疫系の症候を説明できる。	
			カ. 泌尿器・生殖器系		泌尿器・生殖器系の症候を説明できる。	
			キ. 心理・精神機能系		心理・精神機能系の症候を説明できる。	
			ク. 神経系、感覚系		神経系、感覚系の症候を説明できる。	
			ケ. 内分泌系（代謝、栄養を含む）		内分泌、代謝、栄養の症候を説明できる。	
口内 17 ・ 18	館原誠晃	必修9 診察の基本 総論V 診察 1 診察総論	ア. 診察のあり方		診察のあり方を説明できる。	シラバスを参照し、講義内容に関わる範囲を参考書とManaba掲載資料をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習し、ポストテストでの誤答箇所は必ず確認する。 コアカリ E-1-1)-①,②,④ 国家試験出題基準 必9-ア~オ 総V-1-イ-オ
			イ. 診察の基本手技		診察の基本手技を説明できる。	
			エ. 全身の診察		全身の診察を説明できる。	
			オ. 口腔・顎顔面の診察		口腔・顎・顔面の診察を説明できる。	
		必修2 社会と歯科医療	コ. 診療録、診療情報の記録と管理	a. 診察に関する記録（診療録、同意書、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約）の管理・保存	診察に関する記録（診療録、同意書、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約）を説明できる。またそれらの管理・保存を説明できる。	コアカリ E-1-1)-⑦ F-1-1)-④ 国家試験出題基準 必2-コ-a b
				c. SOAP（主観的情報、客観的情報、評価、計画）	SOAP（主観的情報、客観的情報、評価、計画）を説明できる。	
		必修8 主要な症候	イ. 口腔・顎顔面の症候	a. 口腔・顎顔面の一般的症候	a. 口腔・顎・顔面の一般的症候（疼痛、腫脹、腫瘤、色調の変化、熱感、出血、癢、硬さの異常、触覚の異常、機能障害）を説明できる。	コアカリ E-2-4) 国家試験出題基準 必8-イ-a, f-j 総IV-2-エ~ケ
		総論IV 口腔・顎顔面の症候	ケ. 口腔機能障害	a. 開口・閉口障害、咀嚼障害、摂食・嚥下障害、発音・構音障害、味覚障害、口腔乾燥	a. 開口・閉口障害、咀嚼障害、摂食・嚥下障害、発音・構音障害、味覚障害、口腔乾燥を説明できる。	

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習		
口内 17 ・ 18	館原誠晃	総論Ⅲ病因、 病態 1 病因、病 態	サ. 医原病	a. 検査・診断に伴う 医原病	医原病の原因と病態につ いて説明できる。	シラバスを参照し、 講義内容に関わる 範囲を参考書と Manaba掲 載 資 料をもとに予習す る。授業の理解を 深めるため講義資 料と参考書で復習 し、ポストテスト での誤答箇所は必 ず確認する。 国家試験出題基準 総Ⅲ-1-サ-a b		
				b. 治療に伴う医原病				
				ア. 身体的特 徴			妊婦の身体的特徴を説明 できる。	コアカリ E-1-4)-(1)-⑥ E-6-③ 国家試験出題基準 総Ⅴ-4-ア~エ
				イ. 心理・社 会的特徴			妊婦の心理・社会的特徴 を説明できる。	
	必修2 社会 と歯科治療	カ. 院内感染 対策	a. 標準予防策	標準予防策を説明できる。	コアカリ F-1-2)-(①~④ 国家試験出題基準 必2-カ-a-d			
			b. 抗菌薬の適正使用 と薬剤耐性	抗菌薬の適正使用と薬剤 耐性を説明できる。				
			c. 医療廃棄物処理	医療廃棄物処理について 説明できる。				
			d. 院内感染対策委員 会	院内感染対策委員会につ いて説明できる。				
	総論Ⅶ治療 9 その他の 治療	オ. 免疫療法 カ. 酸素療法	免疫療法を説明できる。	コアカリ C-4-2)-(①-④) ⑧ 国家試験出題基準 総Ⅶ-9-オ カ				
			酸素療法と高圧酸素療法 を説明できる。					
口内 19 ・ 20	上野繭美	口腔顎顔面 領域に関連 して現れる 精神・心身 医学的病態	気分障害、不 安障害、身体 表現性障害、 心身症 精神療法	①気分障害（抑うつ障害、 双極性障害、心的外傷、 ストレス関連障害）、 不安障害、身体表現性 障害、心身症を説明で きる。 ②一般心理療法、カウン セリング、自律訓練法、 行動療法、認知行動療 法を説明できる。	シラバスを確認し、 講義内容に関わる 範囲を参考書をも とに予習する。授 業の理解を深める ため講義資料と参 考書で復習する。 コアカリ： E-5-3)-(①~⑥ 国試出題基準： 必-7-ア-k 総Ⅶ-9-コ 各Ⅲ-4-シ-a ~ d			

指導教員：館原誠晃、山近重生、浅田洸一、佐藤 徹、上野繭美

参 考 書：歯科国試KEYWORDS「口腔外科アトラス」第6版

浅田洸一 他	医学評論社	¥6,600
ISBN：978-4-86399-227-6 C3047		
「口腔外科学」 白砂兼光、古郷幹彦	医歯薬出版株式会社	¥24,000
ISBN：978-4-263-45635-4 C3047		
「最新口腔外科学」 榎本昭二、道 健一 他 監修	医歯薬出版株式会社	¥29,000
ISBN：978-4-263-45806-8		
「口腔内科学」 山根源之、草間幹夫、久保田朗 編集主幹	永末書店	¥18,000
ISBN：978-4-8160-1304-1		

総合歯科医学Ⅵ (歯科麻酔学)

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
麻酔 1	阿部佳子	医学史 歯科麻酔学の基礎	麻酔の歴史 歯科麻酔学の基礎知識	歴史・適応 自律神経系 呼吸・循環系 酸塩基平衡 内分泌系	①麻酔に関する歴史を知る ②周術期全身管理に必要な自律神経系の知識を理解する ③周術期全身管理に必要な呼吸・循環系の知識を理解する ④周術期全身管理に必要な酸塩基平衡の知識を理解する ⑤周術期全身管理に必要な内分泌系の知識を理解する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必13ア/必5アe 総Ⅱ1カbkdカb 総Ⅴ6アah C-3-4)-(4) ①② C-3-4)-(5) ①③ C-3-4)-(8) ①② C-3-4)-(9) ②
麻酔 2	矢島愛美	全身状態評価 術前管理 臨床検査	術前・術後管理の基本 全身管理上問題となる疾患の術前・術後管理 臨床検査	術前全身評価 術前検査 ASA PS分類 その他の分類	①全身状態の術前評価を説明する ②基本的な術前検査を説明する ③ASA PS分類を説明する ④その他の全身状態評価分類を説明する ⑤術前・術後管理の基本を説明する ⑥全身管理上問題となる疾患の術前・術後管理を説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必10ウエ/必9エオ/必12スb 総Ⅴ6a-h 総Ⅵ3アa-c、4アab 総Ⅶ1エb-l、4イbd 各Ⅲ4スa-l E-1-3) ①⑤ E-1-4) ①⑥ E-6) ①③
麻酔 3	阿部佳子	全身麻酔	全身麻酔Ⅰ	吸入麻酔 静脈麻酔 筋弛緩薬	①吸入麻酔・薬を説明する ②静脈麻酔・薬を説明する ③筋弛緩薬を説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必12カb 総Ⅷ4ウb E-1-4)-(4) ①③
麻酔 4	阿部佳子	全身麻酔	全身麻酔Ⅱ	全身麻酔に用いる器具 生体監視モニタ 全身麻酔困難症例	①全身麻酔に用いる器具を説明する ②生体監視モニタの基本を説明する ③全身麻酔が困難な症例について説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必12カb 総Ⅷ4ウb E-1-4)-(4) ①③
麻酔 5	阿部佳子	精神鎮静法	精神鎮静法	概念 適応と禁忌 亜酸化窒素吸入鎮静法 静脈内鎮静法	①精神鎮静法の概念を説明する ②精神鎮静法の適応と禁忌を説明する ③亜酸化窒素吸入鎮静法を説明する ④静脈内鎮静法を説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必12カc 総Ⅷ4ウd E-1-4)-(2) ①④
麻酔 6	阿部佳子	局所麻酔	局所麻酔	局所麻酔の目的と作用機序 各種局所麻酔薬 血管収縮薬 局所麻酔法 局所的偶発症	①局所麻酔の目的と作用機序を説明する ②局所麻酔薬の種類を挙げその特徴を説明する ③血管収縮薬を添加する目的を説明する ④局所麻酔法の種類と実施法を説明する ⑤局所麻酔に伴う局所的偶発症を説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必12カa 総Ⅷ4ウa E-1-4)-(3) ①⑤

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
麻酔 7	阿部佳子	心電図	心電図 I	心電図の基礎 モニター心電 図 12誘導心電図	①心電図の基礎・誘導を説明できる ②モニター心電図が読影できる ③12誘導心電図を説明できる	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必10工a 総VI 4アb C-3-4)-(4) ① E-1-3) ①③⑤
麻酔 8	阿部佳子	全身的偶発症	全身的偶発症 I	歯科治療でみられる全身的偶発症	①全身的偶発症の種類・発症機序・処置を説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必8ア 総IV 1アウ 各III 4ソ C-5-4) ⑥ E-1-4- (1) ①-⑥
麻酔 9	矢島愛美	救命救急	救命救急	一次救命処置(BLS) 二次救命処置(ACLS)	①救急処置の基本を説明する。 ②BLSの手順を説明する。 ③BLSの有用性を説明する。 ④ACLSの有用性を説明する。	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必11アイ 総VII 3ア-ウ E-1-6) ①-③
麻酔 10	矢島愛美	ペインクリニック	ペインクリニック	顎顔面領域の疼痛性疾患 顎顔面領域の麻痺性疾患	①顎顔面領域の疼痛性疾患の種類、病態と診断、その処置について説明する ②顎顔面領域の麻痺性疾患の種類、病態と診断、その処置について説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 総III 1ケa-d 各III 3イa-j E-2-4)-(9) ①-④
麻酔 11	阿部佳子	全身麻酔	全身麻酔III	麻酔計画 全身麻酔に必要な器具	①症例に応じた麻酔計画をたてる ②症例に応じた麻酔器具を説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必12カb 総VIII 4ウb E-1-4)-(4) ①-③
麻酔 12	阿部佳子	心電図	心電図 II	心電図不整脈 読影	①モニター心電図の不整脈を読影し、対応を説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必10ウエ 総VI 4アb C-3-4)-(4) ① E-1-3) ①③⑤
麻酔 13	阿部佳子	全身的偶発症	全身的偶発症 II	歯科治療でみられる全身的偶発症	①実際の偶発症の診断・処置を説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必8ア 総IV 1アウ 各III 4ソ C-5-4) ⑥ E-1-4- (1) ①-⑥

指導教員：阿部佳子、矢島愛美

参考書：歯科麻酔学第8版（医歯薬出版株式会社）・歯科麻酔・生体管理学第2版（株式会社学建書院）
ISBN：978-4-263-45829-7・978-4-7624-1679-8

総合歯科医学Ⅵ（口腔顎顔面放射線画像診断学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
放射線 1	五十嵐千浪	総Ⅵ 2画像検査 必10検査・臨床判断の基本	ア X線画像の原理 工 X線単純撮影力 画像検査	a 電離放射線 a 放射線の性質と作用 b X線撮影装置	・電離放射線が分類できる ・X線の性質が説明できる ・X線の発生が説明できる	テキストの問題を予習、マナバ等での復習。 E-1-2) ①⑤
放射線 2	五十嵐千浪	総Ⅵ 2画像検査 必10検査・臨床判断の基本	ア X線画像の原理 工 X線単純撮影力 画像検査	a コントラストと分解能	・X線画像形成の原理を説明できる ・画質への影響を説明できる	テキストの問題を予習、マナバ等での復習。 E-1-2) ④
放射線 3	五十嵐千浪	総Ⅵ 2画像検査 必10検査・臨床判断の基本	イ 画像検査における医療情報 工 X線単純撮影力 画像検査	a 医療画像システム b 口内法X線検査 b 検出器、撮影補助器材	・デジタルシステムについて説明できる ・口内法X線検査が分類できる	テキストの問題を予習、マナバ等での復習。 E-1-2) ⑤
放射線 4	五十嵐千浪	総Ⅵ 2画像検査 必10検査・臨床判断の基本	工 X線単純撮影力 オ CT 力 画像検査	c パノラマX線検査	・パノラマ撮影の原理が説明できる ・口外法の適応が説明できる	テキストの問題を予習、マナバ等での復習。 E-1-2) ⑤⑥⑦⑧
放射線 5	五十嵐千浪	総Ⅵ 2画像検査 必10検査・臨床判断の基本	オ CT ケ 画像検査の安全管理 力 画像検査	a 原理、特徴、適応 b 造影剤の副作用 e CT（単純、造影）	・CT及びCBCTについて説明できる ・造影検査について説明できる	テキストの問題を予習、マナバ等での復習。 E-1-2) ⑨
放射線 6	五十嵐千浪	総Ⅵ 2画像検査 必10検査・臨床判断の基本	カ MRI キ シンチグラフィ ク 超音波検査	a 原理、特徴、適応 b 造影剤の副作用 a 原理、種類、適応 a 原理、特徴、適応	・造影剤の副作用を説明できる ・MRIについて説明できる ・核医学検査について説明できる ・超音波検査について説明できる	テキストの問題を予習、マナバ等での復習。 E-1-2) ⑨
放射線 7	五十嵐千浪	総Ⅵ 2画像検査	ウ 医療放射線被曝の防護と管理	a 正当化、最適化、線量限度 b 患者と医療従事者の縫線防護	・放射線防護の定義、分類を説明できる ・放射線防護を説明できる	テキストの問題を予習、マナバ等での復習。 E-1-2) ②③
放射線 8	五十嵐千浪	総Ⅶ 7放射線治療各Ⅲ 1主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療	ア 放射線治療の生物学的・物理学的基礎 イ 口腔領域の放射線治療 ウ 放射線治療患者の有害反応と口腔管理 力 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断・治療	a 放射線感受性、生物学的効果、治療の意義と目的 b 種類、適応、特徴 a 有害反応の種類と特徴 b 有害反応に対する口腔管理 c 放射線療法	・放射線治療の種類と適応を分類、説明できる	テキストの問題を予習、マナバ等での復習。 E-1-2) ① E-2-4)-(6) ③
放射線 9	五十嵐千浪	各Ⅲ 2主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療	オ 顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・珍談・治療	a 歯源性嚢胞 b 非歯源性嚢胞	・難組織内の嚢胞性疾患の画像診断ができる ・顎骨内の嚢胞性疾患の画像診断ができる	テキストの問題を予習、マナバ等での復習。 E-1-2) ⑨ E-2-4)-(5) ①②

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
放射線 10	五十嵐千浪	各Ⅲ 2主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療	力 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患	a 歯原性良性腫瘍 b 歯原性悪性腫瘍 c 非歯原性良性腫瘍 e 骨関連病変 f 線維性骨病変	・顎骨内の腫瘍の画像診断ができる	テキストの問題を予習、マナバ等での復習。 E-1-2)-⑨ E-2-4)-(6) ①②
放射線 11	五十嵐千浪	各Ⅲ 1主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 2主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療	オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 力 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患	d 舌癌 g 歯肉癌 i 上顎洞癌	・軟組織内の悪性腫瘍の画像診断ができる ・顎骨内の悪性腫瘍の画像診断ができる ・リンパ節転移の画像診断ができる ・上顎洞疾患の画像診断ができる	テキストの問題を予習、マナバ等での復習。 E-1-2)-⑨ E-2-4)-(6) ①②
放射線 12	五十嵐千浪	各Ⅲ 1主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 2主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療	工 軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍及び腫瘍類似疾患 工 歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療 ア 唾液腺疾患の病態・診断・治療	b 非歯原性嚢胞 b 非歯原性良性腫瘍 c 顎骨髄炎 d 歯性上顎洞炎 e 放射線性骨壊死 f 薬剤関連顎骨壊死 h 顎骨周囲軟組織の炎症 d 唾液腺炎 e Sjogren症候群 f 粘液嚢胞 g 良性腫瘍 k 唾石症	・骨髄炎、蜂窩織炎の画像診断ができる ・軟組織内に発生する嚢胞、腫瘍性病変の画像診断ができる ・唾液腺疾患の画像診断ができる	テキストの問題を予習、マナバ等での復習。 E-1-2)-⑨ E-2-4)-(3) ③ E-2-4)-(5) ①② E-2-4)-(6) ①② E-2-4)-(8) ②③ ④⑦
放射線 13	五十嵐千浪	各Ⅲ 2主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 3主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療	ウ 顎骨の損傷の病態・診断・治療 ウ 顎関節・咀嚼筋疾患の病態・診断・治療	b 歯槽骨骨折 c 下顎骨骨折 d 上顎骨骨折 e 頬骨・頬骨弓骨折 d 顎関節脱臼 i 腫瘍及び腫瘍類似疾患 j 顎関節強直症 k 顎関節症 e Gardner症候群 g McCune-Albright症候群 o 基底細胞母斑症候群 r 鎖骨頭蓋異形成症 t 大理石骨病	・外傷の画像診断ができる ・顎関節疾患の画像診断ができる ・遺伝性疾患を画像診断ができる	テキストの問題を予習、マナバ等での復習。 E-1-2)-⑨ E-2-4)-(2) ①③ ④ E-2-4)-(7) ①② E-2-4)-(10) ⑥

指導教員：五十嵐千浪、小林 馨

参考書：歯科放射線学 解説と例題で分かる歯科放射線テキスト
ISBN：978-4-263-45812-9 C3047 978-4-8160-1384-3

総合歯科医学Ⅵ（歯科矯正学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
矯正 1	関谷利子	口腔・顎顔面の発生・成長発育	頭頸部の形成 頭部の成長発育 発育区分における成長・発達の評価	顎顔面頭蓋 年齢による成長評価法（暦年齢、生理的年齢） 歯列・咬合	①顎顔面頭蓋の成長発育のメカニズムを理解する。 ②歯・歯列弓の成長発育、咬合の推移を説明できる。	教科書を事前に読み、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 C-3-2) ①③④、 C-3-4)-(2) ④、E-2-1) ②、 E-2-3) ①②、E-3-1) ① 必6ウa,b、総Ⅱ8イb、 総Ⅱ9アb、総Ⅱ9ウa、 総Ⅱ9エa,c
矯正 2	関谷利子	口腔機能の発達 正常咬合・不正咬合	嚥下機能の発達 正常咬合の定義 不正咬合の病因・病態	乳児型嚥下と成熟型嚥下 正常咬合の条件・考え方 不正咬合の分類 個々の歯の異常 歯列弓形態異常 上下顎関係異常 Angle分類	①嚥下の発達と障害を説明できる。 ②正常咬合の概念を説明できる。 ③正常咬合の成立と保持条件を列挙する。 ④不正咬合による障害を列挙する。 ⑤Angle分類を説明できる。	教科書を事前に読み、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 E-2-1) ③⑥、E-2-2) ④、 E-4-1) ②③ 必7イd,e、必8イe、 必9カa,b,c、総Ⅱ8ウa、 総Ⅳ2ウ、各Ⅰ6ア～ウ、オ
矯正 3	関谷利子	不正咬合の原因 1	先天的原因 全身的・局所的 原因 先天異常 歯の異常 軟組織異常	口唇裂・口蓋裂 Beckwith-Wiedemann症候群 Marfan症候群 先天性外胚葉形成不全 Apert症候群 Crouzon症候群 Robinシークエンス Treacher Collins症候群 鎖骨頭蓋骨異形成症 第一第二鰓弓症候群 軟骨無形成症 Down症候群 Turner症候群 過剰歯、先天欠如、癒合歯、癒着歯、双生歯、巨舌症、小舌症	①遺伝的・環境的原因、全身的・局所的原因、先天的・後天的原因について説明できる。 ②各先天異常が引き起こす顎骨の不正について理解する。 ③歯数の異常、歯の形態異常、軟組織の形態異常が引き起こす不正咬合について理解する。	教科書を事前に読み、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 E-2-3) ③、 E-2-4)-(1) ①②、 E-3-1) ③、 E-4-1) ③ 必7アb、必7イd,e,g、 必8イe、総Ⅱ9アb、 各Ⅰ1アb、各Ⅰ1イa,b,g、 各Ⅰ1ウa～g、 各Ⅰ1エa,b、各Ⅰ2アa,b、 各Ⅰ2イa、各Ⅰ3イh、 各Ⅰ6エ、各Ⅲ1アa、 各Ⅲ4アa～d,f,k,m,r,s
矯正 4	関谷利子	不正咬合の原因 2 矯正治療に伴う生体反応	後天的原因 全身的・局所的 原因 口腔習癖 矯正治療に伴う全身反応・局所反応	弄指癖、弄唇癖、弄舌癖、異常嚥下癖、口呼吸 歯根膜反応 歯槽骨の変化	①後天的原因、全身的・局所的原因について説明できる。 ②口腔習癖と不正咬合について理解する。 ③歯の移動のメカニズムと歯周組織の反応について説明できる。	教科書を事前に読み、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 E-2-3) ③、E-2-4)-(1) ④、 E-3-1) ③、E-4-1) ③⑥、 E-4-2) ⑫ 必7イd,e、必8イe、 総Ⅳ2ウ、各Ⅰ5エ、 各Ⅰ6エ、各Ⅰ8ア～ウ、 各Ⅲ4カa

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
矯正 5	及川 崇	不正咬合の診断・矯正歯科治療における抜歯	診察検査 診断 治療計画	顔面所見 口腔内所見 模型分析 頭部エックス線規格 写真分析 抜歯の目的・適応症・決定法 連続抜去法 抜歯の長所と短所 Tweed三角	①不正咬合の診査に必要な項目を知り、理解する。 ②模型分析の項目とその意味を理解する。 ③頭部エックス線規格写真の分析結果から症例の特徴を把握する。 ④矯正治療における抜歯の意義、部位を具体的に説明できる。 ⑤治療目標に基づいた治療の順序、処置・術式の決定、矯正装置の選択、治療計画が立てられる。	教科書を事前に読み、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 E-1-1) ①③⑥～⑧、 E-1-2) ⑥～⑧、 E-1-3) ①②、 E-4-1) ③ 必9イa、必9オa,e、 必9カa～c、総VIIアe、 各I7ア～エ
矯正 6	及川 崇	矯正力・固定	狭義の矯正力 顎整形力 固定の定義・種類	作用様式による矯正力の分類 歯の移動様式 部位による固定の種類 抵抗の性質による固定の分類 抜歯空隙利用のための固定の分類（歯科矯正用アンカースクリューを含む）	①矯正力の分類を説明できる。 ②歯の移動様式を説明できる。 ③固定の分類を説明できる。	教科書を事前に読み、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 D-2(4)、E-4-1) ②③⑤⑥ 必12セi、総VIII0ア～オ、 各I8ア～エ
矯正 7	及川 崇	矯正装置1	唇舌側弧線装置 顎外固定装置 マルチブラケット装置 拡大装置	リンガルアーチ トランスパラルアーチ Nanceのホールディングアーチ タンククリブ ヘッドギア チンキャップ 上顎前方牽引装置 急速拡大装置 クワドヘリックス	①矯正装置の構造、作用、適応症について説明できる。	教科書を事前に読み、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 D-2(4)、E-4-1) ③～⑤ 必12ケf、必12セi、 総VII2アe、総VIII0ア～オ、 各I9アa～d、 各I9イa～c、各I9ウ、 各I9工ab
矯正 8	及川 崇	矯正装置2・歯科矯正材料・器械・器具	機能的矯正装置 床矯正装置 線材料 バンド ブラケット チューブ エラストック コイルスプリング 接着用材料	アクチバートル バイオネーター Fränkel装置 リップバンパー 咬合挙上板 咬合斜面板 スライディングプレート ステンレス鋼 コバルトクロム ニッケルチタン チタンモリブテン	①矯正装置の構造、作用、適応症について説明できる。 ②矯正治療に必要な器具・器材について説明できる。	教科書を事前に読み、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 D-2(4)、E-4-1) ③～⑤ 必12ケf、必12セi、 総VII2アe、総VIII0ア～オ、 各I9オa～d、 各I9カa～c、 各I9キa～d
矯正 9	及川 崇	不正咬合の治療1	不正咬合の予防 乳歯列期・混合歯列期の不正咬合の治療 永久歯列期の不正咬合の治療	予防矯正 抑制矯正 限局矯正 本格矯正 エッジワイズ法	①混合歯列期での顎整形力を用いた治療法について理解する。 ②永久歯列期での各種不正咬合の治療法について理解する。	教科書を事前に読み、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 B-3-2) ①、D-2(4)、 E-4-1) ①～⑤、 E-4-2) ⑧⑨⑩ 必12ケf、必12セi、 総VII2アe、総VIII0ア～オ、 各I5ウ、各I10ア～ウ
矯正 10	関谷利子	不正咬合の治療2	先天性疾患を伴う不正咬合の治療 顎変形症の治療 補綴・歯周治療との併用 治療中の管理 保定 偶発症	口蓋裂の治療 外科的矯正治療 保定装置－Hawley タイプリテーナー Beggタイプリテーナー トゥースポジションナー 犬歯間保定装置 矯正治療に伴う偶発症	①矯正学と隣接歯学との関連を知る。 ②矯正治療の治療目標と適用範囲を考える。 ③保定の意義と装置を説明できる。 ④矯正治療中の口腔管理と偶発症を説明できる。	教科書を事前に読み、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 B-3-2) ①③、D-2(4)、 E-2-4)-(1) ②③、 E-4-1) ③～⑤⑦ 必12ケf、必12セi、 総VII2アe、総VIII0ア～オ、 各I10工～ケ、各III1アa、 各III2アa、各III2イa

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
矯正 11	関谷利子	必修・総論のまとめ	口腔・顎顔面の成長発育 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 口腔・顎顔面領域の症候 歯列・咬合状態の診察 歯・歯周組織に対する基本的処置 歯科材料・機器 口腔検査	歯・歯列の発育 上顎骨・下顎骨の成長発育の特徴 不正咬合、咀嚼障害、歯列・咬合の症候、歯列弓の形態・大きさ、前歯部の被蓋・咬合関係、臼歯部の咬合状態 不正咬合の治療 歯科矯正用材料 成長評価法 咀嚼・嚥下機能 顎顔面の形成 頭蓋・歯列・咬合 歯列・咬合の検査 先天異常・遺伝子疾患	①歯科矯正学における基本的事項を理解し説明できる。 ②人体の発生・成長・発育、主要な疾患と障害の病因・病態、主要な兆候、診察・検査・治療の基本について理解できる。	教科書を事前に読み、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 C-3-2) ①③④、 C-3-4)-(2) ④、 E-1-1) ①③⑥～⑧、 E-1-2) ⑥～⑧、 E-1-3) ①②、 E-2-1) ②③⑥、 E-2-3) ①～③、 E-3-1) ①③、E-2-2) ④、 E-2-4)-(1) ①②④、 E-4-1) ②③⑥、E-4-2) ⑫ 必6ウa,b、必7イd,e,g、 必8イe、必9カa～c、 必12ケf、必12セi、 総Ⅱ8イb、総Ⅱ8ウa、 総Ⅱ9アb、総Ⅱ9ウa、 総Ⅱ9イa,c、総Ⅳ2ウ、 総Ⅵ1ア、総Ⅶ2アe、 総Ⅷ10ア～オ、各Ⅰ1アb、 各Ⅰ1イa,b,g、 各Ⅰ1ウa～f、各Ⅰ1イa,b、 各Ⅰ2アa,b、各Ⅰ2イa、 各Ⅰ3イh、各Ⅰ6ア～オ、 各Ⅰ7ア、イ、各Ⅲ1アa、 各Ⅲ4アa～d,f,k,m,r,s、 各Ⅲ4カa
矯正 12	関谷利子	一般問題まとめ	正常咬合 不正咬合の種類・分類・原因・障害 不正咬合の診察・検査・診断 矯正力と生体反応 固定 矯正装置 不正咬合の治療	リンガルアーチ トランスパラルアーチ Nanceのホールディングアーチ タンククリブ ヘッドギア チンキャップ 上顎前方牽引装置 急速拡大装置 アクチバートル バイオネーター Fränkel装置 リップバンパー 咬合挙上板 咬合斜面板 スライディングプレート	①不正咬合の病因・病態を説明できる。 ②不正咬合の診断を理解する。 ③矯正力と固定を理解する。 ④矯正装置の構造、作用、適応症を説明できる。	教科書を事前に読み、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 B-3-2) ①、D-2④、 E-2-4)-(1) ②③、 E-4-1) ①～⑦、 E-4-2) ⑧⑨⑫ 各Ⅰ5ウ工、各Ⅰ6ア～オ、 各Ⅰ7ア～エ、 各Ⅰ8ア～工、 各Ⅰ9アa～d、 各Ⅰ9イa～c、各Ⅰ9ウ、 各Ⅰ9イa,b、各Ⅰ9オa～d、 各Ⅰ9カa～c、 各Ⅰ9キa～c、 各Ⅰ10ア～ケ、各Ⅲ1アa、 各Ⅲ2アa、各Ⅲ2イa
矯正 13	及川 崇	臨床実施問題まとめ	乳歯列期・混合歯列期の不正咬合の治療 永久歯列期の不正咬合の治療 先天性疾患を伴う不正咬合の治療 顎変形症の治療 補綴・歯周治療との併用 保定	予防矯正 抑制矯正 限局矯正 本格矯正 エッジワイズ法 抜歯の目的・適応症・決定法	①混合歯列期での各種不正咬合の診断・治療目標・治療計画・治療法について理解する。 ②永久歯列期の各種不正咬合の診断・治療目標・治療計画・治療法や抜歯部位について理解する。	教科書を事前に読み、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 B-3-2) ①、D-2④、 E-2-4)-(1) ②③、E-4-1) ①～⑦、E-4-2) ⑧⑨⑫、 各Ⅰ5ウ工、各Ⅰ6ア～オ、 各Ⅰ7ア～エ、 各Ⅰ8ア～工、 各Ⅰ9アa～d、 各Ⅰ9イa～c、各Ⅰ9ウ、 各Ⅰ9イa,b、各Ⅰ9オa～d、 各Ⅰ9カa～c、 各Ⅰ9キa～c、 各Ⅰ10ア～ケ、各Ⅲ1アa、 各Ⅲ2アa、各Ⅲ2イa

指導教員：及川 崇、関谷利子

参考書：「歯科矯正学」 飯田順一郎 他 医歯薬出版 2019年 第6版

ISBN：978-4-263-45832-7

「歯科国試パーフェクトマスター歯科矯正学」 清水典佳 医歯薬出版 2016年 第1版

ISBN：978-4-263-45798-6

総合歯科医学Ⅵ (小児歯科学)

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
小児 1	守安克也	1 小児の成長発育	1 A 身体の発育 1 B 身体発育の特徴	1 Aa 小児期の分類 1 Ba 生理的年齢 1 Bb 出生時および出生後の発育 1 Bc 各器官の発育	1 Aa ①小児期の分類を列挙する。 1 Ba ①生理的年齢を説明する。 1 Bb ①小児の身体発育を説明する。 1 Bc ①各器官の発育の特徴を説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 C-3-2) ①,③,④ E-2-3) ②,③ 必 6 イ a,b,c,d 必 6 ウ b 総Ⅱ 8 ア a,b 総Ⅱ 8 イ a,b,c 総Ⅱ 8 ウ a 総Ⅱ 9 イ d 総Ⅱ 9 エ a
		1 C 小児の発達の特徴 1 D 小児の生理的特徴 1 E 口腔機能の発達	1 Ca 運動機能の発達 1 Cb 言語の発達 1 Cc 情動の発達 1 Da 原始反射 1 Db 生理的特徴	1 Ca ①小児の運動機能の発達について説明する。 1 Cb ①小児の言語の発達過程を説明する。 1 Cc ①小児の精神的発達の特徴を説明する。 1 Da ①代表的な原始反射について説明する。 1 Db ①小児の生理的特徴を説明する。		
小児 2	守安克也	2 頭蓋顎顔面の発育	2 A 頭蓋顎顔面の発育	2 Aa 脳頭蓋の発育 2 Ab 顎・顔面の発育	2 A ①脳頭蓋顎顔面の発育の特徴を説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて、理解度を確認して復習すること。 E-3-1) ③ 必 6 ウ b 総Ⅱ 5 ア b 総Ⅱ 9 エ b
		1 歯の発育と異常 2 歯列・咬合の発育と異常	1 A 歯の発育 1 B 歯の萌出 2 A 歯列・咬合の発育	1 Aa 歯の形成 1 Ba 歯の発育段階 1 Bb 歯の萌出 1 Bc 吸収と脱落 2 Aa 無歯期 2 Ab 乳歯列期 2 Ac 第一大臼歯・切歯萌出期 2 Ad 側方歯萌出期 2 Ae 第二大臼歯萌出開始期 2 Af 乳歯列期から永久歯列期への咬合変化	1 Aa ①正常な歯の形成過程を説明する。 1 Bb ①正常な歯の萌出時期を述べる。 1 Bc ①歯の吸収と脱落のメカニズムを説明する。 2 A ①正常な歯列・咬合の発育過程を説明する。 2 A ②咬合発育段階とその特徴について述べる。	
小児 3	守安克也	1 歯の発育と異常	1 A 歯の発育と異常	1 Aa 歯の形成障害 1 Ab 歯数の異常 1 Ac 構造の異常 1 Ad 形態の異常 1 Ae 色調の異常 1 Af 萌出時期の異常 1 Ag 萌出量の異常 1 Ah 萌出方向の異常	1 Aa ①歯の形成障害の原因について説明する。 1 Ab ①歯数の異常に関連する疾患を列挙し、その特徴を説明する。 1 Ac ①構造の異常を伴う疾患を列挙し、その特徴を説明する。 1 Ad ①形態異常を列挙し、その特徴を説明する。 1 Ae ①色調の異常の原因を説明する。 1 Af ①萌出時期の異常の原因とその対応法を説明する。 1 Ag ①萌出量の異常の原因とその対応を説明する。 1 Ah ①萌出方向の異常の原因とその対応を説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 E-3-1) ① 各 I 2 イ a,b,c,d,e,f,g,h,l 各 I 2 ア a,b 各 I 2 イ a,b,c,d,e,f,g,h,l 各 I 2 ウ a,b,c 各 I 3 ア a,b,c,d,e,f

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
小児 4	守安克也	1 齲蝕と予防	1 A小児の齲蝕の特徴 1 B口腔環境と齲蝕	1 Aa乳歯齲蝕の疫学 1 Ab乳歯齲蝕の特徴 1 Ba幼若永久歯の齲蝕の特徴	1 Aa①乳歯齲蝕の疫学について説明する。 1 Ab①乳歯齲蝕の特徴について説明する。 1 Ba①幼若永久歯の齲蝕の特徴について説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 E-4-2) ①,② 各Ⅱ 1 Ia,b,c,d
小児 5	守安克也	1 齲蝕と予防	1 A齲蝕の予防	1 Aa齲蝕の要因 1 Ab齲蝕予防の重要性 1 Ac齲蝕の予防法	1 Aa①齲蝕の要因について説明する。 1 Ab①小児の齲蝕予防の重要性を説明する。 1 Ba①小児の齲蝕の予防法を述べる。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 E-4-2) ①,② 各Ⅱ 1 イa,b,c,d,e,f,g
小児 6	守安克也	1 小児の臨床における対応	1 A臨床における対応法	1 Aa一般的対応法 1 Ab心理学的対応 1 Ac特殊な対応法	1 A①小児の一般的対応法を列挙し説明する。 1 Ab①行動療法による対応法を列挙し説明する。 1 Ac①特殊な対応法を列挙し説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 E-4-2) ⑩ 必12イa,b,c,d 総V 2ア 総V 2イ 総V 2ウ 総V 2エ
小児 7	守安克也	1 齲蝕治療	1 A乳歯の歯冠修復 1 B幼若永久歯の歯冠修復	1 Aa乳歯齲蝕の診察・診断 1 Ab成形充填 1 Ac全部被覆冠 1 Ba幼若永久歯の歯冠修復法	1 A①乳歯の歯冠修復の適応と術式を述べる。 1 B①幼若永久歯の歯冠修復の適応と術式を述べる。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 E-4-2) ③ 総Ⅶ 1ウa 各Ⅱ 1ウa
小児 8	守安克也	1 齲蝕治療	1 A乳歯および幼若永久歯の歯内療法	1 Aa診察・診断 1 Ab歯髄炎の臨床的分類 1 Ac歯髄炎の処置 1 Ad根尖性歯周炎の臨床的分類 1 Ae根尖性歯周炎の処置	1 A①乳歯の歯髄疾患の特徴と処置を説明する。 1 A②乳歯の歯内療法の術式を説明する。 1 A③幼若永久歯の歯髄疾患の特徴と処置を説明する。 1 A④幼若永久歯の歯内療法の術式を説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 E-4-2) ④,⑤ 各Ⅱ 2イf 各Ⅱ 2ウa,b,c,d

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
小児 9	守安克也	1 外科的処置	1 A 抜歯 1 B 薬物療法	1 Aa 抜歯 1 Ba 小児の薬用量 1 Bb 前投薬	1 Aa①小児の抜歯の適応症を列挙し、術式を説明する。 1 B①小児の薬用量を説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 E-4-2) ⑦ 総Ⅵ 4 Af 各 1 3 ア a,b,c,d,e,f
小児 10	守安克也	1 歯の外傷と処置	1 A 歯の外傷 1 B 歯の外傷の処置 1 C その他の外傷	1 Aa 診察・検査・診断 1 Ba 破折・脱臼 1 Bb 受傷歯の固定 1 Bc 再植法 1 Ca スポーツ外傷 1 Cb 児童虐待による外傷	1 A①乳歯の外傷の臨床的特徴を説明する。 1 A②幼若永久歯の外傷の臨床的特徴を説明する。 1 B①小児の歯の外傷の処置法を列挙し説明する。 1 Ca①スポーツ外傷の臨床的特徴を説明する。 1 Cb①虐待による外傷の特徴について説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 E-4-2) ⑦ 総Ⅰ 2 Ag 各Ⅰ 4 ア a,b,c 各Ⅰ 4 イ 各Ⅰ 2 ウ 各Ⅰ 2 エ a,b 各Ⅱ 2 イ
小児 11	守安克也	1 咬合誘導	1 A 咬合誘導法	1 Aa 咬合誘導の目的と分類 1 Ab 歯列・咬合の正常発育を阻害する因子	1 Aa①咬合誘導の目的と分類を説明する。 1 Ab①歯列・咬合の正常発育を阻害する因子を説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 E-4-2) ⑧ 各Ⅰ 3 ア a,b,c,d,e,f 各Ⅰ 5 ア
小児 12	守安克也	1 咬合誘導	1 A 咬合誘導法	1 Aa 静的（受動的）咬合誘導	1 Aa①静的（受動的）咬合誘導の意義と目的を説明する。 1 Aa②静的（受動的）咬合誘導の種類を列挙し説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 E-4-2) ⑨ 各Ⅰ 5 イ a,b,c
小児 13	守安克也	1 咬合誘導	1 A 咬合誘導法	1 Aa 動的（能動的）咬合誘導 1 Ab 口腔習癖と処置	1 Aa①動的（能動的）咬合誘導の意義と目的を説明する。 1 Aa②動的（能動的）咬合誘導の種類を列挙し説明する。 1 Ab①口腔習癖の種類と歯科的問題について説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 E-4-2) ⑩ 各Ⅰ 5 ウ 各Ⅰ 5 エ

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
小児 14	守安克也	1 歯周疾患 2 顎・口腔軟組織疾患	1 A歯周疾患の種類および特徴と処置 1 B歯周疾患の予防 2 A口腔軟組織の疾患 2 B顎関節症	1 Aa正常な歯周組織の構造 1 Ab歯肉炎・歯周炎 1 Ba歯周組織および歯周疾患の評価 1 Bbブラークコントロール 2 Aa口腔軟組織疾患 2 Ba顎関節症	1 Aa①小児の歯周組織の特徴を説明する。 1 Ab①小児の歯周疾患を列挙し説明する。 1 Ba①小児の歯周疾患の評価法を説明する。 1 Bb①小児の歯周疾患の予防法を説明する。 2 Aa①小児の口腔軟組織疾患を列挙し臨床的特徴を説明する 2 Ba①小児の顎関節症の臨床的特徴を説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 E-4-2) ⑥,⑦ E-2-4)-(7) ② 各Ⅱ 2ウa,b,c,d
小児 15	守安克也	1 治療時に留意すべき小児疾患	1 A先天異常 2 B染色体異常 3 C感染症 4 D骨代謝異常 5 E内分泌異常		1 ①臨床に注意すべき全身疾患を列挙し、説明する。 1 ②遺伝性疾患と口腔疾患との関連性について説明する。 1 ③全身疾患に伴う硬組織異常を列挙し説明する。 1 ④全身疾患に伴う軟組織異常を列挙し説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 E-2-4)-(1) ①,②,③,④ 総Ⅶ 1エ 各Ⅰ 1イ a,b,c,d,e,f,g,h,l,j 各Ⅰ 1ウa,b,c,d,e,f,g 各Ⅰ 1エa,b
小児 16	守安克也	1 障害児の歯科診療	1 A主な障害の概要 1 B障害児の歯科的問題 1 C歯科的対応		1 A①障害児を分類し、その特徴を説明する。 1 C①障害児の口腔の特徴と歯科的問題を説明する。 1 C①障害児への歯科的対応を説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 E-5-2) ①,②,③ 必12-イa,b,c,d 総Ⅴ 2オa,b,c 総Ⅴ 3ア 総Ⅴ 3イa,b,c 総Ⅴ 3ウ 総Ⅴ 3エ 総Ⅴ 3オ 各Ⅴ 7ア 各Ⅴ 7イa,b,c 各Ⅴ 7ウ

指導教員：守安克也

参考書：小児の口腔科学 第5版
ISBN：978-4-7624-4646-7

総合歯科医学Ⅵ（高齢者歯科学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
高齢者 1	菅 武雄	0. 国家試験受験に向けてのオリエンテーション 1. 社会的状況 2. チーム医療	0) 歯科医師国家試験既出問題の分析 1) 超高齢社会を理解するための基本統計の傾向と特徴	a. 高齢化率 b. 死亡原因 c. チーム医療を構成する職種	①歯科医師国家試験における高齢者歯科学分野の範囲を俯瞰し、学習する項目を把握する。 ②本邦の超高齢社会の現実を説明する。 A-5-1)-①②③：必3 アabc、必3 イabc B-2-2)-④：必2 アag B-4-2)-②：総I 2オa	【予習】 1. 4年次の高齢者歯科学総論の復習。 【復習】 1. 高齢化率の定義、 2. 現在の高齢化率、 3. 関連職種の法律上の位置付け
高齢者 2	赤松那保	1. 高齢者に関わる制度論	1) 超高齢社会を理解するための基本統計の傾向と特徴	a. 医療保険 b. 介護保険 c. 地域包括ケアシステム	①本邦の超高齢社会における制度を説明する。 A-7-1)-③：総I 1オabc、総V 5イf	【予習】 1. 日本の社会保障制度の概略を復習しておく。 【復習】 1. 医療保険と介護保険の関係を説明できるようにする。 2. 地域包括ケアシステムの5つの要素、在宅医療に求められる4つの機能。
高齢者 3	赤松那保	1. ADL（特にFIM） 2. 栄養評価 3. 高齢者の虐待	1) FIM 2) 各種栄養評価方法 3) サルコペニア・フレイル 4) 虐待の徴候と対応	a. FIMの項目 b. SGA c. MNA d. その他の栄養評価方法 e. サルコペニア診断基準 f. フレイルの概念 g. 虐待の徴候と対応	①ADL評価方法としてのFIM項目を列挙する。 ②各種栄養評価方法を説明する。 ③フレイル、サルコペニアの概念を評価方法を説明する。 ④高齢者の虐待について説明する。 B-1-③：総V 5ウa E-1-4)-(1)-⑥：総I 2オc、各V 1オ、各V 3アe E-5-1)-①②：各V 3アe E-5-1)-⑩：(出題基準該当なし)	【予習】 1. ADLについて。 【復習】 1. FIM項目は絶対暗記項目。 2. 各種栄養評価方法。
高齢者 4	鈴木典子	1. 加齢に伴う変化 2. コモンディーズ1	1) 加齢に伴う各臓器の変化 2) 高齢者によく診られる基礎疾患 3) 歯科診療に配慮が必要な基礎疾患	a. 加齢に伴う循環器、呼吸器、消化器などの変化 b. 老年症候群	①加齢に伴う変化を説明する。 ②高齢者によくみられる基礎疾患を説明する。 A-6-1)-③④：必6 Iabc C-3-3)-①②③：総II 8 Iab E-1-4)-(1)-⑥：必6 Iabc、総I 2オb E-2-3)-④：総II 8 Iab、各V 2アイ E-5-1)-①②：必6 Iabc、総I 2オb	【予習】 内科学、生理学の復習。 【復習】 加齢に伴う変化の一覧を作成する。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
高齢者 5	大房 航	摂食嚥下リハビリテーション1	1)嚥下障害とは 2)嚥下障害の原因となる疾患 3)嚥下障害の症状	a.嚥下障害の定義 b.嚥下障害を引き起こす疾患 c.嚥下障害の症状	①嚥下障害について説明する。 ②嚥下障害の原因を列挙する。 ③嚥下障害の症状を列挙する。 B-1-③,E-5-10)-⑩ 必12サa,総V5ウa, 総V5ウb,総VII9ク, 各V3アe,各V4イc, 各V6オ E-5-8)-⑧,必7イf, 必8ウi,総V5イe, 総VI1イe,総VI1イg, 各V1ウa,各V1ウc, 各V1エa,各V1エb, 各V2アb,各V3イa E-5-9)-⑨,必2アc, 必2アf,必12イb, 必12シa,総VII6ア, 総VII6イa,各V6アa, 各V6アb,各V6イ, 各V6ウ,各V6エ	【予習】 1. 4年次の高齢者歯科学の復習(プリント)。 【復習】 摂食嚥下障害を引き起こす疾患と症状の一覧をまとめておく。
高齢者 6	大房 航	摂食嚥下リハビリテーション2	1)嚥下機能スクリーニング検査	a.問診・調査票 b.RSST c.MWST d.FT e.簡易咳テスト f.頸部聴診	①嚥下障害患者の医療面接を説明する。 ②嚥下機能スクリーニング検査を列挙する。 ③嚥下機能スクリーニング検査を説明する。 B-1-③,E-5-10)-⑩ 必12サa,総V5ウa, 総V5ウb,総VII9ク, 各V3アe,各V4イc, 各V6オ E-5-8)-⑧,必7イf, 必8ウi,総V5イe, 総VI1イe,総VI1イg, 各V1ウa,各V1ウc, 各V1エa,各V1エb, 各V2アb,各V3イa E-5-9)-⑨,必2アc, 必2アf,必12イb, 必12シa,総VII6ア, 総VII6イa,各V6アa, 各V6アb,各V6イ, 各V6ウ,各V6エ	【予習】 1. 4年次の高齢者歯科学の復習(プリント)。 【復習】 各種スクリーニング検査の方法と評価方法をまとめておく。
高齢者 7	大房 航	摂食嚥下リハビリテーション3	1)2)嚥下機能精密検査	a.嚥下造影検査 b.嚥下内視鏡検査	①嚥下造影検査について説明する。 ②嚥下内視鏡検査について説明する。 B-1-③,E-5-10)-⑩ 必12サa,総V5ウa, 総V5ウb,総VII9ク, 各V3アe,各V4イc, 各V6オ E-5-8)-⑧,必7イf, 必8ウi,総V5イe, 総VI1イe,総VI1イg, 各V1ウa,各V1ウc, 各V1エa,各V1エb, 各V2アb,各V3イa E-5-9)-⑨,必2アc, 必2アf,必12イb, 必12シa,総VII6ア, 総VII6イa,各V6アa, 各V6アb,各V6イ, 各V6ウ,各V6エ	【予習】 1. 4年次の高齢者歯科学の復習(プリント)。 【復習】 VFとVEの長所短所をまとめる。正常像(解剖学的所見)を復習する。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
高齢者 8	大房 航	摂食嚥下リハビリティーション4	1)嚥下機能訓練 2)その他の対応	a.直接訓練 b.間接訓練 c.各種アプローチ	①直接訓練を列挙する。 ②間接訓練を列挙する。 ③その他各種アプローチを列挙する。 B-1-③、E-5-10)-⑩ 必12サa,総V5ウa, 総V5ウb,総VII9ク, 各V3アe,各V4イc, 各V6オ E-5-8)-⑧,必7イf, 必8ウi,総V5イe, 総VI1イe,総VI1イg, 各V1ウa,各V1ウc, 各V1エa,各V1エb, 各V2アb,各V3イa E-5-9)-⑨,必2アc, 必2アf,必12イb, 必12シa,総VII6ア, 総VII6イa,各V6アa, 各V6アb,各V6イ, 各V6ウ,各V6エ	【予習】 1. 4年次の高齢者歯科学の復習(プリント)。 【復習】 訓練方法をまとめておく。
高齢者 9	鈴木典子	1. コモンディージーズ2	1)認知症	a.認知症の原因疾患 b.認知症の種類 c.認知症の評価・検査	①認知症の原因疾患について説明する。 ②認知症の評価方法について説明する。 ③認知症の種類を列挙する。 C-3-3)-①②③:必7イp, 総V5イc、各V1イa E-1-4)-(1)-⑥: E-2-3)-④ E-5-1)-①②	【予習】 ここ数年、歯科医師国家試験に認知症関連問題が高頻度出題されている。過去問を見直しておく。 【復習】 認知症の原因疾患、症状、評価方法をまとめる。
高齢者 10	鈴木典子	口腔機能低下症	1)口腔機能低下症の診断に用いる7つの下位症状 2)口腔機能低下症の検査	a.口腔衛生状態 b.口腔乾燥 c.咬合力 d.舌口唇機能 e.舌圧 f.咀嚼機能 g.嚥下機能	①口腔機能低下症の概念を説明する。 ②口腔機能低下症の下位症状を列挙する。 ③口腔機能低下症の評価方法、検査方法を説明する。 E-5-1)-③:必2アg, 総I2オd、総II8エab, 総VI1イ、総VII6イc, 各V1オ、各V3イabcd, 各V4イb	【予習】 口腔機能について、特に生理学的な知識を復習しておく。 【復習】 口腔機能低下症の項目と検査方法をまとめておく。
高齢者 11	菅 武雄	在宅医療・在宅歯科医療	1)在宅医療 2)在宅歯科医療	a.在宅医療の対象者 b.在宅医療の内容 c.在宅歯科医療の基本的考え方	①在宅医療・在宅歯科医療について説明する。 ②在宅医療の内容を説明する。 ③在宅歯科医療の基本的考え方を説明する。 A-7-1)-④⑤:必3イabc, 必12イd、総I1イj, 総I1オabc、各8イ E-5-1)-⑥⑦:必3イb, 各8アa	【予習】 1.4年次の高齢者歯科学の復習。 【復習】 医療の場と生活の場での対応の違いをまとめておく。
高齢者 12	菅 武雄	終末期医療ターミナルケアACP	1)終末期医療 2)緩和ケア 3)ターミナルケア 4)アドバンスケアプランニング 5)人生会議	a.終末期医療 b.緩和ケアとターミナルケア c.アドバンスケアプランニングと人生会議	①終末期医療の定義を説明する。 ②緩和ケアについて説明する。 ③ACPを説明する。 A-1-1)-③:必2アa, 総I2オb、各V1カ A-1-2)-③:必6エc, 必12イc、総I2オb, 総VII1ウc C-5-7)-①:必2アg, 必6イb、総I2オb, 各V1カ	【予習】 4年時の系統講義のプリントを再読しておく。 【復習】 歯科医師としてだけでなく、患者および家族としての対応について考えておく。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
高齢者 13	鈴木典子	重点項目1 「加齢変化、 口腔機能低下症」	口腔機能低下症	a.口腔衛生状態 b.口腔乾燥 c.咬合力 d.舌口唇機能 e.舌圧 f.咀嚼機能 g.嚥下機能	①口腔機能低下症についての項目、評価方法、検査法補について詳しく説明する。 E-5-1)-③：必2アg、 総I2オd、総II8工ab、 総VI1イ、総VII6イc、 各V1オ、各V3イabcd、 各V4イb	【予習】 前回の講義をまとめておく。 【復習】 口腔機能低下症の全容を説明できるようにしておく。
高齢者 14	大房 航	重点項目2 「摂食嚥下リハビリテーション」	摂食嚥下リハビリテーション	a.嚥下障害の定義 b.嚥下障害を引き起こす疾患 c.嚥下障害の症状 a.問診・調査票 b.RSST c.MWST d.FT e.簡易咳テスト f.頸部聴診 a.嚥下造影検査 b.嚥下内視鏡検査 a.直接訓練 b.間接訓練 c.各種アプローチ	①摂食嚥下リハビリテーション全般について詳しく説明する。 B-1-③,E-5-10)-⑩ 必12サa,総V5ウa, 総V5ウb,総VII9ク, 各V3アe,各V4イc, 各V6オ E-5-8)-⑧,必7イf, 必8ウi,総V5イe, 総VI1イe,総VII1イg, 各V1ウa,各V1ウc, 各V1工a,各V1工b, 各V2アb,各V3イa E-5-9)-⑨,必2アc, 必2アf,必12イb, 必12シa,総VII6ア, 総VII6イa,各V6アa, 各V6アb,各V6イ, 各V6ウ,各V6エ	【予習】 摂食嚥下リハビリテーションのプリントを読み返す。 【復習】 歯科医師国家試験既出問題を確実に回答できるようにする。
高齢者 15	菅 武雄	重点項目3 「在宅医療、 終末期医療」	在宅医療・ 終末期医療	a.在宅医療の対象者 b.在宅医療の内容 c.在宅歯科医療の基本的考え方 d.終末期医療 e.緩和ケアとターミナルケア f.アドバンスケアプランニングと人生会議	①在宅医療・在宅歯科医療について詳しく説明する。 A-7-1)-④⑤：必3イabc、 必12イd、総I1工j、 総I1オabc、各8イ E-5-1)-⑥⑦：必3イb、 各8アa A-1-1)-③：必2アa、 総I2オb、各V1カ A-1-2)-③：必6工c、 必12イc、総I2オb、 総VII1ウc C-5-7)-①：必2アg、 必6工b、総I2オb、 各V1カ	【予習】 前回の講義の内容を振り返る。 【復習】 在宅医療、終末期医療についてまとめておく。

指導教員：菅 武雄、鈴木典子、赤松那保、大房 航

参考書：1. 老年歯科医学（医歯薬出版）

ISBN：978-4-263-45789-4

2. よくわかる高齢者歯科学（永末書店）

ISBN：978-4-8160-1339-3

3. 摂食嚥下リハビリテーション第三版（医歯薬出版）

ISBN：978-4-263-44447-4

総合歯科医学Ⅵ (法医歯学)

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
法医 1	佐藤慶太	1. 歯科医師法 1	1 A 歯科医師の任務、資格、業務	1 Aa 歯科医師免許 1 Ab 歯科医師の欠格事由 1 Ac 歯科医師の届出 1 Ad 歯科医師名の公表	1 A① 歯科医師の法的根拠を説明する。 1 A② 歯科医師の法的任務を説明する。 1 A③ 歯科医師の行政処分について説明する。	3年次「歯科法医学」、4年次「社会歯科学」の内容を各自見返しておくこと。講義後はプリント等を参照に復習すること。 B-2-1) ① 必2-イ-a
法医 2	佐藤慶太	1. 歯科医師法 2	1 A 歯科医師の任務、資格、業務	1 Aa 業務の独占 1 Ab 診療録の記載・保管 1 Ac 処方せん及び診断書の発行 1 Ad 保健指導	1 A① 歯科医業の独占及び名称使用の制限について説明する。 1 A② 歯科医師の発行文書について説明する。 1 A③ 診療録の取扱いについて説明する。	3年次「歯科法医学」、4年次「社会歯科学」の内容を各自見返しておくこと。講義後はプリント等を参照に復習すること。 B-2-1) ① 必2-イ-a
法医 3	佐藤慶太	1. 歯科医療関係職種	1 A 歯科衛生士 1 B 歯科技師 1 C 看護師 1 D 薬剤師 1 E 臨床放射線技師	1 Aa 歯科衛生士法 1 Ba 歯科技師法 1 Ca 保健師・助産師・看護師法 1 Da 薬剤師法 1 Ea 臨床放射線技師法	1 ① 歯科医業と関係職との業務上の関連について説明する。 1 ② 歯科関係職における歯科医行為の禁止について説明する。 1 ③ 歯科関係職の特性について説明する。	3年次「歯科法医学」、4年次「社会歯科学」の内容を各自見返しておくこと。講義後はプリント等を参照に復習すること。 B-2-1) ③⑥⑦ 必2-イ-a,e, 総 I-1-ウ-i
法医 4	佐藤慶太	1. 医療法 1	1 A 医療機関の管理	1 Aa 医療機関の開設届け 1 Ab 医療機関の管理者 1 Ac 医療広告 1 Ad 標榜診療科	1 A① 医療機関の管理・開設について説明する。 1 A② 医療広告の範囲について説明する。 1 A③ 歯科医療機関の標榜診療科について説明する。	3年次「歯科法医学」、4年次「社会歯科学」の内容を各自見返しておくこと。講義後はプリント等を参照に復習すること。 B-2-1) ② 必2-イ-b
法医 5	佐藤慶太	1. 医療法 2	1 A 医療の安全対策	1 Aa 医療安全の確保 1 Ab リクスマネジメント 1 Ac ヒヤリハットレポート 1 Ad アクシデントリポート 1 Ae クリニカルパス 1 Af 医療事故調査制度 1 Ag 院内感染対策	1 A① 医療安全体制について説明する。 1 A② 医療事故の発生原因についてを説明する。 1 A③ 医療事故の防止について説明する。 1 A④ 医療事故の報告及び調査について説明する。 1 A⑤ 院内感染対策について説明する。	3年次「歯科法医学」、4年次「社会歯科学」の内容を各自見返しておくこと。講義後はプリント等を参照に復習すること。 A-6-1) ①～⑦、 A-6-2) ①～⑥、 A-6-3) ①～⑤ 必2-イ-d、 必2-オ-a～h、 必2-カ-a～d、 総 I-1-ウ-a,b

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
法医 6	佐藤慶太	1. 歯科医 業関連法 規	1 A 医薬品や 医療機器 の取り扱 い	1 Aa 医薬品と医 療機器の安 全管理 1 Ab 薬機法 1 Ac 麻薬及び向 精神薬取締 法等	1 A① 医薬品や医療機 器の安全管理に ついて説明する。 1 A② 麻薬等の管理・ 施用について説 明する。	3 年次「歯科法医学」、 4 年次「社会歯科学」 の内容を各自見返して おくこと。講義後はプ リント等を参照に復習 すること。 A-6-1) ⑤、 A-6-2) ①～⑥、 必2-イ-d、必2-オ-g、 総 I-1-ウ-a,b,e
法医 7	佐藤慶太	1 医療事 故と医事 紛争	1 A 説明義務 1 B セカンド オピニオ ン 1 C 医療契約 1 D 医療過誤 1 E 刑事責任 1 F 民事責任 1 G 医療裁判	1 Aa 医療法 1 Ba リスボン宣 言 1 Ea 刑法 1 Fa 民法 1 Ga 和解・調停	1 ① 医療を受ける患 者権利について 説明する。 1 ② 医療事故の法的 責任について説 明する。 1 ③ 医事紛争の回 避・解決法につ いて説明する。	3 年次「歯科法医学」、 4 年次「社会歯科学」 の内容を各自見返して おくこと。講義後はプ リント等を参照に復習 すること。 A-1-2) ①～④、 A-6-1) ①～⑦、 A-6-2) ①～⑥、 A-6-3) ①～⑤ 必2-イ-d、 必2-オ-a～h、 必2-カ-a～d、 必2-キ-a,b、 総 I-1-ウ-a,b
法医 8	佐藤慶太	1. 死因究明	1 A 死因究明 1 B 解剖 1 C 死の種類	1 Aa 死因究明制 度 1 Ab 死因・身元 調査法 1 Ba 刑事訴訟法 1 Bb 死体解剖保 存法 1 Ca 心臓死 1 Cb 脳死	1 A① 我が国の死因究 明制度について 説明する。 1 B① 解剖の種類につ いて説明する。 1 C① 我が国における 死の定義を説明 する。	3 年次「歯科法医学」、 4 年次「社会歯科学」 の内容を各自見返して おくこと。講義後はプ リント等を参照に復習 すること。 B-2-3) ②、 C-5-7) ① 総 I-3-アa,c
法医 9	勝村聖子	1. 歯科法医 学と個人 識別	1 A 死後変化 1 B 身元確認 1 C 個人識別 における 歯科の有 効性	1 Aa 死体現象 1 Ba 年齢推定 1 Bc 性別判定 1 Ca 歯科所見	1 A① 死後変化につ いて説明する。 1 B① 個人識別の重要 性について説明 する。 1 C① 歯科所見による 身元確認につ いて説明する。	3 年次「歯科法医学」、 4 年次「社会歯科学」 の内容を各自見返して おくこと。講義後はプ リント等を参照に復習 すること。 B-2-3) ①② 総 I-3-アa,b,c
法医 10	勝村聖子	1. 災害歯科 医学	1 A 災害医療 1 B 救急医療 1 C 医療救護 1 D トリアー ジ	1 Aa 災害救助法 1 Ab 災害対策基 本法	1 ① 災害時の歯科医 師の活動につ いて説明する。 1 ② 災害時における 医療救護につ いて説明する。 1 ③ 救急時における 医療救護につ いて説明する。 2 ① 高齢者虐待につ いて説明する。	3 年次「歯科法医学」、 4 年次「社会歯科学」 の内容を各自見返して おくこと。講義後はプ リント等を参照に復習 すること。 A-7-1) ⑥、 B-2-2) ⑨ 総 I-1-エ-h

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
法医 11	勝村聖子	1. 虐待 2. 法医学総論	1 A 児童虐待 1 B 高齢者虐待 2 A 死因 2 B 法医学関連用語	1 Aa 児童虐待防止法 1 a 高齢者虐待防止法 2 Aa 窒息 2 Ab 焼死	1 ① 児童虐待について説明する。 1 ② 高齢者虐待について説明する。 2 ① 死因と特徴所見を説明する。 2 ② 法医学に関連する用語を説明する。	3年次「歯科法医学」、 4年次「社会歯科学」の内容を各自見返しておくこと。講義後はプリント等を参照に復習すること。 A-7-1) ⑥、 B-2-2) ⑨ B-2-3) ①② 総 I-1-エ-h、 総 I-3-ア-a,b,c
法医 12	佐藤慶太	1. 診療情報の保護	1 A 医療記録の保存 1 B 医療記録の開示 1 C 秘密漏洩の禁止 1 D 診療情報の提供	1 Aa 医療法 1 Ba 個人情報保護法 1 Ca 刑法 1 Da 健康保険法	1 ① 診療情報の対象と保管について説明する。 1 ② 診療情報の開示について説明する。 1 ③ 診療情報の秘密保持について説明する。 1 ④ 医療機関同士での診療情報の共有について説明する。	3年次「歯科法医学」、 4年次「社会歯科学」の内容を各自見返しておくこと。講義後はプリント等を参照に復習すること。 A-4-2) ④～⑦、 A-5-1) ④～⑦、 B-4-3) ①② 必 2-エ-a～c、 必 2-コ-a～d、 必 3-イ-c,d、

指導教員：佐藤慶太、勝村聖子

参考書：臨床のための法医学（第6版）、朝倉書店
ISBN：978-4-254-31091-7 C3047

総合歯科医学Ⅵ（口腔衛生・地域歯科保健学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
地域歯科 1	山本 健	疾病と予防の概念	1 A. 健康と口腔保健学	1 Aa. 口腔保健と社会背景	1 Aa①.世界およびわが国の社会的背景の推移と口腔保健の概念の変遷を関連づけて説明する。	5年生までの学習で用いた教科書、ノート、プリント等の資料の内容を見返しておくこと。受講に際しては指定の教科書を用意すること。 受講後には講義内容を復習し、理解の充足に努めること。受講後にmanaba等による課題が与えられた場合は指定期限までに修了すること。 【コアカリキュラム】 A-7-2) ②～④、B-1①、B-3-1) ①、B-3-2) ①～⑧ 【歯科医師国家試験出題基準】 必2アg、必4アa～c、必10k a、b、総I1アa～e
			1 B. 口腔疾患の予防概念	1 Ba. 疾病の自然史と予防の概念 1 Bb. 予防戦略の概念と実践	1 Ba①.Leavell & Clarkの疾病の自然史について説明する。 1 Bb①.疾病の自然史に対応した予防法について例をあげて説明する。	
地域歯科 2	山本 健	口腔疾患の予防	2 A. 口腔環境	2 Aa. ペリクル 2 Ab. プラークと沈着物	2 Aa①.ペリクル(AEP)と健康な口腔内について説明する。 2 Ab①.ペリクルとプラークの違いを列挙し説明する。 2 Ab②.口腔内の沈着物と疾患についての関係を説明する。	5年生までの学習で用いた教科書、ノート、プリント等の資料の内容を見返しておくこと。受講に際しては指定の教科書を用意すること。 受講後には講義内容を復習し、理解の充足に努めること。受講後にmanaba等による課題が与えられた場合は指定期限までに修了すること。 【コアカリキュラム】 B-3-1) ②、B-3-2) ①～⑥、E-3-1) ①～⑥、E-3-2) ①～⑤ 【歯科医師国家試験出題基準】 必4ウa～c、必4エa、b、総I1アd、総I1イa～e
			2 B. プラークコントロール	2 Ba. プラークコントロールの概念 2 Bb. 物理的プラークコントロール 2 Bc. 化学的プラークコントロール	2 Ba①.プラークコントロールの概念と分類を説明する。 2 Bb①.ブラッシング法について説明する。 2 Bb②.PTC、PMTCについて説明する。 2 Bc①.歯磨剤について説明する。 2 Bc②.洗口剤、義歯洗浄剤について説明する。	
			2 C. 口腔疾患予防の実践	2 Ca. 齲蝕 2 Cb. 歯周疾患 2 Cc. 口臭	2 Ca①.齲蝕予防の機序と実践方法について説明する。 2 Cb①.歯周疾患予防の機序と実践方法について説明する。 2 Cc①.口臭予防の機序と実践方法について説明する。	

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習	
地域歯科 3	山本 健	口腔保健 と疫学	3 A. 口腔保 健の疫 学的指 標	3 Aa. 齲蝕の指 標	3 Aa①.DMF (demf) を用いた指標につ いて説明する。 3 Aa②.RID、ICDASを 説明する。	5年生までの学習で用いた教 科書、ノート、プリント等の 資料の内容を見返しておくこ と。受講に際しては指定の教 科書を用意すること。 受講後には講義内容を復習し、 理解の充足に努めること。受 講後にmanaba等による課 題が与えられた場合は指定期 限までに修了すること。 【コアカリキュラム】 B-4-1) ②③、 B-4-2) ①④ E-3-1) ①～⑥、 E-3-2) ①～⑤ 【歯科医師国家試験出題基準】 必2ウa、必2コb、 必10アc、総I1イc、 総I6アa～f	
				3 Ab. 歯周疾患 の指標	3 Ab①.PMA、GI、PI、 PDI、Gbcount、 CPIを説明する。		
				3 Ac. 口腔清掃 状態の指 標	3 Ac①.PI-I、OHI、 OHI-S、PHP、 O'LearyのPCR を説明する。		
				3 Ad. その他の 歯科保健 的指標	3 Ad①.DAI、CFI、 WHOのCPIプロ ープを説明する。		
			3 B. 口腔保 健と疫 学的手法	3 Ba. 疫学的研 究法	3 Ba①.疫学的研究法の 分類と使い分けを 説明する。 3 Ba②.有病率、罹患率、 オッズ比、寄与危 険度、相対危険率 を算出する。		
地域歯科 4	山本 健	口腔保健 活動1	4 A. 行動科 学	4 Aa. 行動科学 の理論と 保健行動 モデル	4 Aa①.行動科学の理論 を説明する。 4 Aa②.KAPモ デル、 健康信念モデル、 プリシードプロシ ードモデル、変化 のステージモデル を説明する。	5年生までの学習で用いた教 科書、ノート、プリント等の 資料の内容を見返しておくこ と。受講に際しては指定の教 科書を用意すること。 受講後には講義内容を復習し、 理解の充足に努めること。受 講後にmanaba等による課 題が与えられた場合は指定期 限までに修了すること。 【コアカリキュラム】 B-3-1) ③、B-3-2) ⑦⑧ 【歯科医師国家試験出題基準】 必4アf、必4ウb、 総I1イc～e、総I1イc、d、 各論IV2イh、各論V4アa、 各論V4イa～c	
				4 B. 健康教 育	4 Ba. 健康教育 の変遷と 方法		4 Ba①.ヘルスプロモー ション、ヘルスリ テラシーを具体例 をあげて説明する。
				4 C. 地域歯 科保健 活動	4 Ca. 保健情報 の作成と 評価		4 Ca①.PDCAサイク ルの概念に基づいた 地域診断を説明す る。
地域歯科 5	山本 健	口腔保健 活動2	5 A. 口腔保 健活動 と疫学	5 Aa. 国民の口 腔保健情 報	5 Aa①.わが国の口腔保 健の統計調査を列 挙する。 5 Aa②.わが国の口腔保 健に関する情報を 概説する。 5 Aa③平成28年度 歯科 疾患実態調査を説 明する。	5年生までの学習で用いた教 科書、ノート、プリント等の 資料の内容を見返しておくこ と。受講に際しては指定の教 科書を用意すること。 受講後には講義内容を復習し、 理解の充足に努めること。受 講後にmanaba等による課 題が与えられた場合は指定期 限までに修了すること。 【コアカリキュラム】 A-2-2) ①、B-4-1) ①④、 B-4-2) ② 【歯科医師国家試験出題基準】 必10アc、総I6アf、 総I6アg、総I6イa、b	
				5 B. 口腔保 健活動 と EBM の実践	5 Ba. EBMの 手法		5 Ba①.EBMの5 つの ステップを説明で きる。 5 Ba②.PECO (PICO) を用いた問題の定 式化を説明する。 5 Ba③.エビデンスの質 の概要を説明する。

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
地域歯科 6	山本 健	口腔保健と地域社会	6 A. 健康増進対策の理念	6 Aa. プライマリーヘルスケア 6 Ab. ヘルスプロモーション	6 Aa①. プライマリーヘルスケアと関連事項を説明する。 6 Ab①. ヘルスプロモーションと関連事項を説明する。	5年生までの学習で用いた教科書、ノート、プリント等の資料の内容を見返しておくこと。受講に際しては指定の教科書を用意すること。受講後には講義内容を復習し、理解の充足に努めること。受講後にmanaba等による課題が与えられた場合は指定期限までに修了すること。 【コアカリキュラム】 A-7-1) ③④、 A-7-2) ②~④、 B-2-2) ①、B-3-1) ③ 【歯科医師国家試験出題基準】 必2アg、必4アa~c、 総I11イe、総I11エa~f
地域歯科 7	山本 健	社会変遷と疾病構造の変化	7 A. わが国の医療保健政策	7 Aa. 主な死因別死亡率の変遷に伴う保健政策 7 Ab. 人口構成ならびに疾病構造の変化と国民健康づくり対策の変遷	7 Aa①. 敗戦直後の「保健所法」と「栄養改善法」の意義と「地域保健法」「健康増進法」との関連を説明する。 7 Aa②. アルマタ宣言とわが国の健康づくり対策について説明する。 7 Aa③. 高齢者の増加と健康づくり対策ならびに8020運動との関連を説明する。 7 Ab①. わが国の政策としての国民健康づくり対策について説明する。 7 Ab②. 少子高齢化による社会的影響と高齢者医療対策の概要を説明する。	5年生までの学習で用いた教科書、ノート、プリント等の資料の内容を見返しておくこと。受講に際しては指定の教科書を用意すること。受講後には講義内容を復習し、理解の充足に努めること。受講後にmanaba等による課題が与えられた場合は指定期限までに修了すること。 【コアカリキュラム】 A-7-2) ②~④、B-2-1) ⑤、 B-2-2) ④⑧、B-3-1) ③④ 【歯科医師国家試験出題基準】 必2アg、必2イc、e~g、 必4アd、e、必4工b、c、 必7アa、必10アc、 総I11ア~e、 総I11イa、c~f、 総I11ウf、総I11エa~g、 総I11オc、総I16イb、 総V4工、各論V41イa~c
地域歯科 8	山本 健	ライフステージと地域歯科保健	8 A. 国民の生涯にわたる歯科保健制度	8 Aa. 母子保健制度と母子歯科保健 8 Ab. 学校保健制度と学校歯科保健 8 Ac. 生涯にわたる歯科保健制度	8 Aa①. 母子保健制度と乳幼児期の歯科保健指導を説明する。 8 Aa②. 1歳6か月歯科健康診査、3歳児歯科健康診査を説明する。 8 Ab①. 学校歯科健康診断(歯・口くうの健康診断)を説明する。 8 Ac①. 産業保健制度と3管理、職業性疾病、THPを説明する。 8 Ac②. 「歯科口腔保健の推進に関する法律」と「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」を説明する。 8 Ac③. 「健康日本21(第二次)」の「歯・口腔の目標」を説明する。 8 Ac④. 成人期以降のわが国の健康施策と法的根拠を説明する。	5年生までの学習で用いた教科書、ノート、プリント等の資料の内容を見返しておくこと。受講に際しては指定の教科書を用意すること。受講後には講義内容を復習し、理解の充足に努めること。受講後にmanaba等による課題が与えられた場合は指定期限までに修了すること。 【コアカリキュラム】 B-1②、B-2-1) ⑤、 B-2-2) ①④⑤⑧ E-4-2) ①②、E-5-1) ③⑦ 【歯科医師国家試験出題基準】 必2アg、必2イc、e~g、 必4アd、e、必4イa~f、 必4ウa~c、必4エa~c、 必6イa、必7アa、 必10アb、c、必12スa、 総I11アa~e、総I11イa~e、 総I11ウa~f、総I11(エa~g、 総I11オa~c、総I2アa~e、 総I2イa~g、総I2ウa~g、 総I2エa~c、 総I2オa、c、e、総I4アb、 総I6アf、g、総I6イa、 総I8イa、c、総VII1ウa~c、 各論I2ウa、b、各論II1アc、 各論II1イd~g、各論II3アj、 各論II3イa~f、各論V4アa、 各論V41イa~c

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
地域歯科 9	山本 健	総括と演習1	口腔保健学演習1	口腔保健学：必修・総論レベルの解法	口腔保健学分野における必修ならびに総論レベルの問題を解答できる。	<p>今までの学習で用いた教科書、ノート、プリント等の資料の内容を見返しておくこと。受講に際しては指定の教科書を用意すること。</p> <p>受講後には講義内容を復習し、理解の充足に努めること。受講後にmanaba等による課題が与えられた場合は指定期限までに修了すること。</p> <p>【コアカリキュラム】 A-2-2) ①、A-7-2) ②～④、 B-1 ①、B-3-1) ①～⑥、 B-3-2) ①～⑧、 B-4-1) ①～④、 B-4-2) ①②④、 E-3-1) ①～⑥、 E-3-2) ①～⑤</p> <p>【歯科医師国家試験出題基準】 必2アg、必2ウa、必2コb、 必4アa～c、f、必4ウa～c、 必4エa、b、必10アc、 必10ウa、b、 総11アa～e、総11イa～e、 総11エc、d、総16アa～f、 各論Ⅳ2イh、各論Ⅴ4アa、 各論Ⅴ4イa～c</p>
地域歯科 10	山本 健	総括と演習2	地域歯科保健学演習1	地域歯科保健学：必修・総論レベルの解法	地域歯科保健学分野における必修ならびに総論レベルの問題を解答できる。	<p>今までの学習で用いた教科書、ノート、プリント等の資料の内容を見返しておくこと。受講に際しては指定の教科書を用意すること。</p> <p>受講後には講義内容を復習し、理解の充足に努めること。受講後にmanaba等による課題が与えられた場合は指定期限までに修了すること。</p> <p>【コアカリキュラム】 A-7-1) ③④、 A-7-2) ②～④、 B-1 ②、B-2-1) ⑤、 B-2-2) ①④⑤⑧、 B-3-1) ③④ E-4-2) ①②、E-5-1) ③⑦</p> <p>【歯科医師国家試験出題基準】 必2アg、必2イc、e～g、 必4アa～e、必4イa～f、 必4ウa～c、必4エa～c、 必6イa、必7アa、 必10アb、c、必12スa、 総11アa～e、総11イa～f、 総11ウa～l、総11エa～g、 総11オa～c、総12アa～e、 総12イa～g、総12ウa～g、 総12エa～c、 総12オa、c、e、総14アb、 総16アf、g、総16イa、b、 総18イa、c、総Ⅴ4エ、 総Ⅶ1ウa～c、 各論Ⅰ2ウa、b、各論Ⅱ1アc、 各論Ⅱ1イd～g、各論Ⅱ3ア、 各論Ⅱ3イa～f、各論Ⅴ4アa、 各論Ⅴ4イa～c</p>

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
地域歯科 11	山本 健	総括と演習3	口腔保健学演習2	口腔保健学：各論・臨床一般レベルの解法	口腔保健学分野における各論・臨床一般レベルの問題を解答できる。	今までの学習で用いた教科書、ノート、プリント等の資料の内容を見返しておくこと。受講に際しては指定の教科書を用意すること。 受講後には講義内容を復習し、理解の充足に努めること。受講後にmanaba等による課題が与えられた場合は指定期限までに修了すること。 【コアカリキュラム】 A-2-2) ①、A-7-2) ②～④、 B-1 ①、B-3-1) ①～⑥、 B-3-2) ①～⑧、 B-4-1) ①～④、 B-4-2) ①②④、 E-3-1) ①～⑥、 E-3-2) ①～⑤ 【歯科医師国家試験出題基準】 必2アg、必2ウa、必2コb、 必4アa～c、f、必4ウa～c、 必4 Ia、b、必10アc、 必10クa、b、総11アa～e、 総11イa～e、総11 Ic、d、 総16アa～f、各論IV2イh、 各論V4アa、各論V4イa～c
地域歯科 12	山本 健	総括と演習4	地域歯科保健学演習2	地域歯科保健学：各論・臨床一般レベルの解法	地域歯科保健学分野における各論・臨床一般レベルの問題を解答できる。	今までの学習で用いた教科書、ノート、プリント等の資料の内容を見返しておくこと。受講に際しては指定の教科書を用意すること。 受講後には講義内容を復習し、理解の充足に努めること。受講後にmanaba等による課題が与えられた場合は指定期限までに修了すること。 【コアカリキュラム】 A-7-1) ③④、 A-7-2) ②～④、 B-1 ②、B-2-1) ⑤、 B-2-2) ①④⑤⑧、 B-3-1) ③④ E-4-2) ①②、E-5-1) ③⑦ 【歯科医師国家試験出題基準】 必2アg、必2イc、e～g、 必4アa～e、必4イa～f、 必4ウa～c、必4 Ia～c、 必6イa、必7アa、 必10アb、c、必12スa、 総11アa～e、総11イa～f、 総11ウa～l、総11 Ia～g、 総11オa～c、総12アa～e、 総12イa～g、総12ウa～g、 総12 Ia～c、 総12オa、c、e、総14アb、 総16アf、g、総16イa、b、 総18イa、c、総V4 I、 総VII1ウa～c、 各論I2ウa、b、各論II1アc、 各論II1イd～g、各論II3ア、 各論II3イa～f、各論V4アa、 各論V4イa～c

指導教員：山本 健

参考書：「口腔保健・予防歯科学」 宮崎秀夫 他編 医歯薬出版 2020年 第1版

ISBN：978-4-263-45802-0

総合歯科医学Ⅵ（衛生・探索歯学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
探索 1	野村義明	総論Ⅰ 保健・医療 と健康増進 6 疫学と調査	I-6-ア 疫学とその 応用	I-6-アa 疫学の概念 I-6-アe 観察研究、介入研究 I-6-アフ 臨床疫学	疫学の研究方法を分類する。	事前配布プリントを見てMANABAの問題を演習すること。 B-4-1) ①,② I-6-アa, e, f
探索 2	野村義明	総論Ⅰ 保健・医療 と健康増進 6 疫学と調査	I-6-ア 疫学とその 応用	I-6-アb 疫学指標	疫学の指標を算出する。	事前配布プリントを見てMANABAの問題を演習すること。 B-4-2) ③ I-6-アb
探索 3	野村義明	総論Ⅰ 保健・医療 と健康増進 6 疫学と調査	I-6-ア 疫学とその 応用	I-6-アb 疫学指標	疫学の指標を算出する。	事前配布プリントを見てMANABAの問題を演習すること。 B-4-2) ③ I-6-アb
探索 4	野村義明	必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 10検査・臨床判断の基本	2-ウ 臨床試験・治験と倫理 10-ク根拠に基づいた医療 <EBM>	2-ウ-a 臨床研究、疫学研究の倫理指針 2-ウ-b GCP<医薬品の臨床試験の実施の基準>の適用 10-ク-a システマティックレビュー、メタ分析 10-ク-b 診療ガイドライン 10-ク-d 臨床疫学的指標 10-ク-e 費用対効果	研究倫理を説明する。 エビデンスのレベル、EBMの手順を説明する。	事前配布プリントを見てMANABAの問題を演習すること。 B-4-1) ①,②,④ 必修の基本的事項 2-ウ-a,b 10-ク-a-e
探索 5	野村義明	総論Ⅰ 保健・医療 と健康増進 6 疫学と調査	I-6-イ 指標と調査	I-6-イb 人口統計、保健統計	保健統計を説明する。	事前配布プリントを見てMANABAの問題を演習すること。 B-4-2) ② I-6-イb
探索 6	野村義明	総論Ⅰ 保健・医療 と健康増進 6 疫学と調査	I-6-イ 指標と調査	I-6-イb 人口統計、保健統計	人口統計の指標を算出する。	事前配布プリントを見てMANABAの問題を演習すること。 B-4-2) ②,③ I-6-イb
探索 7	野村義明	総論Ⅰ 保健・医療 と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障の仕組み	I-1-ア 健康・疾病・障害の概念 I-1-ウ 保健・福祉・介護の法規と制度	I-1-アa 健康の概念 I-1-アb 健康に関わる要因 I-1-アc 社会環境の変化 社会的決定要因 I-1-アd 疾病の自然史と対応 I-1-アe 障害の概念と対応 I-1-ウa 医事衛生法規 I-1-ウb 保健衛生法規 I-1-ウc 医療保障・社会福祉・介護保険関連法規 I-1-ウd 予防衛生法規 I-1-ウe 薬事衛生法規 I-1-ウf 地域保健関連機関 I-1-ウg 福祉施設、介護施設 I-1-ウh 医療施設	健康、疾病、障害の概念を説明する。地域保健、地域医療の概念を説明する。	事前配布プリントを見てMANABAの問題を演習すること。 B-1 ① B-2-2) ①~④ B-3-1) ①~④ I-1-アa-e I-1-ウa-l I-1-エa-j

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
探索 7			I-1-工 地域保健、地域医療	I-1-ウ i 医療関係職種 I-1-ウ j 福祉・介護の制度と職種 I-1-ウ k 医療連携、チーム医療 I-1-ウ l 保健・医療・福祉・介護の制度と連携 I-1-エ a 公衆衛生活動、地域保健活動、医療政策を含む I-1-エ b 医療計画、健康増進計画 I-1-エ c ヘルスプロモーション I-1-エ d 地域保健活動の進め方 I-1-エ e 都道府県・市町村・保健所の歯科保健業務 I-1-エ f プライマリヘルスケア I-1-エ g かかりつけ歯科医機能 I-1-エ h 救急・災害時等の歯科保健医療対策トリアージを含む I-1-エ i へき地医療 I-1-エ j 在宅医療		
探索 8	野村義明	総論 I 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 I-2-イ 学校保健、学校安全、学校歯科保健 I-2-ウ 産業保健、産業歯科保健 I-2-エ 成人保健、成人歯科保健	I-2-ア 母子保健、母子歯科保健と児童福祉 I-2-イ 学校保健、学校安全、学校歯科保健 I-2-ウ 産業保健、産業歯科保健 I-2-エ 成人保健、成人歯科保健	I-2-ア a 現状、動向 I-2-ア b 母性保健 I-2-ア c 母子歯科保健の意義 I-2-ア d 妊産婦の歯科保健 I-2-ア e 乳幼児の歯科保健と健康診査 I-2-ア f 児童福祉制度 I-2-ア g 児童虐待への対応 I-2-イ a 現状、動向 I-2-イ b 学校保健の領域・内容 I-2-イ c 学校保健関係者 I-2-イ d 学校歯科保健教育 I-2-イ e 学校歯科保健管理 I-2-イ f 組織活動 I-2-イ g 学校安全 I-2-ウ a 現状、動向 I-2-ウ b 労働安全衛生管理 I-2-ウ c 業務上疾病、作業関連疾患 I-2-ウ d 健康診断、事後措置 I-2-ウ e 産業歯科保健の意義 I-2-ウ f 産業歯科保健活動 I-2-ウ g 職業性歯科疾患 I-2-エ a 現状、動向 I-2-エ b 特定健康診査、特定保健指導 I-2-エ c 成人歯科保健、成人の口腔保健管理	地域保健の概要を説明する。 母子保健、母子歯科保健を説明する。 学校保健、学校歯科保健を説明する。 産業保健、産業歯科保健を説明する。 成人保健の概要を説明する。	事前配布プリントを見てMANABAの問題を演習すること。 A-7-1) ①～⑦ B-2-2) ①～⑨ I-2-ア a-g I-2-イ a-g I-2-ウ a-g I-2-エ a-c
探索 9	野村義明	総論 I 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 1 健康の保持・増進と社会保障の仕組み	I-2-オ 高齢者保健、高齢者歯科保健 I-1-オ 地域包括ケアシステム I-2-カ 障害児・障害者の保健・福祉	I-2-オ a 現状、動向 I-2-オ b 高齢者の特性 I-2-オ c QOL<quality of life>、日常生活動作<ADL> I-2-オ d 高齢者歯科保健、高齢者の口腔管理 I-2-オ e 日常生活支援事業、介護予防 I-1-オ a 医療と介護の連携 I-1-オ b 介護予防、生活支援 I-1-オ c 地域包括支援センター I-2-カ a 現状、動向 I-2-カ b 障害児・障害者の健康保持・増進 I-2-カ c 障害の種類と支援 身体障害、知的障害、精神障害(発達障害を含む) I-2-カ d 自立支援と福祉の制度	高齢者医療の仕組みを説明する。 介護保険の制度を説明する。 介護予防を説明する。 地域包括ケアシステムを説明する。	事前配布プリントを見てMANABAの問題を演習すること。 B-2-2) ①～⑧ I-2-オ a-e I-1-オ a-c I-2-カ a-d

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
探索 10	野村義明	<p>総論 I 保健・医療 と健康増進</p> <p>2 ライフス ステージ別に みた保健・ 福祉の制度</p> <p>1 健康の保 持・増進と 社会保障の 仕組み</p>	<p>I-2-オ 高齢者保健 、 高齢者歯科 保健</p> <p>I-1-オ 地域包括ケ アシステム I-2-カ 障害児・障 害者の保 健・福祉</p>	<p>I-2-オ a 現状、動向 I-2-オ b 高齢者の特性 I-2-オ c QOL<quality of life>、 日常生活動作<ADL> I-2-オ d 高齢者歯科保健、 高齢者の口腔管理 I-2-オ e 日常生活支援事業、 介護予防 I-1-オ a 医療と介護の連携 I-1-オ b 介護予防、生活支援 I-1-オ c 地域包括支援センター I-2-カ a 現状、動向 I-2-カ b 障害児・障害者の健康保 持・増進 I-2-カ c 障害の種類と支援 身体障害、知的障害、精 神障害(発達障害を含む) I-2-カ d 自立支援と福祉の制度</p>	<p>高齢者医療の 仕組みを説明 する。 介護保険の制 度を説明する。 介護予防を説 明する。 地域包括ケア システムを説 明する。</p>	<p>事前配布プリント を見てMANABA の問題を演習する こと。 A-7-1) ①～⑦ B-2-2) ①～⑨</p> <p>I-1-オ a-c I-2-オ a-e I-2-カ a-d</p>
探索 11	野村義明	<p>総論 I 保健・医療 と健康増進</p> <p>1 健康の保 持・増進と 社会保障の 仕組み</p>	<p>I-1-ウ 保健・医 療・福祉・ 介護の法規 と制度</p>	<p>I-1-ウ f 地域保健関連機関 I-1-ウ g 福祉施設、介護施設 I-1-ウ h 医療施設 I-1-ウ i 医療関係職種 I-1-ウ j 福祉・介護の制度と職種 I-1-ウ k 医療連携、チーム医療 I-1-ウ l 保健・医療・福祉・介護 の制度と連携</p>	<p>チーム医療を 説明する。</p>	<p>事前配布プリント を見てMANABA の問題を演習する こと。 A-5-1) ①～④ A-7-1) ①～⑦ B-2-2) ①～⑨</p> <p>I-1-ウ f-l</p>
探索 12	野村義明	<p>総論 I 保健・医療 と健康増進</p> <p>4 社会保障 と医療経済</p>	<p>I-4-ア 社会保障と 医療経済</p>	<p>I-4-ア a 社会保障制度 I-4-ア b 医療保険、介護保険 I-4-ア c 医療経済と国民医療費</p>	<p>社会保障制度 を説明する。</p>	<p>事前配布プリント を見てMANABA の問題を演習する こと。 B-2-2) ①～④</p> <p>I-4-ア a-c</p>
探索 13	野村義明	<p>総論 I 保健・医療 と健康増進</p> <p>7 感染症対 策</p>	<p>I-7-ア 感染症対策 と疫学</p>	<p>I-7-ア a 感染症の疫学 I-7-ア b 感染症の予防 I-7-ア c 院内感染対策</p>	<p>感染症対策を 説明する。</p>	<p>事前配布プリント を見てMANABA の問題を演習する こと。 A-6-3) ②,③</p> <p>I-7-ア a-c</p>
探索 14	野村義明	<p>総論 I 保健・医療 と健康増進</p> <p>8 国民栄養 と食生活・ 食育指導</p>	<p>I-8-ア 国民栄養と 食品保健 I-8-イ 食育と口腔 保健</p>	<p>I-8-ア a 国民栄養の現状 I-8-ア b 食事摂取基準 I-8-ア c 食生活指針 I-8-イ a 食育基本法 I-8-イ b 食の安全性と機能性 I-8-イ c 食の機能と口腔保健</p>	<p>食事摂取基準 を説明する。 食品衛生に関 連する法規を 説明する。食 事バランスガ イドを説明す る。</p>	<p>事前配布プリント を見てMANABA の問題を演習する こと。 B-1) ②,③</p> <p>I-8-ア a-c I-8-イ a-c</p>
探索 15	野村義明	<p>総論 I 保健・医療 と健康増進</p> <p>5 国際保健</p> <p>9 環境保健</p>	<p>I-5-ア 国際保健</p> <p>I-9-ア 環境保健対 策</p>	<p>I-5-ア a 世界の保健・医療の問題 と方向性 I-5-ア b 国際保健、医療協力 I-9-ア a 環境要因と健康 I-9-ア b 地球環境の変化、健康影 響 I-9-ア c 環境汚染、公害の発生要 因、健康影響 I-9-ア d 環境汚染の評価と対策 I-9-ア e 廃棄物処理 I-9-ア g 生活環境と健康</p>	<p>国際保健、国 際協力を説明 する。環境保 健を説明する。</p>	<p>事前配布プリント を見てMANABA の問題を演習する こと。 A-7-2) ①～⑤ B-2-4) ①,②</p> <p>I-8-ア a-c I-8-イ a-c</p>
探索 16	野村義明	<p>総論 I 保健・医療 と健康増進</p> <p>6 疫学と調 査</p>	<p>I-6-ア 疫学とその 応用</p>	<p>I-6-ア c 統計解析 I-6-ア d 因果関係の成立</p>	<p>統計解析方法 を説明する。</p>	<p>事前配布プリント を見てMANABA の問題を演習する こと。 B-4-2) ①,④</p> <p>I-6-ア c, d</p>

指導教員：野村義明

参考書：パーフェクトマスター衛生学・公衆衛生学

ISBN-13：978-4263458341

総合歯科医学Ⅵ（障害者歯科学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
障害者 歯科 1	小澤正明	必修の基本的事項 2 社会と歯科医療	ア 患者・障がい者のもつ心理・社会的問題と背景	a 疾病・障害の概念・構造（社会的関わり） b QOL（生活の質、quality of life） c リハビリテーションの理念 d ノーマライゼーション、バリアフリー e 患者・障害者の心理と態度 f 国際生活機能分類（ICF）、国際障害分類（ICIDH） g 疾病構造、健康格差	1 ノーマライゼーションが説明できる 2 ICF、ICIDHが説明できる	予習：あらかじめ各項目について自習しておくこと 復習：講義プリントを参照して確認し、理解を深めること
		12治療の基礎	イ 乳幼児・高齢者・妊産婦・障害者・要介護者の治療	a 治療環境 b 患者の体位 c コミュニケーション d チーム医療		
		総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度	カ 障害児・障害者の保健・福祉	b 障害児・障害者の健康保持・増進 c 障害の種類と支援	1 治療時の特殊性を障害別に説明できる	
		総論Ⅴ 診察 3 障害者への対応	ア 障害の概念 イ 障害の分類	a 身体障害 b 知的障害 c 精神障害	1 身体障害を列挙、説明できる 2 知的障害を列挙、説明できる 3 精神障害を列挙、説明できる	
障害者 歯科 2	西村 康	総論Ⅴ 診察 3 障害者への対応	ウ 行動調整 エ 診察 オ 歯科治療上留意すべき事項 カ 健康支援、患者管理		1 行動療法を説明できる 2 体動コントロール法を説明できる 3 鎮静法、全身麻酔の適応を理解する	予習：あらかじめ各項目について自習しておくこと 復習：講義プリントを参照して確認し、理解を深めること
		総論Ⅶ 治療 1 治療の基礎	オ 障害者の治療			
		各論Ⅴ 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 7 障害者の歯科治療	ア 基本的対応 イ 歯科治療上留意すべき事項 ウ 口腔疾患の治療 エ 口腔保健指導	a 一般的対応 b 行動調整 a 環境への適応性 b 姿勢・異常反射 c 呼吸管理		

指導教員：小澤正明、西村 康

参考書：スペシャルニーズデンティストリー 障害者歯科 第2版

日本障害者歯科学会編集

医歯薬出版株式会社

¥9,500

ISBN：ISBN978-4-263-45801-3 C3047

総合歯科医学Ⅵ（口腔インプラント学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
インプラント 1	小久保裕司	1. インプラント義歯による治療 1	1 A 口腔インプラント用材料 1 B インプラント義歯の設計	1 Ba 上部構造の設計（診断用セットアップ、診断用ステントの製作、インプラント体の選択） 1 Bb 埋入計画の立案	1 A① 口腔インプラント用材料について説明できる。 1 Ba①口腔インプラントの種類、特徴、目的及び意義を説明できる。 1 Ba②口腔インプラントの適応症を説明できる。 1 Ba③口腔インプラントに必要な診察と検査を説明できる。 1 Bb①口腔インプラントの治療計画、治療手順を説明できる。 1 Bb②コンピューター支援手術について説明できる。	予習：「よくわかる口腔インプラント学」第3版の当該項目を復習しておくこと。 復習：過去問（Answer2020、Vol.10 4-9、P.541-583など）を用いて到達度の確認を行うこと。 D-2 ⑤、E-3-4)-(3) ①～④ 必修12セ]、総論Ⅷ11ア、各論Ⅳ6ア、b
インプラント 2	小久保裕司	1. インプラント義歯による治療 2	1 C 臨床操作（外科処置）	1 Ca インプラント埋入手術（一次手術） 1 Cb オッセオインテグレーションの獲得（初期固定、生物学的固定） 1 Cc 二次手術	1 Ca①インプラント体の埋入手術方法を説明できる。 1 Cb①咬合負荷までの期間について説明できる 1 Cc① 2次手術について説明できる。	予習：「よくわかる口腔インプラント学」第3版の当該項目を復習しておくこと。 復習：過去問（Answer2020、Vol.10 4-9、P.541-583など）を用いて到達度の確認を行うこと。 E-3-4)-(3) ⑤ 各論Ⅳ6イア～c
インプラント 3	小久保裕司	1. インプラント義歯による治療 3	1 D 臨床操作（補綴処置） 1 E 技工操作	1 Da 印象採得 1 Db プロビジョナルレストレーション 1 Dc 顎間関係の記録 1 Dd 患者情報の記録と伝達 1 De 装着 1 Ea セメント固定式上部構造の製作（既製アバットメント、カスタムアバットメント） 1 Eb スクリュー固定式上部構造の製作	1 D① 口腔インプラントの印象採得と咬合採得を説明できる。 1 D② 口腔インプラントにおけるプロビジョナルレストレーションについて説明できる。 1 D③ 口腔インプラントの上部構造の製作手順と装着方法を説明できる。 1 E① セメント固定式上部構造の特徴について説明できる。 1 E② スクリュー固定式上部構造の特徴について説明できる。 1 E③ 既製アバットメントとカスタムアバットメントについて説明できる。	予習：「よくわかる口腔インプラント学」第3版の当該項目を復習しておくこと。 復習：過去問（Answer2020、Vol.10 4-9、P.541-583など）を用いて到達度の確認を行うこと。 E-3-4)-(3) ⑥⑦ 各論Ⅳ6イd～h、各論Ⅳ6ウa、b

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
インプラント 4	小久保裕司	1. インプラント義歯による治療 4	1 F リコールとメインテナンス 1 G トラブルと合併症	1 Fa ホームケア、プロフェッショナルケア 1 Ga トラブルとその対応 1 Gb インプラント支持療法	1 Fa①メインテナンスの重要性を説明できる。 1 Ga①手術中、手術直後のトラブルと合併症について説明できる。 1 Ga②上部構造装着後のトラブルと合併症について説明できる。 1 Gb①インプラント支持療法について説明できる。	予習：「よくわかる口腔インプラント学」第3版の当該項目を復習しておくこと。 復習：過去問 (Answer2020、Vol.10 4-9、P.541-583など) を用いて到達度の確認を行うこと。 E-3-4)-(3) ⑧ 各論IV 8 アイ、オフ
インプラント 5	積田光由	2. 総説と演習	2 A 口腔インプラント学演習	2 Aa 口腔インプラント学分野の知識の整齊 2 Ab 歯科医師国家試験問題における口腔インプラント学	2 Aa①口腔インプラント学について体系立てて説明ができる。 2 Ab①口腔インプラント学について国家試験レベルの問題を解答できる。	予習：「よくわかる口腔インプラント学」第3版の当該項目を復習しておくこと。 復習：過去問 (Answer2020、Vol.10 4-9、P.541-583など) を用いて到達度の確認を行うこと。 D-2 ⑤、E-3-4)-(3) ①～⑧ 必修12セj、総論VIIIア、各論IV 6 アa,b、イa～h、ウa～c、各論IV 8 アイ、オフ
インプラント 6	積田光由	3. 補説	3 A 臨床操作 (関連手術)	3 Aa 付随手術 (サイナスリフト、ソケットリフト、骨増生)	3 Aa①骨増生 (骨造成) などの付随手術について説明できる。	予習：「よくわかる口腔インプラント学」第3版の当該項目を復習しておくこと。 復習：過去問 (Answer2020、Vol.10 4-9、P.541-583など) を用いて到達度の確認を行うこと。 E-3-4)-(3) ⑤ 各論IV 6 イa

指導教員：小久保裕司、積田光由

参考書：よくわかる口腔インプラント学 (第3版) 医歯薬出版 赤川安正ら 編 定価10,000円+税
ISBN：978-4-263-45640-8

総合歯科医学Ⅵ（内科学）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
内科 1	松川吉博	12 治療の基礎・基本 手技 約13%	ア 留意すべき疾患 入 患者管理の基本	b 全身管理に留意すべき疾患・対象（皮膚・粘膜疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血管器・リンパ系疾患、泌尿器・生殖器疾患、精神疾患、神経疾患、内分泌疾患、免疫・アレルギー性疾患、感染症、小児疾患など）	歯科治療時に留意・把握すべき患者の状態を理解し、治療の必要性を判断する。必要の際は医科との連携の下適切な処置を取れる。	内科は項目が多すぎるので各自、3/4年次で習得した内科Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの内容に目を通しておく事。予習は不要です。
内科 2	山中博之	12 治療の基礎・基本 手技 約13%	ア 留意すべき疾患 入 患者管理の基本	b 全身管理に留意すべき疾患・対象（皮膚・粘膜疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血管器・リンパ系疾患、泌尿器・生殖器疾患、精神疾患、神経疾患、内分泌疾患、免疫・アレルギー性疾患、感染症、小児疾患など）	歯科治療時に留意・把握すべき患者の状態を理解し、治療の必要性を判断する。必要の際は医科との連携の下適切な処置を取れる。	内科は項目が多すぎるので各自、3/4年次で習得した内科Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの内容に目を通しておく事。予習は不要です。
内科 3	福井有里	12 治療の基礎・基本 手技 約13%	ア 留意すべき疾患 入 患者管理の基本	b 全身管理に留意すべき疾患・対象（皮膚・粘膜疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血管器・リンパ系疾患、泌尿器・生殖器疾患、精神疾患、神経疾患、内分泌疾患、免疫・アレルギー性疾患、感染症、小児疾患など）	歯科治療時に留意・把握すべき患者の状態を理解し、治療の必要性を判断する。必要の際は医科との連携の下適切な処置を取れる。	内科は項目が多すぎるので各自、3/4年次で習得した内科Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの内容に目を通しておく事。予習は不要です。
内科 4	松川吉博	12 治療の基礎・基本 手技 約13%	ア 留意すべき疾患 入 患者管理の基本	b 全身管理に留意すべき疾患・対象（皮膚・粘膜疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血管器・リンパ系疾患、泌尿器・生殖器疾患、精神疾患、神経疾患、内分泌疾患、免疫・アレルギー性疾患、感染症、小児疾患など）	歯科治療時に留意・把握すべき患者の状態を理解し、治療の必要性を判断する。必要の際は医科との連携の下適切な処置を取れる。	内科は項目が多すぎるので各自、3/4年次で習得した内科Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの内容に目を通しておく事。予習は不要です。
内科 5	山中博之	12 治療の基礎・基本 手技 約13%	ア 留意すべき疾患 入 患者管理の基本	b 全身管理に留意すべき疾患・対象（皮膚・粘膜疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血管器・リンパ系疾患、泌尿器・生殖器疾患、精神疾患、神経疾患、内分泌疾患、免疫・アレルギー性疾患、感染症、小児疾患など）	歯科治療時に留意・把握すべき患者の状態を理解し、治療の必要性を判断する。必要の際は医科との連携の下適切な処置を取れる。	内科は項目が多すぎるので各自、3/4年次で習得した内科Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの内容に目を通しておく事。予習は不要です。
内科 6	福井有里	12 治療の基礎・基本 手技 約13%	ア 留意すべき疾患 入 患者管理の基本	b 全身管理に留意すべき疾患・対象（皮膚・粘膜疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血管器・リンパ系疾患、泌尿器・生殖器疾患、精神疾患、神経疾患、内分泌疾患、免疫・アレルギー性疾患、感染症、小児疾患など）	歯科治療時に留意・把握すべき患者の状態を理解し、治療の必要性を判断する。必要の際は医科との連携の下適切な処置を取れる。	内科は項目が多すぎるので各自、3/4年次で習得した内科Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの内容に目を通しておく事。予習は不要です。

指導教員：松川吉博、山中博之、福井有里

総合歯科医学Ⅵ（倫理）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
倫理 1	勝村聖子	1. 医の倫理	1 A. 歴史 1 B. 規範 1 C. 患者の権利 1 D. インフォームドコンセント	1 Ba. 医の倫理に関する規範 1 Bb. 専門職としての倫理 1 Ca. 患者の権利	1 Ba① 医の倫理に関する倫理規範を説明する。 1 Bb① 医療の専門職としての倫理を説明する。 1 Ca① 医療における患者の権利を説明する。 1 D① インフォームドコンセントの意義と重要性を説明する。	予定されている講義内容を指定された教科書で予習及び復習する。 A-1-1) ①～⑥、 A-1-2) ①～④、 A-4-2) ⑥⑦、 C-5-7) ① 必1-ア-a.b、必1-イ-a.b、必2-ウ-a.b

指導教員：勝村聖子

参考書：スタンダード社会歯科学 第7版、学建書院
ISBN：978-4-7624-6644-1

総合歯科医学Ⅵ（一般教養的事項）

■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
教養 1	阿部道生	一般教養的知識	地球環境の変化 生活環境と健康	環境の評価 環境基準 環境による健康への影響	環境汚染の種類を列記する。 環境についての基準を説明する。 国際的な環境保護の取り組みについて説明する。 国際的な環境基準について説明する。	予習：代表的な環境基準について復習しておくこと。環境についての国際的な取り決めについて復習しておくこと。 復習：地球環境の基準についての国際的取り決めを説明する。環境汚染を分類し、説明する。 B-2-4) ①② 歯科医学総論I-8-アa～g

指導教員：阿部道生

参考書：ヒトの生命科学、クイックレビュー臨床発生学

